



岐阜県立加茂高等学校
創立70周年記念誌 2018

加茂 70周年

目 次

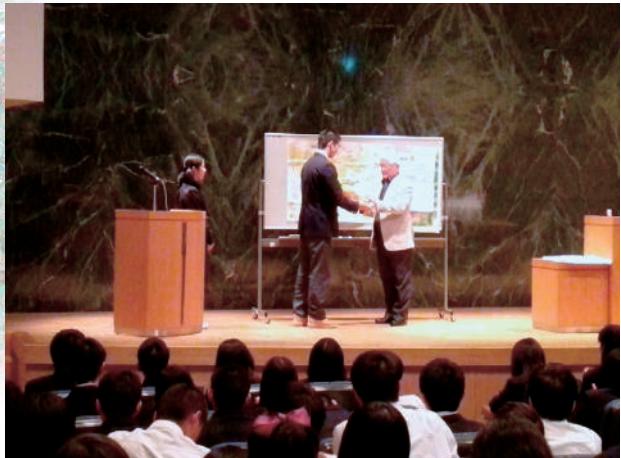
● 加茂高校の四季折々	1
● 祝辞とごあいさつ	7
● 校史編	17
● 資料編	27
● 部活動の記録	47
● 生徒会活動の記録	101
● 70周年記念事業 活躍する卒業生	133

～加茂高校の四季折々～



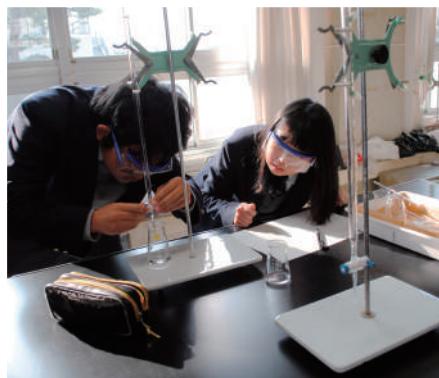


秋





1/12 (金) 明日はセンター試験
大丈夫、大丈夫。
解ける問題を解くだけだ。
これまでの勉強の成果がそのまま出るだけだ。
運もあるが、入試で命をとられるわけではない。
解ける問題を1問でも増やすために、3月まで
努力し続けるだけだ。最後までやさりきる！
冬のスタートが明日だ。もちろん最後までつき合おう！



祝辞とご挨拶



創立70周年によせて

同窓会 会長

渡辺 隆 晴
(第16回生 普 卒)

昭和23年、戦後の泥沼、混乱の時代に加茂高等学校は生まれました。昭和22年生まれの私の人生と重なって感慨深いものがあります。私の入学した37年頃は高校へ進学できる人は半分くらいでした。私も貧しい7人兄弟の末のほうで高校へ進学出来たのは私一人でした。ほとんどの家庭が貧しかったと思いますが特に私の家はひどく、とても1,600円/月の授業料なんて払える状態ではなかったため、授業料免除の申請をしたところ運良く合格しました。高校3年間の春、夏、冬の休みはすべて当時親父が行っていた多治見の土建会社でバイトをした記憶があります。

こんな状況ではありましたが高校3年間は実に楽しい3年間でした。部活も勉強もまあ、ほどほどに一生懸命頑張りましたが何よりも素晴らしい仲間が作れたことです。舟木一夫さんの「高校三年生、学園広場、修学旅行、仲間たち」はまさに私たちの歌でした。それから日本は急速に発展し、卒業する頃(昭和40年)は東海道新幹線、名神高速道路、東京オリンピックと高度成長真っただ中で、日本国中がみんな心を一つにして一生懸命でした。

こんな時代に、加茂高校では元祖、文武両道の精神のもと、自由で自主性を重んじて育てていただき、強くて逞しい私たちに育つことができました。しかし、これから世の中は全く想像ができません、IT、AIとこれまでの「追いつけ、追い越せ」のモノづくりの時代から大きく世の中は変化しようとしています。「貧乏が敵」だった時代から現代は「溢れるばかりの豊かさが敵」の時代です。世の中が180度転換しようと/or>しているこれからの70年を生きていく皆さんは大変だと思います。しかし、加茂高校の「明朗進取」、「誠実努力」、「親愛奉仕」の校風のもと、「文武両道」精神で育つ加茂生には決して派手ではありませんが優しく、粘り強く、逞しく人生を生き抜いてくれると思います。

私は取りあえず30年後の「創立100周年」を目指して頑張ろうと思っています。
「半端ない加茂高校」！ 70周年万歳！



あいさつ

学 校 長

藤 掛 賀 津 博

(第30回生 普 卒)

この度、岐阜県立加茂高等学校が創立70周年を迎えるにあたり、ここに記念式典を盛大に挙行できますことは誠に喜ばしく、関係の皆さまに深く感謝申し上げます。

本校は、昭和23年の学制改革に伴い、前身の加茂農林高等学校に普通科を併設し、加茂高等学校としてスタートしました。その後、幾多の変遷を経て、創立以来約26,000人の卒業生を輩出し、歴史と伝統を誇る学校として発展してまいりました。卒業生は地元はもとより、日本全国、さらには世界各地で活躍しております。これはひとえに県教育委員会をはじめ、同窓会、後援会、更には地域の皆さまの温かいご支援と、歴代校長・教職員の方々による努力の賜物であると敬意を表します。

また、創立70周年記念事業として、同窓会をはじめとする皆さまのご支援により、マイクロバス等の整備や同窓会館の改装をしていただきましたことに感謝を申し上げます。

さて、本校の校風である「文武両道」の精神は、70年にわたって多くの先輩方が新たのことへと常に挑戦する気概の中で築き上げられてきました。この精神は今も健在で、生徒は学業はもとより、生徒会活動や部活動にも積極的に励んでいます。現在、本校は全日制課程普通科・理数科、定時制課程普通科に合わせて約1,000名が在籍しており、『明朗進取・誠実努力・親愛奉仕』の校訓のもと、「高い学力・健康でたくましい心身・豊かな人間性」を備えた有意な人材の育成を目標に教育活動に取り組んでおります。授業中の真摯に学ぶ姿、放課後のグラウンドに響く元気なかけ声や、「カキーン、カキーン!」という小気味良い金属音、校舎内からあふれ出す吹奏楽の音色やコーラスの歌声など、活気溢れる中で充実した学校生活を送っている生徒の姿は本当に頼もしいものです。そんな彼らが自らの夢や目標の実現に向けて、何事にも『挑戦』する気概をもち、本校の良き伝統を次の十年、二十年先へ受け継いでくれることを期待しています。

まさに、これから社会は急速に進展する国際化、高度情報化、高齢化の中にあって、豊かな人間性をもち、地域社会の発展に貢献できる人材が求められております。職員一同、創立70周年を契機として本校が地域の文化の担い手を育む場であるという誇りを胸に、これからも人材育成に全力で努めていく所存です。今後とも、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、加茂高等学校創立70周年記念の本誌発行にあたりご尽力いただいた皆さんに厚く御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



祝　　辞

岐阜県知事

古　田　　肇

岐阜県立加茂高等学校が創立70周年を迎えられ、ここに記念式典を挙行されますとともに、様々な記念事業が開催されることは誠に意義深く、心よりお祝い申し上げます。

貴校の歩みは、昭和23年に発足した新制高等学校の歩みそのものであり、戦後教育がここに70周年を迎えたということでもあります。この間に貴校を卒業した卒業生は約3万名を数え、県内はもとより、国内外のあらゆる分野で活躍されております。これはひとえに、歴代の校長先生を始めとする教職員、保護者、同窓生のたゆまぬ努力と、地域の皆様の温かいご支援の賜物と、深く感謝申し上げるとともに敬意を表する次第です。

さて、現在は人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない一方、グローバル化で地域間競争が激化している時代といわれております。そこで本県では、産業や地域の担い手づくり、子どもを産み育てやすい環境整備、教育の充実など「清流の国ぎふを支える人づくり」、成長・雇用戦略の推進、観光産業の基幹産業化、持続可能な農林畜水産業づくりなど「地域の魅力を活かした清流の国づくり」、医療・福祉の充実・連携、県土強靭化、清流環境の保全、ネットワーク・インフラの整備など「安全・安心な清流の国ぎふづくり」の3本柱で「清流の国ぎふ」づくりを全面展開しているところです。このうち、「清流の国ぎふを支える人づくり」においては、グローバルな視点から社会的課題を発見・解決する力を身に付け、国際舞台や地域社会で活躍できる人材を育成することが求められております。そうした中、貴校では、「社会に開かれた信頼される学校づくり」を推進され、「明朗進取　誠実努力　親愛奉仕」の校訓の下、これから社会を担う自立した生徒の育成に努められており、このことは誠に心強い限りであります。これからも、良き校風と伝統をもつ貴校で学ばれる生徒の皆さんに、自分たちに課せられた使命をよく理解し、バランスの取れた豊かな人間性を備えた人材として成長されることを念願してやみません。

今後とも、貴校の教育に携わる関係者のご尽力をお願いいたしますとともに、岐阜県立加茂高等学校が、創立70周年を契機にして、今まで築かれた伝統を継承しながら一層の飛躍を目指して邁進されることを祈念して祝辞といたします。



挨 拶

岐阜県教育委員会 教育長

安 福 正 寿

岐阜県立加茂高等学校が創立70周年を迎えられ、記念式典を挙行されますとともに、輝かしい歴史を綴る記念誌を刊行されますことを、心からお慶び申し上げます。

本校は、昭和23年、母体となった加茂農林学校の伝統を引き継ぎ、農業科及び普通科併設の高等学校として発足しました。以来、商業科の設置、夜間定時制課程の設置、分校の廃合、農業科及び商業科の廃止、理数科の設置、白川高等学校との統合など幾多の変遷を経ながら、約3万人の人材を輩出してきました。この間、「文武両道」の旗印の下に研鑽を積まれた多くの卒業生が、県内はもとより、広く国内外において活躍していることは限りない喜びであります。これはひとえに、これまでの生徒の皆さんのかゆまぬ努力、さらには保護者、同窓会、後援会並びに地域の皆様など多くの方々のご理解とご支援の賜物と、心から感謝申し上げます。

県教育委員会では「平成30年度岐阜県教育委員会の基本方針」として、「時代や社会の変化に対応した新しい教育」、「教職員の働き方改革の推進」、「多様なニーズに対応した教育」、「確かな学力の育成」、「豊かな心と健やかな体を育む教育」、「安全・安心な教育環境づくり」の六つを柱に様々な施策を展開し、「清流の国ぎふ」の明日をひらく教育を推進しています。

このような折、本校では、学校改革目安箱や学校評議員の意見を取り入れながら地域社会を始めとする県民の皆様との連携を一層密にするとともに、本校のインターネット・ホームページを工夫して分かりやすい情報提供に努めるなど、開かれた学校運営に意欲的に取り組んできました。その効果もあり、学校祭や球技大会などの生徒会活動や、P T A活動に対する保護者や地域の皆様の関心は極めて高く、毎回多くの方々に来校していただいています。また、本校では、全国大会優勝を何度も達成しているボート部を始めとする部活動も極めて活発であり、今後も学力向上とともに生徒一人一人の心身の健全な育成に努めてまいる所存です。

岐阜県立加茂高等学校が、創立70周年を契機に、地域の期待に応える学校として益々充実・発展することを祈念して、挨拶といたします。



祝　辞

美濃加茂市長

伊　藤　誠　一

岐阜県立加茂高等学校が70年間、地域に根差した可茂地域の中心校として輝かしい歴史を築いてこられたこと、まさしく美濃加茂市民の誇りであり、心から感謝と敬意を表します。

創立70周年を迎えた2018年は、貴校の歴史に新たな、そして大きな足跡を残す年となったのではないでしょうか。

卒業生であり、脚本家、映画監督として活躍されている北川悦吏子さんが手がけられたNHKの連続テレビ小説「半分、青い。」の中で、主人公が青春時代を過ごした高校として登場し、全国から注目を集めました。さらに、北川悦吏子さんが、美濃加茂市と早稲田大学が主催し、文化芸術活動に対して大きな貢献をされた方々を顕彰する「坪内逍遙大賞」を美濃加茂市出身の方として初めて受賞されました。

まさに、70周年を飾るにふさわしい出来事であったと思います。坪内逍遙から続く、文学に触れ、文学を愛し、そして創作するDNAは、今も加茂高生徒に受け継がれていると思います。

スポーツ部門においても、2017年には、全国大会2冠達成など数々の功績により、加茂高等学校ボート部が、美濃加茂市功労者表彰を受賞されました。

小山観音の橋のたもとにあった艇庫からその華やかな歴史が始り、その伝統は飛騨川のごとく脈々と受け継がれています。川の水面を一致団結して懸命に漕ぎ続ける姿は、時代の流れの中を成長と成功に向かう加茂高生徒一人一人の姿に重なります。これからも世代を超えて、人生というボートをゴールに向かって漕ぎ続けていただきたいと思います。

また、岐阜県の要に位置する加茂高等学校は、美濃加茂市のみならず、岐阜県全域から生徒を受け入れていただいています。

特に定時制課程では、外国籍生徒の数が年々増加している状況であり、国際交流・多文化共生を進める美濃加茂市を象徴する学校であると思います。

今後も、加茂高等学校の校風である「文武両道」の精神のもとに、美濃加茂市を愛し、美濃加茂市に誇りを持ち、そして世界で堂々と活躍する人材が育つ学校であることを祈念し、創立70周年のお祝いの言葉といたします。



創立70周年を迎えて

後援会 会長

加 藤 建 夫
(第29回生 普 卒)

岐阜県立加茂高等学校が創立70周年を迎え、皆様と共にお慶び申し上げます。

本校が誕生し、幾多の変革を繰り返しながら70年の歴史をもつ学校となりました。ここ20年をみても武道場の完成・白川高等学校との統合・空調設備工事・部室棟新築工事・耐震補強工事など大きく変わりました。その中で卒業生は約26,000人を数え、この中には国会議員をはじめ各界で活躍される人も多数含まれています。70周年記念事業で、その卒業生のひとり北川悦吏子さんの記念講演会を行ないます。また同窓会館の改修も行われました。本後援会もこの事業に関わることができ嬉しく思います。私自身も記念事業実行委員として、このプロジェクトに参画することができたということはこのうえない喜びです。

加茂高校後援会は、最近ではボートや楽器の購入、弓道場の砂場の整備、生物室顕微鏡用モニターの購入などを行って参りました。これからも加茂高校の発展の為、教育の活性化を目的として生徒や部活動に支援を続けていきたいと思っております。

最後にこの記念事業にあたり、同窓会やPTAの方々をはじめ関係者の皆様の多大なるご努力に感謝申し上げます。



創立70周年によせて

PTA会長

日比野 宅芳

(第39回生 普卒)

岐阜県立加茂高等学校創立70周年を迎えられること、皆様と共に心よりお喜び申し上げたいと思います。

本校においては、昭和23年の創立以来70年間、数多くの卒業生を輩出されました。その中には、世界的な研究者や文学者、政財界人など多くの有名な卒業生もいらっしゃいます。また、この地域でも数多くの卒業生が活躍され、地域文化、地域経済を支えておられます。その活躍は在校生だけでなく、地域の若者の目標となっており、在校生保護者としてばかりでなく、地域住民としてたいへん誇りに感じています。

在校生にあっては、学業はもちろん、部活動でも全国大会、東海大会等々で素晴らしい成績をおさめています。また、近年では地域づくりのための活動への生徒の参加も多くあり、学校だけでなく地域社会での活躍もみられます。これも加茂高校の伝統である「文武両道」の校風があってこそものであると感じております。

そして、これらの活躍は、歴代の校長はじめ諸先生方の情熱的なご指導、加茂高校を愛する卒業生、地域の皆様の支え、そして何よりもを愛する保護者の愛情の賜物だと思います。今後も、さらなる愛情とご指導を生徒たちに対してお願ひいたします。

現在、子どもたちの生活環境は、たいへんめまぐるしいスピードで変化をしております。世界中の様々な情報が氾濫し、いつでもどこでも手に入る日常です。そのような環境の中であるからこそ、ものごとの本質を見極め、生きる力を養っていくことが大切であると感じています。その生きる力を得るために、子ども達にとって加茂高校での経験が有意義なものになることを確信しています。

今後も輝かしい伝統ある加茂高校が地域文化の核となり、さらなる発展をされることを祈念申し上げます。

最後に、70周年記念行事にあたり、同窓会、後援会をはじめ、関係者の皆様のご努力に感謝いたします。



創立70周年を迎えて

平成30年度 前期生徒会長

森 下 幸 香

加茂高等学校は本年度、創立70周年を迎えることになりました。この記念すべき年に生徒会長を務めさせていただき、とても光栄に思います。

加茂高等学校は1948年(昭和23年)に創立され、「文武両道」の校風の下、多くの生徒が誠実で礼儀正しく、学習活動だけでなく、部活動や生徒会活動もきわめて活発であることが本校の誇りです。

部活動では、インターハイや国民体育大会などで全国優勝を何度も達成したボート部をはじめ、生徒がいきいきと活動し、すばらしい成果をあげています。自己の目標を達成するために一生懸命練習する姿や、試合の時に最後まであきらめずに戦う先輩たちの姿を見て、私は真剣に取り組むことの大切さ、格好よさを学びました。

本校最大の行事である加茂高祭は3日間にわたって、全校生徒が一体となって盛り上がります。文化祭ではホームルームごとに、アイデアを凝らした演劇やダンスパフォーマンス、展示などが発表されます。体育祭では、東西南北の4団の対抗戦形式で行われ、応援団リーダーを中心に華やかな応援活動が繰り広げられます。加茂高祭では、活動する者だけでなく、観客も含めた全体が楽しめる方法を生徒一人一人が考え、自ら提案し、生徒主体で企画・運営していくすばらしい伝統が息づいています。

また、本校は世界的な業績をあげた科学者や、日本を代表する文学学者など、政治、経済、文化の各方面で活躍されている卒業生も多く、優秀な人材を世に送り出してきた伝統校です。毎年、部活動を引退した3年生の皆さんのが、放課後の教室や図書館などで、自分たちの夢を叶えるために勉学に集中する姿が見られます。加茂高生として充実した学校生活を送ってこられた先輩方は、私たちの目標であり、憧れです。

私たちはこれまで培ってきた古き良き伝統を継承し、新しい分野にも積極的に挑戦する加茂高生であり続けたいと思っています。そして、多くの先輩方が築き上げてこられた「加茂高生の姿」を今後も継承していきます。

校 史 編

学校概要

1 所在地

〒505-0027 岐阜県美濃加茂市本郷町2-6-78 電話(0574)25-2133

2 沿革

〔加茂高等学校〕

明治44.10 加茂郡立農林学校設立許可

大正12.4 県立移管、岐阜県加茂農林学校と改称

昭和23.4 岐阜県立加茂農林高等学校と改称

同23.8 高等学校総合制実施により、岐阜県立加茂高等学校と改称し、農業科・畜産科・普通科を設置、定時制課程農業科設置許可

同24.4 加茂郡蜂屋村に定時制分校設置、農業科4カ年、家庭科2カ年、商業科4教室、タイプ室建設

同26.3 寄宿舎建設(町村負担)

同27.3 定時制蜂屋分校廃止

同28.4 本校定時制を夜間に切換え普通科に変更

同29.4 神淵分校の農業科を普通科に変更

同30.4 町村合併により神淵分校を七宗分校と改称

同32.12 講堂兼体育館(160坪) 完成

同35.9 組合立中濃高等学校設置にともない七宗分校廃止

同36.4 岐阜県立加茂農林高等学校設置にともない農業科廃止 校章・校旗制定

同37.1 格技場(85坪) 移転

同 5 家庭科被服教室、商業実践室建設

同39.6 本館第一期工事(900.08m^2) 完成

同40.3 本館第二期工事($1,010.69\text{m}^2$)、校務員室完成

同 4 体育館拡張工事、体育教官室完成

同 9 本館第三期工事(513.00m^2) 完成

同 9 岐阜国体 漕艇競技において、女子ナックルフォア優勝

同41.9 大分国体 "

同42.9 埼玉国体 "

同43.8 本館第四期工事($4,907.9\text{m}^2$) 完成

- 同 9 福井国体 漕艇競技において、女子ナックルフォア優勝
加茂高会館(同窓会館) 完成
- 同 11 創立20周年記念式挙行
- 同45. 4 商業に関する学科として営業・経理・事務科を設置、これにともない従来の商業科は募集停止
- 同47. 3 第二棟第一期工事($1,291.74\text{m}^2$) 完成
- 同47. 4 理数科1学級設置
- 同48. 4 営業・経理・事務の3学科募集停止 普通科6学級、理数科2学級編成
- 同49. 3 第二棟第二期工事($1,166.54\text{m}^2$) 完成
- 同 4 学区制変更に伴い普通科8学級、理数科2学級編成となる
- 同51. 3 第二棟第三期工事(650.81m^2) 完成
- 同53. 10 創立30周年記念式挙行
- 同55. 10 加茂高校後援会結成
- 同56. 4 普通科7学級編成
- 同56. 4 講堂兼体育館開館記念式典挙行
- 同58. 4 普通科8学級編成
- 同60. 3 第三棟特別教室第一期工事(944.48m^2) 完成
- 同 3 合併処理槽、屋外便所完成
- 同61. 3 第三棟特別教室第二期工事(349.20m^2) 完成
- 同61.10 文化系部室棟(408.00m^2) 完成、中庭の造園
- 同62. 8 校門、通路改良工事完成
- 同63.11 創立40周年記念式挙行
- 平成元. 4 普通科9学級編成
- 同 2. 8 第一棟大規模改造工事
- 同 7. 3 家庭科調理実習室改造工事
- 同 3 同窓会館改造工事
- 同 4 国際文化コース1学級設置
- 同 8. 1 第二棟屋上外壁庇改修工事
- 同 1 公共下水切替工事
- 同 4 普通科8学級編成

- 同 9. 3 潛艇部艇庫(399m²) 完成
- 同10. 3 同窓会館改修工事完了
- 同10. 4 定時制課程単位制に改編
- 同10.11 創立50周年記念式挙行
- 同11. 3 配管改修工事完了
- 同11.11 格技場取り壊し
- 同12. 8 武道場(699.40m²) 完成
- 同13. 3 トレーニングルーム(104.00m²) 完成
- 同14. 1 第一屋内体育館取り壊し
- 同14. 4 普通科7学級編成
- 同16. 4 普通科6学級編成
- 同16. 9 第一棟屋上防水工事
- 同17. 1 県教委による「生徒いきいきプラン」により、平成19年4月1日に本校と白川高等学校との統合を発表
- 同18. 1 統合後の校名を「加茂高等学校」とすることを発表
- 同18. 4 普通科5学級編成
- 同18. 9 第二棟空調設備設置工事完了
- 同18.12 第二棟耐震補強工事、普通教室等改修工事完了
- 同19. 4 「生徒いきいきプラン」により本校と白川高等学校が統合、国際文化コース募集停止、普通科6学級編成
- 同19. 8 第一棟空調設備設置工事完了
- 同19. 8 ボート部女子クオドルブル、インターハイ全国優勝
- 同20. 3 市道拡幅に伴う校門移設工事、部室棟新築工事完了
- 同21. 3 加茂高等学校白川校舎閉校式挙行、統合完了
- 同22. 3 第一棟耐震補強工事完了
- 同23. 4 普通科7学級、理数科1学級編成
- 同24. 3 ボート部男子クオドルブル、全国高等学校選抜ボート大会優勝
- 同24. 4 普通科8学級、理数科1学級編成
- 同24. 8 第一棟改修工事完了

- 同25. 3 ボート部女子クオドルプル、全国高等学校選抜ボート大会優勝
- 同25. 4 普通科 7 学級、理数科 1 学級編成
- 同25. 8 ボート部女子クオドルプル、インターハイ全国優勝
- 同25. 9 ボート部女子クオドルプル、東京国体全国優勝
- 同26. 4 普通科 8 学級、理数科 1 学級編成
- 同26. 8 ボート部女子クオドルプル、インターハイ全国優勝
- 同26. 8 ボート部女子個人、世界ジュニア選手権ドイツ大会出場
- 同26.10 ボート部女子クオドルプル、長崎国体全国優勝
- 同27. 1 囲碁将棋部全国高等学校文化連盟将棋新人大会(個人)、全国大会優勝
- 同27. 4 普通科 8 学級、理数科 1 学級編成
- 同28. 4 普通科 7 学級、理数科 1 学級編成

〔白川高等学校・加茂高等学校白川校舎〕

- 昭和48. 7 岐阜県教育委員会において、岐阜県立高等学校の通学区域および学校群等に関する規則を決定、その際、美濃加茂学区に新設県立高等学校の設置を予定
- 同49. 6 校地造成工事起工式
- 同50. 1 新設県立高校担当主査発令
- 同50. 7 第1期校舎等建築工事起工式
- 同50.10 本校開設準備事務執行官として岐阜県立加茂高等学校長佐野隆一外2名が発令され、開設準備室を加茂高等学校に設置
- 同50.10 上棟式
- 同50.11 岐阜県教育委員会において、校名を岐阜県立白川高等学校と決定
- 同50.12 岐阜県教育委員会において、本校の入学定員を次のとおり決定
全日制課程 普通科135名(3学級)
- 同51. 3 第1期工事竣工(本館棟・昇降口・売店・渡り廊下・器具庫・屋外便所・自転車置場)
- 同51. 3 岐阜県議会において、岐阜県立白川高等学校設置を議決
- 同51. 4 白川町農協会館において開校式及び第1回入学式を挙行
- 同52. 3 第2期工事竣工(本館棟)
- 同52. 6 体育館竣工
- 同53. 12 本館増築工事竣工(進路指導室等)
- 同54. 2 生徒会室竣工
- 同56. 3 格技場竣工
- 同57. 2 部室竣工
- 同59. 3 セミナーハウス竣工
- 同62. 4 普通科4学級編成
- 同63. 4 普通科3学級編成
- 平成 7. 10 創立20周年記念式典挙行
- 同11. 11 特別棟竣工
- 同14. 3 校内L A N設置
- 同14. 7 職員室内OAフロア化完了
- 同14. 9 トレーニングルーム完成
- 同17. 10 創立30周年記念式典挙行
- 同19. 4 岐阜県立加茂高等学校と統合、白川校舎と名称変更
- 同21. 3 第31回卒業式及び閉校式挙行

学校長 (加茂高校・白川高校)

年度	校長名	高校名	校長名	高校名
平成 11 年度	森 俊 勝		國 光 正 宏	
平成 12 年度				
平成 13 年度	岩 田 孝 志		石 田 啓 介	岐阜県立白川高等学校
平成 14 年度				
平成 15 年度	高 屋 一 行			
平成 16 年度	古 川 和 明		高 橋 清 生	
平成 17 年度	白 川 誠		白 川 誠	岐阜県立加茂高等学校 白川校舎
平成 18 年度				
平成 19 年度	大 平 高 司	岐阜県立加茂高等学校	大 平 高 司	
平成 20 年度				
平成 21 年度	鹿 野 孝 紀			
平成 22 年度				
平成 23 年度	篠 田 憲 明			
平成 24 年度				
平成 25 年度	高 橋 博 美			
平成 26 年度				
平成 27 年度	平 野 弘			
平成 28 年度				
平成 29 年度	藤 掛 賀津博			
平成 30 年度				

卒業生 (加茂高校・白川高校)

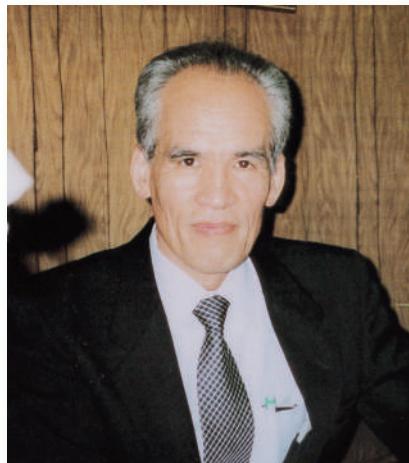
年 度	加茂高等学校				白川高等学校 ※ 加茂高等学校 白川校舎 普通科
	普通科	国際文化コース(内数)	理数科	普通科(定時制)	
平成 11 年度	316	(39)	78	3	104
平成 12 年度	316	(40)	79	20	92
平成 13 年度	315	(39)	79	11	102
平成 14 年度	318	(43)	78	20	100
平成 15 年度	322	(42)	81	23	95
平成 16 年度	274	(40)	76	28	87
平成 17 年度	277	(41)	79	26	89
平成 18 年度	236	(39)	68	22	67
平成 19 年度	240	(40)	80	29	※ 49
平成 20 年度	197	(40)	65	26	※ 44
平成 21 年度	237		57	25	
平成 22 年度	237		73	28	
平成 23 年度	235		72	32	
平成 24 年度	238		77	23	
平成 25 年度	275		31	25	
平成 26 年度	304		39	18	
平成 27 年度	276		37	26	
平成 28 年度	295		38	23	
平成 29 年度	291		23	26	

歴代校長

(平成 11 年度から 平成 30 年度)



第19代 森 俊勝
(平成 11・12 年度)



第20代 岩田孝志
(平成 13・14 年度)



第21代 高屋一行
(平成 15 年度)



第22代 古川和明
(平成 16・17 年度)



第23代 白川 誠
(平成 18・19 年度)



第24代 大平高司
(平成 20・21 年度)



第25代 鹿野孝紀
(平成22年度)



第26代 篠田憲明
(平成23～25年度)



第27代 高橋博美
(平成26・27年度)



第28代 平野弘
(平成28・29年度)



第29代 藤掛賀津博
(平成30年度)

資料編

役 員
同窓会 [平成11~30年度]

年 度	会 長	副 会 長						
平成11年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	横 田 文 夫 澤 野 雅 良	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子		
平成12年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	横 田 文 夫 澤 野 雅 良	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子		
平成13年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	横 田 文 夫 澤 野 雅 良	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子		
平成14年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子			
平成15年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子			
平成16年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 青 山 紀 久	酒 向 鈴 一 木 村 茂 樹	渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子			
平成17年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 木 村 茂 樹	酒 向 鈴 一 渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子	青 山 紀 久			
平成18年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 木 村 茂 樹	酒 向 鈴 一 渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子	青 山 紀 久			
平成19年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 木 村 茂 樹	酒 向 鈴 一 渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子	青 山 紀 久			
平成20年度	古 溪 義 正	佐 光 美代子 木 村 茂 樹	酒 向 鈴 一 渡 辺 隆 晴	加 藤 珍 子	青 山 紀 久			
平成21年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成22年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成23年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成24年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成25年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成26年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎					
平成27年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎	小 林 多 門				
平成28年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎	渡 邊 緑 郎	小 林 多 門	中 村 悟			
平成29年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎 小 林 多 門	渡 邊 緑 郎	中 村 悟	加 藤 建 夫			
平成30年度	渡 辺 隆 晴	浅 野 志 郎 小 林 多 門	渡 邊 緑 郎	中 村 悟	加 藤 建 夫			

後援会 [平成11~30年度]

年 度	会 長	副 会 長	書 記	会 計
平成11年度	三品 視喜雄	渡辺 隆晴		岩井 健治 野村 育子 祖父江 滋
平成12年度	三品 視喜雄	浅野 志郎		美濃輪 久幸 宮崎 ふみ子
平成13年度	三品 視喜雄	山田 栄		林 幸利 渡辺 みちる
平成14年度	三品 視喜雄	中村 悟		神田 成則 井戸 靖司
平成15年度	三品 視喜雄	古溪 義正 中村 悟	片桐 厚志 今井 英美 丸茂 恵子 野村 育子	日比野 春美 渡邊 皆人 石坂 修
平成16年度	三品 視喜雄	古溪 義正 中村 悟 渡邊 皆人	日比野 春美 野村 育子 矢田 宗雄 佐合 茂樹	重田 美栄子 渡邊 るり子 政井 敏夫
平成17年度	中村 悟	古溪 義正 渡邊 皆人 矢田 宗雄	川合 久信 高島 幸夫 杉本 英樹 重田 美栄子	井戸 美智子 橋本 恵子 政井 敏夫
平成18年度	中村 悟	古溪 義正 矢田 宗雄 高島 幸夫	川合 久信 橋本 恵子 西原 敏隆 渡邊 ひとみ	中嶋 佳克 佐橋 尚子 若山 充
平成19年度	中村 悟	古溪 義正 高島 幸夫 中嶋 佳克	西原 敏隆 酒向 久美子 大畠 英樹 山腰 真実	小倉 春喜 加藤 万由弓 若山 充
平成20年度	中村 悟	古溪 義正 中嶋 佳克 小林 多門	鶴田 美紀代 角田 雅彦 鈴木 秀幸 福地 景子	加藤 万由弓 渡辺 豊 若山 充
平成21年度	中村 悟	渡辺 隆晴 高島 幸夫 小林 多門 鈴木 秀幸	細川 博敏 田口 千代美 五島 則幸 佐合 弘之	渡辺 玲子 伊佐治 貢 熊田 隆起
平成22年度	中村 悟	渡辺 隆晴 小林 多門 鈴木 秀幸 伊佐治 貢	篠田 和典 石山 さとみ 佐賀 浩 酒向 博英	石井 ゆかり 藤井 宗裕 熊田 隆起
平成23年度	小林 多門	渡辺 隆晴 鈴木 秀幸 伊佐治 貢 酒向 博英	篠田 和典 三輪 佳余子 藤井 宗裕 繁 繁泰一	金子 昌裕 竹本 里美 中山 実夫
平成24年度	小林 多門	渡辺 隆晴 鈴木 秀幸 伊佐治 貢 酒向 博英 繩 繩 泰一	坂崎 尚子 竹本 里美 植松 雅則 森 利和	田原 義哲 森川 英司 中山 実夫
平成25年度	小林 多門	渡辺 隆晴 鈴木 秀幸 伊佐治 貢 酒向 博英 繩 繩 泰一	田原 義哲 武田 由美 加藤 建夫 高山 理絵	日比野 剛司 高木 いづみ 加藤 和也
平成26年度	小林 多門	渡辺 隆晴 鈴木 秀幸 伊佐治 貢 酒向 博英 繩 繩 加藤 泰一	天野 賢次 若尾 修子 田原 芳子 高木 いづみ	高山 理絵 村瀬 里砂 加藤 和也
平成27年度	加藤 建夫	渡辺 隆晴 酒向 博英 繩 繩 泰一 森 利和 天野 賢次		伊藤 佳孝
平成28年度	加藤 建夫	渡辺 隆晴 酒向 博英 森 利和	安達 裕史	天野 賢次 伊藤 佳孝
平成29年度	加藤 建夫	渡辺 隆晴 酒向 博英 森 利和 奥田 重信		天野 賢次 奥村 正則
平成30年度	加藤 建夫	渡辺 隆晴 酒向 博英 森 利和 奥田 重信 奥野 弘基		天野 賢次 竹内 英雄

P T A [平成11~30年度]

年 度	会 長	副 会 長	会 計	会計監査
平成11年度	渡辺 隆晴	宮口 誠 浅野 志郎 小澤 多賀男 堀山 淳子	岩井 健治 野村 育子 祖父江 滋	山田 寿道 藤田 礼子 福地 文子
平成12年度	浅野 志郎	山田 栄 横幕 公司 岩井 健治 野村 育子	祖父江 滋 美濃輪 久幸 宮崎 ふみ子	小澤 多賀男 堀 淳子 福地 文子
平成13年度	山田 栄	横幕 公司 井上 行正 細野 幸男 宮崎 ふみ子	林 幸利 渡辺 みちる 稻村 篤治	山田 寿道 美濃輪 久幸
平成14年度	中村 悟	片桐 厚司 今井 英美 丸茂 惠子 伊藤 誠一	神田 成則 井戸 靖司 稻村 篤治	大脇 慶二 古山 哲雄 前島 宗孝
平成15年度	中村 悟	片桐 厚司 今井 英美 丸茂 惠子 野村 育子	日比野 春美 渡邊 皆人 石坂 修	伊藤 誠一 古山 哲夫 前島 宗孝
平成16年度	渡邊 皆人	日比野 春美 野村 育子 矢田 宗雄 佐合 茂樹	重田 美栄子 渡邊 るり子 政井 敏夫	伊藤 誠一 井戸 順司 渡邊 武雄
平成17年度	矢田 宗雄	川合 久信 高島 幸夫 杉本 英樹 重田 美栄子	井戸 美智子 橋本 恵子 政井 敏夫	渡邊 るり子 座馬 利裕 佐合 茂樹
平成18年度	高島 幸夫	川合 久信 橋本 恵子 西原 敏隆 渡邊 ひとみ	中嶋 佳克 佐橋 尚子 若山 充	前野 ルリ子 佐賀 浩 松田 富子
平成19年度	中嶋 佳克	西原 敏隆 酒向 久美子 大畑 英樹 山腰 真実	小倉 春喜 加藤 万由弓 若山 充	渡邊 ひとみ 佐橋 尚子 加唐 美智子
平成20年度	小林 多門	鶴田 美紀代 角田 雅彦 鈴木 秀幸 福地 景子	加藤 万由弓 渡辺 豊 若山 充	山腰 真実 深尾 鐘二郎 吉良 員子
平成21年度	鈴木 秀幸	細川 博敏 田口 千代美 五島 則幸 佐合 弘之	渡辺 玲子 伊佐治 貢 熊田 隆起	福地 景子 佐賀園 美 渡辺 豊
平成22年度	伊佐治 貢	篠田 和典 石山 さとみ 佐賀 浩 酒向 博英	石井 ゆかり 藤井 宗裕 熊田 隆起	野口 博明 榊間 月絵 近藤 明美
平成23年度	酒向 博英	篠田 和典 三輪 佳余子 藤井 宗裕 繁 繁泰一	金子 昌裕 竹本 里美 中山 実夫	河合 三知雄 長瀬 美紀江 須藤 司
平成24年度	繩 繁 泰一	坂崎 尚子 竹本 里美 植松 雅則 森 利和	田原 義哲 森川 英司	小島 佐俊 岩井 陽子 今瀬 雅代
平成25年度	森 利和	田原 義哲 武田 由美 加藤 建夫 高山 理絵	日比野 剛司 高木 いづみ	落合 誠司 柴田 清 渡邊 隆
平成26年度	加藤 建夫	天野 賢次 若尾 修子 田原 芳子 高木 いづみ	高山 理絵 村瀬 里砂 加藤 和也	櫻井 たか世 伊佐地 千里 今井 昌代
平成27年度	天野 賢次	奥田 重信 山本 久哉 櫻井 たか世 森下 稔恵	可児 功吉 只腰 知子 伊藤 佳孝	永谷 八千代 山中 美紀 杉原 めぐみ
平成28年度	奥田 重信	尾関 雅宣 森下 稔恵 奥野 弘基 山口 直樹	可児 功吉 熊崎 真幸 伊藤 佳孝	天野 賢次 山田 慶弥 福井 博敏
平成29年度	奥野 弘基	山口 直樹 森下 稔恵 百瀬 玉緒 日比野 宅芳	遠藤 一夫 富田 勝也 奥村 正則	山田 慶弥 福井 博敏
平成30年度	日比野 宅芳	森下 稔恵 今井 省吾 肥田 彰吾 後藤 文岳	遠藤 一夫 梶田 達也 竹内 英雄	伊藤 真紀 奥田 麻貴子 荒井 美幸

定時制教育振興会 [平成11~30年度]

年 度	会 長	副 会 長	書 記	会 計	会計監査
平成11年度	石 井 幸太郎	後 藤 清 治 夏 目 重 之	近 藤 孝 夫 津 田 厚 雄	福 田 琴 美 祖 父 江 滋	末 宗 和 也 水 口 文 久
平成12年度	石 井 幸太郎	後 藤 清 治 夏 目 重 之	近 藤 孝 夫 牧 田 二 郎	福 田 琴 美 祖 父 江 滋	末 宗 和 也 水 口 文 久
平成13年度	今 井 克 行	木 村 和 信 小 池 邦 夫	平 野 靖 志 渡 边 邦 友	三 浦 邦 雄 稻 村 篤 治	相 馬 満 代 西 垣 正 俊
平成14年度	竹 本 弘 一	小 池 邦 夫	渡 边 邦 友	三 浦 邦 雄	西 垣 正 俊
平成15年度	村 山 和 恵	松 本 セツ子 若 園 貞 一	若 林 円 章 安 藤 和 章	小 川 人 美 修 石 坂	佐 橋 正 春 可 児 照 子
平成16年度	松 本 セツ子	村 山 和 恵 若 園 貞 一	若 林 円 章 安 藤 和 章	小 川 人 美 修 政 井 敏 夫	鈴 木 正 孝 生 駒 孝 孝
平成17年度	鈴 木 正 孝	若 林 円 章 加 藤 善 朗	小 川 人 美 修 安 藤 和 章	阿 岸 多 恵 子 政 井 敏 夫	生 駒 孝 孝 森 嶋 富 美 江
平成18年度	鈴 木 正 孝	若 林 円 章 加 藤 善 朗	小 川 人 美 修 安 藤 和 章	阿 岸 多 恵 子 若 山 充	森 嶋 富 美 江 服 部 清 美
平成19年度	鈴 木 正 孝	生 駒 孝 伊 石 美 千 代 藤 井 謙 二	苅 谷 裕 美 子 松 井 直 也	阿 岸 多 恵 子 若 山 充	服 部 清 美 林 夫 佐 乃
平成20年度	伊 藤 美 千 代	堀 部 珠 美 茅 野 美 智 代 石 井 謙 二	苅 谷 裕 美 子 松 井 直 也	神 戸 み ど り 若 山 充	服 部 清 美 林 夫 佐 乃
平成21年度	堀 部 珠 美	茅 野 美 智 代 井 戸 端 清 司	苅 谷 裕 美 子 松 井 直 也	神 戸 み ど り 熊 田 隆 起	服 部 清 美 林 夫 佐 乃
平成22年度	奥 村 か を る	村 田 あ け み 土 谷 郁 子 永 浅 井 文 永	苅 谷 裕 美 子 山 岸 岳 大	篠 田 智 子 熊 田 隆 起	熊 澤 恵 良 男 日 下 部
平成23年度	熊 澤 恵 美	奥 村 か を る 土 石 郁 子 永 谷 井 和 子	林 田 明 中 島 正 勝	日 下 部 良 男 中 山 実 夫	篠 田 智 子 塚 原 里 美
平成24年度	土 谷 郁 子	熊 澤 郁 子 永 佐 石 郁 子 永 藤 井 和 子	伊 佐 治 聖 子 座 馬 朋 明	日 下 部 良 男 中 山 実 夫	篠 田 智 子 渡 邊 か おり
平成25年度	伊 佐 治 聖 子	佐 藤 美 鈴 古 木 増 美	大 前 範 子 座 馬 朋 明	日 下 部 良 男 加 藤 和 也	渡 邊 か おり 長 尾 利 香
平成26年度	本 名 美 智 恵	長 尾 利 香 長 縄 正 治	亀 山 こ ず え 座 馬 朋 明	大 前 範 子 加 藤 和 也	日 下 部 良 男 片 岡 み ゆ き
平成27年度	長 尾 利 香	片 岡 み ゆ き 米 山 英 津 子	亀 山 こ ず え 座 馬 朋 明	千 葉 功 伊 藤 佳 孝	土 屋 千 代 子 遠 藤 直 子
平成28年度	片 岡 み ゆ き	谷 田 部 裕 美 增 田 文 代	土 屋 千 代 子 三 輪 周 平	千 葉 功 伊 藤 佳 孝	早 田 美 智 子 田 代 明 美
平成29年度	谷 田 部 裕 美	片 岡 み ゆ き 龟 山 弘	長 尾 生 野 尾 関 清 光	田 代 明 美 奥 村 正 則	野 村 哲 弘 CUI YANWU
平成30年度	谷 田 部 裕 美	長 尾 あ け み 浅 野 忠 一 郎	可 児 裕 美 若 宮 洋 介	小 嶋 三 千 代 竹 内 英 雄	楠 山 浩 二 味 藤 さ や か

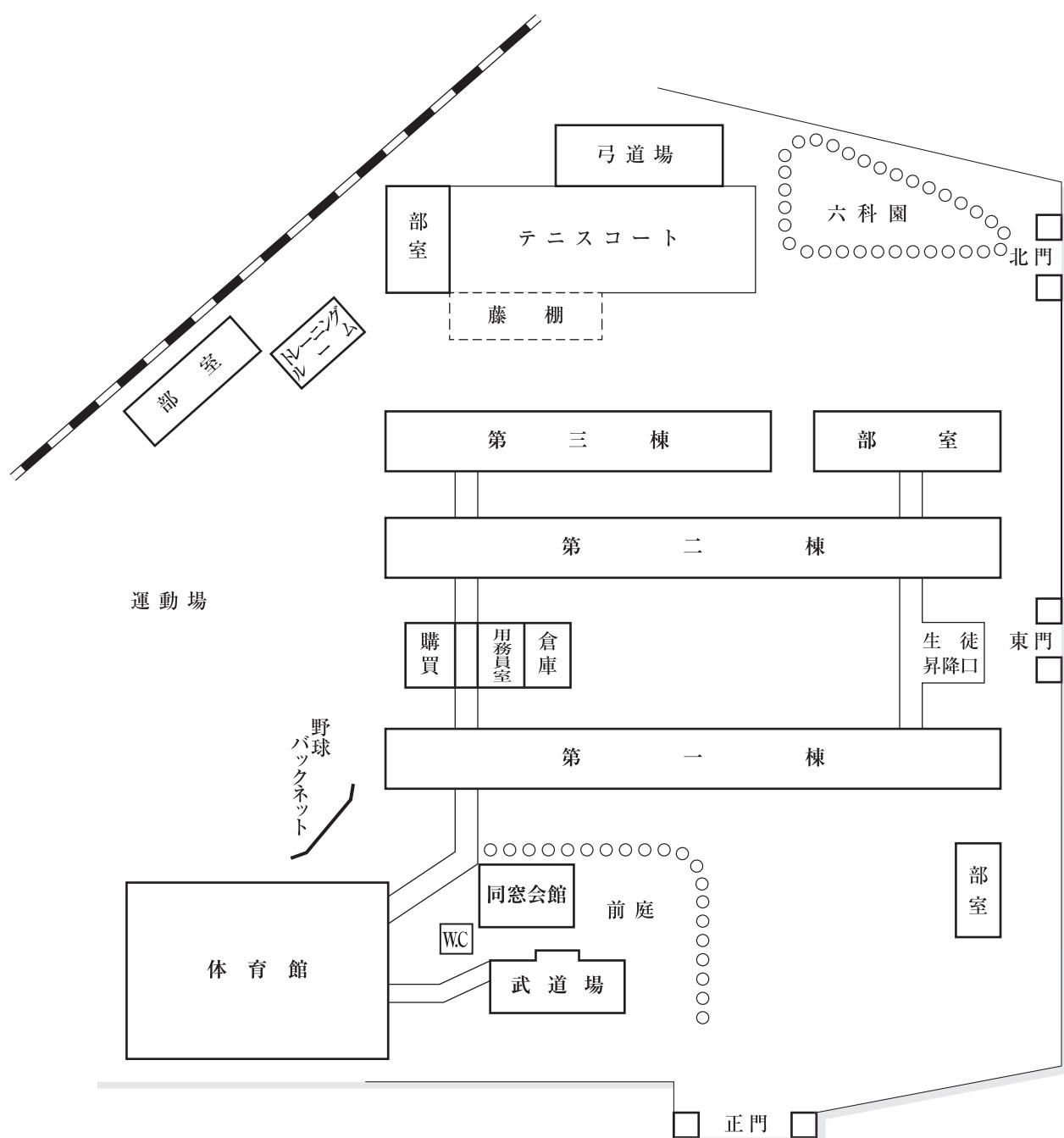
校地・校舎

(土 地)

校舎敷地	24,696 m ²
屋外運動場	24,141 m ²
その他の	568 m ²
計	49,405 m ²

(建 物)

校舎	7,173 m ²
体育館	1,350 m ²
自転車置場	854 m ²
その他の	2,307 m ²
計	12,383 m ²

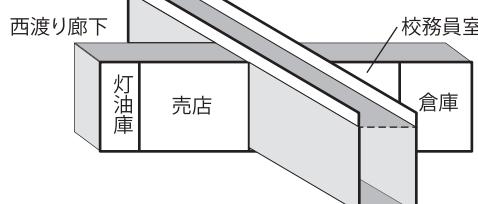
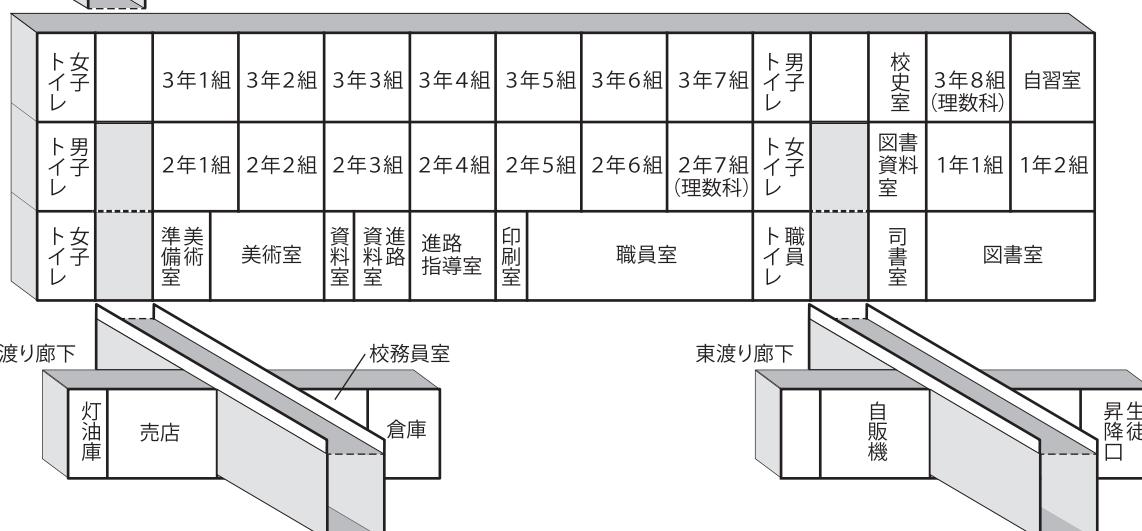


教室配置図

3棟



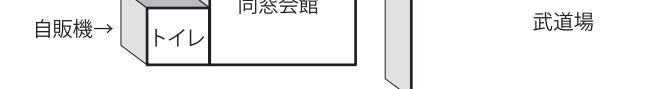
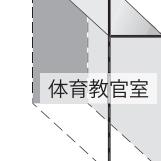
2棟



1棟



体育館



同窓会館



卒業生

全 日 制

年 度	計	商業科	営業科	事務科	経理科
平成10年度以前の合計	2,633 (a)	2,243	106	140	144

年 度	計	普通科		理数科
		国際文化コース(内数)		
平成10年度以前の合計	15,145 (b)	13,273	(83)	1,872

※ 普通科の総数は、国際文化コースを含む

年 度	計	普通科		理数科
		国際文化コース(内数)		
平成11年度	394	316	(39)	78
平成12年度	395	316	(40)	79
平成13年度	394	315	(39)	79
平成14年度	396	318	(43)	78
平成15年度	403	322	(42)	81
平成16年度	350	274	(40)	76
平成17年度	356	277	(41)	79
平成18年度	304	236	(39)	68
平成19年度	320	240	(40)	80
平成20年度	262	197	(40)	65
平成21年度	294	237		57
平成22年度	310	237		73
平成23年度	307	235		72
平成24年度	315	238		77
平成25年度	306	275		31
平成26年度	343	304		39
平成27年度	313	276		37
平成28年度	333	295		38
平成29年度	314	291		23
小 計	6,409 (c)	5,199		1,210
合 計	24,187 (a+b+C)	18,472	(486)	3,082

※ 普通科の総数は、国際文化コースを含む

定 時 制

年 度	計	普通科	被服科別科
平成10年度以前の合計	1,155 (d)	840	315

年 度	計	普通科	
平成11年度	3	3	
平成12年度	20	20	
平成13年度	11	11	
平成14年度	20	20	
平成15年度	23	23	
平成16年度	28	28	
平成17年度	26	26	
平成18年度	22	22	
平成19年度	29	29	
平成20年度	26	26	
平成21年度	25	25	
平成22年度	28	28	
平成23年度	32	32	
平成24年度	23	23	
平成25年度	25	25	
平成26年度	18	18	
平成27年度	26	26	
平成28年度	23	23	
平成29年度	25	25	
小 計	433 (e)	433	
合 計	1,588 (d+e)	1,273	315

全日制卒業生進路状況 [平成11~29年度]

年 度	区分	4年制大学		短期大学		専門学校	就 職	その他	計
		国公立	私立	国公立	私立				
平成11年度	男	144		3		14	2	19	182
	女	123		33		34	2	20	212
	計	267		36		48	4	39	394
平成12年度	男	162		2		17	4	21	206
	女	108		33		32	1	15	189
	計	270		35		49	5	36	395
平成13年度	男	149		3		17	1	30	200
	女	128		35		18	2	11	194
	計	277		38		35	3	41	394
平成14年度	男	151		2		10	3	37	203
	女	109		38		34	1	11	193
	計	260		40		44	4	48	396
平成15年度	国際文化	17	14	2	3	1	0	5	42
	普通科	56	134	4	30	35	3	18	280
	理数科	46	19	0	3	7	0	6	81
	計	119	167	6	36	43	3	29	403
平成16年度	国際文化	10	22	0	0	5	0	3	40
	普通科	36	100	8	33	35	4	18	234
	理数科	34	21	0	3	1	0	17	76
	計	80	143	8	36	41	4	38	350
平成17年度	国際文化	11	21	2	5	1	0	1	41
	普通科	40	134	2	18	26	2	15	237
	理数科	32	22	0	1	4	0	19	78
	計	83	177	4	24	31	2	35	356
平成18年度	国際文化	10	24	0	1	2	0	2	39
	普通科	42	108	4	10	20	3	10	197
	理数科	29	26	0	0	3	0	10	68
	計	81	158	4	11	25	3	22	304
平成19年度	国際文化	8	24	1	5	1	0	1	40
	普通科	36	132	4	10	6	2	10	200
	理数科	35	34	1	0	1	1	8	80
	計	79	190	6	15	8	3	19	320
平成20年度	普通科	34	115	7	9	9	0	22	196
	理数科	28	22	0	1	1	0	14	66
	計	62	137	7	10	10	0	35	262
平成21年度	普通科	35	128	3	15	22	1	33	237
	理数科	19	28	0	0	4	1	5	57
	計	54	156	3	15	26	2	38	294
平成22年度	普通科	53	151	4	7	16	4	2	237
	理数科	16	40	0	1	5	1	10	73
	計	69	191	4	8	21	5	12	310
平成23年度	普通科	37	146	1	22	14	3	12	235
	理数科	32	29	0	4	1	0	6	72
	計	69	175	1	26	15	3	18	307
平成24年度	普通科	42	145	4	15	16	4	13	239
	理数科	11	37	0	3	12	1	12	76
	計	53	182	4	18	28	5	25	315
平成25年度	普通科	50	164	2	12	28	4	15	275
	理数科	13	14	0	1	2	0	1	31
	計	63	178	2	13	30	4	16	306
平成26年度	普通科	56	162	2	22	39	7	16	304
	理数科	17	15	0	0	6	0	1	39
	計	73	177	2	22	45	7	17	343
平成27年度	普通科	33	171	3	14	32	8	15	276
	理数科	8	16	0	0	6	1	6	37
	計	41	187	3	14	38	9	21	313
平成28年度	普通科	43	167	6	17	41	6	15	295
	理数科	10	20	1	0	1	1	5	38
	計	53	187	7	17	42	7	20	333
平成29年度	普通科	42	182	8	11	33	5	10	291
	理数科	10	9	0	0	3	0	1	23
	計	52	191	8	11	36	5	11	314

国立大学合格数

國立大學 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
帯広畜産									1							1		
北見工業	1				1				1							1		
北海道					1	1	1								1			
北海道教育																		
室蘭工業			1				1		1									
岩手																		
東北															2	1		
宮城教育																		1
秋田																		
山形									1									1
福島																		
茨城							1		1		1							
筑波							1									1	1	
宇都宮							1		1									
群馬							1											
埼玉									1									1
千葉		1		1							1							1
お茶の水女子																	1	
電気通信															1			
東京																		
東京医科歯科																	1	
東京外国语																1		
東京学芸																	1	
東京工業			1															
東京海洋																		
東京農工																		
一橋																		
横浜国立									1		1						1	
新潟									2	1							1	
上越教育																		
富山	9		8	4	7		4		7	3	3		4		4		4	
※富山医科薬科																		
金沢			2		3				1		2		2		4		4	
福井	1	1	2			2		2		1		1	1	3		2		
※福井医科																		
山梨			2		1		1				1	1	2				2	
信州	2		2		2		8		3		8	1	5		4		5	
静岡	6		2	1		4		1		3	2	8		2		3	1	
浜松医科																		
愛知教育									1		2		1		1		2	
豊橋技術科学									1	1						1		
名古屋		1	3			1	5		4	2	3	1	5		2	1	2	
名古屋工業	2		1	1	1		4		1		6		3		2	1	3	1
岐阜	3		3		6	2	7		5		11	1	19	2	12		9	1
三重	1		2		1		1	1	3				1		2			
滋賀			1		1		1											
京都											1							
京都教育																		
京都工芸繊維																		
大阪			1				1								1			
※大阪外国语																		

※印の大学は旧称

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11~29年度		
新卒	過卒	新卒	過卒	計																		
																					2	2
										1				1				1		7	7	
1				1	1					1	1	1	2		1					8	5	13
			1						1											2	2	
	1																	1		5	5	
	1			1								1		1						5	5	
									1								1			4	4	
										1										2	2	
											1									1	1	
1	1																	1		4	1	5
																		1		1	1	
			2	1													1			6	1	7
1	1	2				2		1		1		2		1				1		12	2	14
1						1			1		1			1						6	6	
			2						1		3		3				2		12		12	
									1								1			2	2	4
1		1	1									2								7	2	9
																				1	1	
						1					1									3	3	
						1	1										1			2	1	3
			1	1	1															3	1	4
2	1	2	1		1		1			2			1							9	2	11
																		1		1	1	
																				1	1	
										1										1	1	
1																		1		2	2	
									1	1		1								1	2	3
1		2				1	1			1	1	1						1		10	2	12
1			1	1		2			2		1		1		2	1				14	2	16
											1									1	1	
4		7	4	3	3	6		9		12		7		7				1	1	1	1	2
1	4			2	3	8		6		3		3		5	1	4			54	1	55	
1	2	1	1	1	1			1	1			2		6					28	5	33	
						3	1	1	1	2		3		2		2		1		25	2	27
1	1	10	4	2	8	8	2	7	2	1	1	11		7		4			100	9	109	
6	1	10	1	3	4	5	1	8	1	2		14	1	8		11			100	9	109	
					1				1			1			2				5	5		
3		1	2	1		1	1	6		2		3	1	3		5				32	4	36
					2						1									5	1	
2		5	1	9	4		2		10		9	1	4	1	7	1	5	1	81	11	92	
2	1	2		2	1	3	1	7		3		5	1	3		4	1	4	1	58	9	67
19	1	15	1	21	1	15	3	25	1	25	5	26	2	17	1	7	1	16	4	261	26	287
1		1		2		1			2		2		3		3		2			28	1	29
2		1				1			1	1	2	1	1		4		3			17	3	20
1									1					2					4	1	5	
1									1										2	2		
						1													1	1		
1							1						1						5	6		
						1	1	3	1	2	2	2		1					11	1	12	

国立大学合格数

國立大学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
大阪教育					1													
神戸													1					
※神戸商船																		
兵庫教育	1																	
奈良女子															1			
和歌山												1						
鳥取	1												1					1
島根		1			1		3											1
岡山												1						
広島	1		2			2												
山口											1							1
徳島			1			1												1
鳴門教育																		
香川					1								1					
愛媛									1	1			1		1			
高知	1				1					1								
九州							1								1			
福岡教育																		1
佐賀																		1
長崎																		
熊本					1			1										
大分	1		2															
宮崎	1	1	2				1								1			
鹿児島																		1
鹿屋体育													1					
琉球	1				1					1					1	1		1
国立大学合計	32	4	38	8	30	4	53	3	42	8	45	8	55	7	50	6	47	4

公立大学合格数

公 立 大 学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
釧路公立														1				
岩手県立													1					
秋田県立												1			1			
国際教養																		
山形県立米沢栄養							1											
会津								2							1			
茨城県立医療																		
群馬県立県民健康科学																		
群馬県立女子																		
高崎経済			1		1													
前橋工科																		
埼玉県立			1					1		2								
千葉県立保健医療	1																	
首都大学東京																		
※東京都立																		
※東京都立科学技術																		
神奈川県立保健福祉																		
横浜市立														1				

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11～29年度		
新卒	過卒	計																				
								1										1		3		3
						1						2								1	3	4
												2								2		2
												2								3		3
								1				2		1						5		5
1		2							1		1		2		3					11		11
1		1						1		4		3	1	2		1			1	15	3	18
2									1				1							9	1	10
											2				1	1				4	1	5
1	1		1		2				1				1		4		2			17	1	18
			1						1		1							1		5	1	6
				1					1				1		1					7		7
										1										1		1
1		1								1									1		5	1
			1																2		6	1
		2									1		1						2		9	9
																				1		2
																		1		1	1	2
								1												4		4
														1						6	1	7
		1								1	1								1		3	2
														1						1	1	2
									1				1							1	7	2
58	7	73	8	62	9	61	12	75	6	102	16	93	15	99	3	90	7	84	9			

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11～29年度		
新卒	過卒	計																				
		1										1						1		4		4
																				1		1
																	3	1		6		6
			1	1						1										1	2	3
																				1		1
																				3		3
																				1		1
1			1		2							1		1		3			10	1	11	
1																				5		5
1																				1		1
1	1	1																		2	1	3
												1		1	1					3		3
												2								1		2
1		1										1			1		1			5	1	6

公立大学合格数

公立大学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
長岡造形																		
新潟県立					1		1											
新潟県立看護																		
富山県立	1		2				1		2							1	1	2
石川県立									2							1		1
公立小松																		
石川県立看護																		
金沢美術工芸																		
敦賀市立看護					1		1											
福井県立	4		1		1				1	1			1		1		1	
都留文科			1		1				2				1		1		1	
山梨県立									1									
長野県看護																		
長野			2															
長野県立																		
岐阜県立看護	1						4		2				2		1		1	
岐阜薬科									1				1		1			
静岡県立			1				3		1				2				1	
静岡文化芸術			2												1		2	
愛知県立	2		2		2		4		2				7		4		1	
※愛知県立看護																		
愛知県立芸術															1			
名古屋市立	1		1	1	1		2		2	1	1				3		2	
三重県立看護			1															
滋賀県立	7		2		1		1						1				1	
京都市立芸術																		
京都府立					1				1									
京都府立医科																		
福知山公立	1		1															
大阪市立									1							1		
大阪府立														1		1		
神戸市看護																		
神戸市外国語			1							1								
兵庫県立				1		1		1							2			
奈良県立								1							1			
奈良県立医科																		
和歌山県立医科																		
公立鳥取環境				1				1										
島根県立															2			
岡山県立	1				1								1					
尾道市立									1						1			
県立広島	1																	
※広島県立																		
広島市立						1												
福山市立				1		1												
下関市立				1				1										
山口県立																		
愛媛県立医療技術																		
※高知女子																		
高知工科							1								1			
北九州市立																	2	

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11～29年度				
新卒	過卒	計																						
																					2	2		
																					3	23		
																					1	6	6	
																					1	1	1	
	1																				1	1	2	
																					2	2		
3	1	1		2		3		2		4		1		4					2		32	2	34	
1		1				1			1	7		2		6	1	3		3		32	2	34		
																					1	1		
																					1	1	1	
																					2	2		
																					1	1		
																					28	28		
																				1	8	2	10	
1		1						2						1				1			14		14	
2																					7		7	
4		5		4		8	1	3		4		8		4		7		6	1	82	2	84		
				1		1														2		2		
1	1	1	1							1				1				1		4	4	8		
4		4		3	1	2		1		4		3		2		5	2	1		43	5	48		
														1	2					4		4		
1		1				4		2		2				1		2				26		26		
				1										1						2	2			
1				1		1								1	1					6	1	7		
																					2	2		
																					4	2	6	
								3	1	1		2		1	1	1		1		2		13	2	15
												1									1		1	
			1																	3		3		
2						3														10		10		
																				2		2		
																					2	2		
																					2	5		
1										1		1		1		1		1		8	1	9		
														1		1				4		4		
			1																	1	1	2		
														1						1		1		
																				1		1		
																				2		2		
																				4	1	5		
			1											1						1	2		2	
												1									1		1	
										1		1								2		2		
																				2		2		
						1								1						1	5		5	

公立大学合格数

公立大学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
福岡県立																		
長崎県立			1				1											
※県立長崎シーボルト																		
宮崎公立							3		1									
名桜											1							
国立大学合計	20	0	22	2	15	0	28	1	25	2	15	1	19	0	23	3	15	0

国公立大学合計	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
	52	4	60	10	45	4	81	4	67	10	60	9	74	7	73	9	62	4

私立大学合格数

私立大学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
	新卒	過卒																	
自治医科大学																			
青山学院																			
学習院																			
慶應義塾													1	1				1	
国際基督教大																		1	
駒澤			1	1		2					1	5			3				
上智																			
専修	1		4		1										2	1			
中央	2		1		4	3	3		1	1			3		2		2		
津田塾					3										2				
東京理科	1									1			1	3	3		2	1	1
東洋	1	1											2		1				
日本			4		3					1	2		6		1	4	5		
法政	2		3	1	1	1		1			2		1		2				
明治	1		1		3				3	1	3				1	4		2	
立教			2				1		1						1	1		1	
早稲田	1		2		1		2				1		1		4			1	
朝日			3		1		2						2		2				
岐阜医療科学	34		24		15		15		13		9		18		18	1	8		
岐阜経済	1		2				1		9		2		3						
岐阜聖徳学園(岐阜教育)	23		17		14		14	1	11		20		23		11		20		
岐阜女子	2		1		2		4		5		6		1		1		1		
中京学院	1		1		4				4		1		1		4		1		
中部学院	13		6		18		24		13		13		11		5		4		
東海学院(東海女子)	2		5		2		5		3		6		4		3		3		
愛知	27		11	1	28		16		28	1	36		22	1	21	2	37	1	
愛知医科	2		2		3		4		1		1				1				
愛知学院	17		15		16	1	19		26	1	15		14		23		6		
愛知学泉																			
愛知工業	8	2	19	2	18	3	4	1	10		18		12	3	20		6	1	
愛知淑徳	12		9		31		12		12	1	28		26		12	2	11		
桜花学園	2				4		1		1					2		1			
金城学院	5		6		10		5		8		7		6		3		15		

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11～29年度		
新卒	過卒	計																				
1																				1	1	
										1							1	1		5	5	
																		2		2	2	
																	2			6	6	
																			1	1		
25	4	18	5	23	2	31	2	14	2	34	3	29	3	31	3	36	3	34	3			

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		
新卒	過卒																			
83	11	91	13	85	11	92	14	89	8	136	19	122	18	130	6	126	10	118	12	

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11～29年度		
新卒	過卒	計																				
1																				1	1	
			1					4		2	1						1	3	1	4	9	13
	1																			1	1	
	2	1	2		3	1	2		2		1	1	1		1		1		1	3	18	21
				1				1											3		3	
					1			1								4			13	6	19	
						1			2										1	2	3	
						4	2			1		1		3		2	1	18	5	23		
1	1		3	3	1	4	2		1	1	3	1	2	1	2		3	2	36	17	53	
1																			6		6	
2	2		2	3	3	1	1	3		1	1			1			1		18	16	34	
1									1					2		2			10	1	11	
6	1	1		3		3	1	1	3	4	5		2		7		3		52	14	66	
2		4		3	1	1	1	1		1	1		1	3		1		25	10	35		
1	7		3	3	1	1	3	1	1	4	1	2	1	1	3	1	2		35	20	55	
	3				1			1				2		1	2				11	6	17	
	2			3	1	5	2	1	1		1	3	3		4	2	3	1	23	22	45	
				2		1			2		1		2		4		1		23		23	
9		24		11	1	5													203	2	205	
1		2		2		1										2		2		28		28
19	1	24		15		11		23	2	16	2	15		9	1	16		19		320	7	327
1		5		1		15		6		5		3		4		4		9		76		76
																			17		17	
3		3		5		6		4		9		9		4		7		6		163		163
				5		2		1		1		5		7		1		7		62		62
6		20	1	14	2	29		21		27	1	32	1	26	1	30		24	2	455	14	469
4				4		3					2					2	1			29	1	30
7		11	1	15		19	2	14	1	16	2	19	1	26		32		40		350	9	359
				1		5				1		1		3		1		2		14		14
13		17		23		11	2	17	4	9	6	20		29	2	27		24	1	305	27	332
10		14		12	1	14		18	1	15		13		13		6	1	8	1	276	7	283
				1						1				1					14		14	
5		6	1	10		8	3	13	1	3		5		6		4		8		133	5	138

私立大学合格数

私立大学 (大学コード順)	平成29年度		平成28年度		平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	新卒	過卒																
修文	1						1		1							1		
至学館(中京女子)	2		2				1				2		2		1			
堀山女学園	6		6		10		7		5		3		3		8		8	
星城							1		2		1		1				1	
大同(大同工業)	4	1	8		9		5		38	1	6		3		8		2	
中京	36		25		81	5	50		48	3	53	2	35	7	36	4	18	2
中部	38	4	73	2	82	8	80	1	79		52	2	34	1	32	6	44	
東海学園	5		7		11		17		11		3		4		3		5	
同朋			2		1								1			1		
豊田工業	1						1		1	1			1			2		
名古屋音楽							2				1						1	
名古屋外国語	12		9		7		26		17		4		28		10		1	
名古屋学院	16		20		12	1	15		20		13		12	1	9	1	4	
名古屋学芸	7		3		4		7		12		2		9		7		5	
名古屋経済	3		7		5		1		8		2		5		6		1	
名古屋芸術	1	1	2		2		2		6		6		4		4	1		
名古屋商科	7		2						6		1		4		8	2	4	
名古屋女子	7				8		1		11		3		6		5		3	
名古屋造形	5		1		4				3		6		3	1	1			
名古屋文理			2				2		1					2				
南山	17		10	1	30	2	22		36		34	6	13	5	16		14	
日本赤十字豊田看護					2										1			
日本福祉	15		7		16		8	1			12		14		6	1	1	
藤田保健衛生	3		6		2		5		5	1	7		7		8		10	
名城	32	3	41		44	4	35	3	48	2	33	2	40	6	55	4	43	2
京都外国語			1				2								1			
京都産業	1		2	1	5					1						1		
京都女子							1											
同志社	2		1		4	3	5		6	5	2	2	4	1	2	5	5	
同志社女子													1		1		2	
立命館	8	1	8	1	7	4	15	1	7	5	15	2	22	3	5	7	8	1
龍谷	12		1		1		3		5	2	1	2	2		5	6	5	
関西	1								4		2		1		1	1	5	
関西外国語							1		1				2					
近畿	15	3	1	1	2	2	2	2	1	1	3		7		4	2	2	
関西学院	3			3	1													
甲南									1									
その他私立大学	43	0	43	9	46	3	45	1	40	7	57	11	60	5	48	20	28	3
私立大学合計	461	16	428	23	580	40	497	12	580	35	496	33	492	39	435	89	345	16

平成20年度		平成19年度		平成18年度		平成17年度		平成16年度		平成15年度		平成14年度		平成13年度		平成12年度		平成11年度		平成11~29年度		
新卒	過卒	計																				
	1	2																		5	2	7
			2					1		1		3		3				1		21		21
7	11		2		4			5	1	4		5		5		3		12		114	1	115
	1				3			1		5										16		16
3	3		6		3			7		4		1		9		7		3		129	2	131
40	58	4	34	2	60	1	31	5	40	2	27	2	49		34	3	47		802	42	844	
43	38		53		34	6	24	2	35	3	34	2	78		40	2	39	1	932	40	972	
9	4		10		5			1		6				3		2			106		106	
1			2						2							2		4		15	1	16
	2		2	1	2	1			2								1			12	6	18
	1								2			1				1				9		9
8	14	1	26		21		11		29		15		11	1	12		20		281	2	283	
2	7		2		5		9		1		2	1	5		2	1	10	1	166	6	172	
9	8		8		7		5		2		3		3						101		101	
1	5		1		8		11		1		1		1		2		1		70		70	
1	4	1	5	1	2		3		4		1		2		1		1		51	4	55	
1	9		12		5					2	7		5		4				75	4	79	
3	4		2		8		3		5		5		5		3		11		93		93	
1	4		1	1	2		2								3		1		37	3	40	
	1		1				1		1		1					1		2		15		15
28	3	39	6	25	5	20	3	24		33	6	27	1	24	1	26	1	30	2	468	42	510
		1				1		1											6		6	
6	6		5		5	2	3		1		6		9		10		10		140	4	144	
3	8		2	1	3		3		1	1			1		2				76	3	79	
46	2	42	2	66	3	79	9	53	9	53	7	42	8	57		47	3	41	3	897	72	969
2	1	1		1		2			2				1		5		2		19	2	21	
4	1	4	2	1		1		2		4	1	4		4		8	2	7	1	48	9	57
1							1				1		1						5		5	
5	2	5		5	2	1	5	4		2		4	1	5	1	3	2	2	1	67	30	97
		1			1													1		7		7
21	2	22	6	20	6	13	5	10	7	21	5	8	2	8	12	12	4	14	2	244	76	320
7	1		1		1		1	2		5		2		1		2		2		56	14	70
	1	5		4	5		4	9	2	10	4	1		1		3	3	6		53	20	73
1		2				3		1		5						2				18		18
2	2	4	1	3	2	9		4	1	8	2	1	3	6	1	3		8	1	85	24	109
		3				2	1			1	2	3		1	2	3	1			17	9	26
		1							1					1				1	2	3	5	
46	8	43	3	29	7	41	6	34	5			37	10	54	11	54	8	77	6	825	123	948
397	28	513	37	466	59	489	72	400	52	400	52	381	42	496	39	468	38	526	29			

定時制卒業生進路状況 [平成11~29年度]

年 度	性 別	就 職	進 学			その他の進路	計
			4年制大学	短期大学	専門・各種		
平成11年度	男	0	0	0	0	0	0
	女	3	0	0	0	0	3
	計	3	0	0	0	0	3
平成12年度	男	16	0	0	0	0	16
	女	4	0	0	0	0	4
	計	20	0	0	0	0	20
平成13年度	男	10	1	0	0	0	11
	女	0	0	0	0	0	0
	計	10	1	0	0	0	11
平成14年度	男	7	0	0	2	0	9
	女	8	2	0	1	0	11
	計	15	2	0	3	0	20
平成15年度	男	9	0	1	4	0	14
	女	6	1	0	2	0	9
	計	15	1	1	6	0	23
平成16年度	男	13	2	1	3	0	19
	女	8	0	1	0	0	9
	計	21	2	2	3	0	28
平成17年度	男	16	0	0	2	0	18
	女	8	0	0	0	0	8
	計	24	0	0	2	0	26
平成18年度	男	8	2	1	2	0	13
	女	8	0	1	0	0	9
	計	16	2	2	2	0	22
平成19年度	男	15	0	1	2	0	18
	女	8	0	0	3	0	11
	計	23	0	1	5	0	29
平成20年度	男	8	1	2	3	0	14
	女	11	0	0	1	0	12
	計	19	1	2	4	0	26
平成21年度	男	17	1	0	0	0	18
	女	7	0	0	0	0	7
	計	24	1	0	0	0	25
平成22年度	男	8	2	0	0	5	15
	女	6	1	0	1	5	13
	計	14	3	0	1	10	28
平成23年度	男	11	3	1	7	1	23
	女	7	0	1	0	1	9
	計	18	3	2	7	2	32
平成24年度	男	9	1	1	3	2	16
	女	2	0	0	1	4	7
	計	11	1	1	4	6	23
平成25年度	男	8	0	0	1	4	13
	女	4	0	2	0	6	12
	計	12	0	2	1	10	25
平成26年度	男	7	1	0	1	1	10
	女	6	0	0	0	2	8
	計	13	1	0	1	3	18
平成27年度	男	13	1	1	1	1	17
	女	7	0	2	0	0	9
	計	20	1	3	1	1	26
平成28年度	男	13	0	1	0	0	14
	女	5	0	2	0	2	9
	計	18	0	3	0	2	23
平成29年度	男	14	0	2	0	0	16
	女	8	1	0	0	0	9
	計	22	1	2	0	0	25

部活動の記録

(※印は、全国大会および国際大会)

部活動・同好会

平成11年度 (1999)

体育系部	顧問
陸上	服部・下野・田島・林
柔道	西尾・藤原・植田・細井
剣道	戸谷・堀・山本(登)
弓道	渡辺(克)・有賀・坂井
野球	小牧・大坪・小野(康)
卓球	前田・砂場・別所・原
バスケットボール	杉山・井上・玉置・太田
バレーボール(男)	高寺・河田
バレーボール(女)	塚原・石井
サッカー	木澤(朗)・佐藤
ラグビー	石神・間宮・古田
テニス	錦見・深尾・高木・貝川
ボート	横山・水野・角田

文化系部	顧問
コ一ラス	都竹・後藤・神保
吹奏楽	棚橋・村上
美術	布山・猪飼
文芸	長谷部
演劇	小野(悟)・伊藤
書道	田中・中村
生物	籠橋・加藤
化学	竹中
気象天文	山川・山田(暁)・木澤(慶)
放送	奥田
アマチュア無線	山田(和)・山田(幸)
タigraphy	鈴木・平石
手芸	加藤
新聞	土屋
将棋	武邑
囲碁	藤澤
手話	傍島
同好会	顧問
茶華道	伊佐治・林(弘)・西山(和)

- ◆ボート部 岐阜県高校総体
中日本レガッタ
東海高校総体
※全国高校総体
※国民体育大会
岐阜県高校新人大会
中部高校選抜大会
※全国高校選抜大会
- 男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 2位・3位
女子シングルスカル 3位
男子舵手付フォア 優勝
男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 2位
男子舵手付フォア 5位
男子舵手付フォア 8位
男子舵手付フォア 優勝 男子ダブルスカル 3位
女子舵手付フォア 優勝 女子ダブルスカル 3位
男子舵手付フォア 5位
女子舵手付フォア 4位 ※全国選抜大会出場
女子舵手付フォア 6位
- ◆弓道部 岐阜県高校新人大会
東海高校弓道選抜大会
※全国高校弓道選抜大会
- 女子個人 優勝 女子団体 3位
女子個人 出場
女子個人 出場
- ◆剣道部 岐阜県高校総体
東海高校総体
※全国高校総体
岐阜県高校新人大会
※全日本剣道連盟強化訓練合宿参加
- 男子個人 優勝 男子団体 ベスト8
男子個人 優勝
男子個人 ベスト32
男子団体 3位 男子個人 5位・敢闘賞
全日本高校男子強化指定選手
- ◆陸上部 岐阜県高校総体
岐阜県高校新人大会
- 女子800m 6位 女子槍投げ 5位 東海高校総体出場
5000m競歩 2位 円盤投げ 3位 東海高校新人大会出場
- ◆柔道部 岐阜県高校新人大会
- 女子個人 -48kg級 3位
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 奨励賞
- ◆手話部 中部手話スピーチコンテスト 手話スピーチ 最優秀賞・優秀賞2
- ◆吹奏楽部 岐阜県吹奏楽ソロコンテスト クラリネット 金賞 フルート 金賞
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会
※全国高校囲碁選手権大会
岐阜県高校文化祭囲碁新人大会
※全国高校総合文化祭囲碁部門
- 男子個人 優勝 男子団体 2位
男子個人 出場
男子個人 優勝・3位
男子個人 出場
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト
※全国高校総合文化祭放送部門
岐阜県高校放送コンテスト新人大会
※N H K杯全国高校放送コンテスト
- アナウンス 3位 朗読 4位
文化連盟賞
アナウンス 1位
アナウンス 出場 朗読 出場
- ◆気象天文部 ※全国高校総合文化祭科学部門
※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会
- 文化連盟賞
努力賞2

平成12年度（2000）

体育系部		顧問
陸上	上	服部・林・下野・山本
柔道	道	細井・西尾・植田・村上
剣道	道	戸谷・永瀬・堀
弓道	道	渡辺(克)・有賀・坂井・高田
野球	球	小牧・小野(康)・日野
卓球	球	前田・別所・原
バスケットボール		杉山・井上・玉置・太田
バレーボール(男)		高寺・河田
バレーボール(女)		塚原・石井
サッカー	一	木澤(朗)・佐藤
ラグビー	一	間宮・山田
テニス	ス	錦見・深尾・高木・貝川
ボート	ト	横山・水野・角田

文化系部		顧問
コ一ラス		鈴木(ひ)・後藤・神保
吹奏楽		松尾・藤守
美術		布山・伊佐治
文芸		長谷部
演劇		小野(悟)・伊藤
書道		田中・鈴木(百)・中村
生物		籠橋・加藤(寿)
化学		竹中
気象天文		山川・山田(暁)・木澤(慶)
放送		奥田
アマチュア無線		山田(和)・山田(幸)
タイブ		都竹
手芸		加藤(敦)
新聞		平石・砂場
将棋		武邑
囲碁		藤澤
手話		傍島
同好会		顧問
茶華道		猪飼・林(弘)・西山(和)

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子舵手付フォア 2位
岐阜県高校総体 男子舵手付フォア 優勝 女子舵手付フォア 優勝
男子ダブルスカル 2位 女子ダブルスカル 3位
男子シングルスカル 3位
男子舵手付フォア 4位 女子舵手付フォア 3位
男子クオドルブル 6位
中日本レガッタ 女子舵手付フォア 2位
男子舵手付フォア 準々決勝進出 女子舵手付フォア 準々決勝進出
男子ダブルスカル 準々決勝進出
東海高校総体 女子舵手付フォア 2位
※全国高校総体 女子舵手付フォア 5位
男子クオドルブル 2位 女子クオドルブル 優勝
女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位
中部高校選抜大会 女子クオドルブル 2位 女子シングルスカル 3位
※全国高校選抜大会 女子クオドルブル 2位
- ◆剣道部 岐阜県高校剣道大会 女子団体 3位
岐阜県高校新人大会 女子団体 2位
全国高校選抜大会岐阜県予選 女子団体 3位
- ◆陸上部 岐阜県高校総体 男子400mH 5位 男子円盤投げ 2位 東海総体出場
岐阜県選手権 男子円盤投げ(一般用) 8位 女子10000m 3位
岐阜県高校新人大会 女子3000m 6位 女子砲丸投げ 5位 東海高校新人大会出場
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 奨励賞
- ◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞
岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 最優秀賞
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 優勝 男子個人 優勝 女子個人 2位
※全国高校囲碁選手権大会 男子団体 ベスト16 男子個人 出場
岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 3位 ※全国高校文化祭出場
※全国高校総合文化祭囲碁部門 岐阜県選抜団体 出場 男子個人 24位
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝・2位
※全国高校総合文化祭放送部門 文化連盟賞
- ◆手話部 ※高校生の手話によるスピーチコンテスト全国大会 出場
- ◆新聞部 ※大東文化大学主催全国高校新聞コンクール 銅賞

平成13年度 (2001)

体育系部		顧問
陸上	上	服部・林・下野・(平出)
柔道	道	細井・西尾・横山(衣)・(植田)
剣道	道	永瀬・堀
弓道	道	渡辺(克)・有賀・坂井・大江
野球	球	小牧・日野・水野
卓球	球	前田・別所・原
バスケットボール		杉山・日下部・井上(宣)・玉置
バレーボール(男)		酒瀬川・松野
バレーボール(女)		高寺・石井
サッカー	一	木澤・佐藤・丸山
ラグビー	一	山田(哲)・間宮・西田
テニス	二	河田・深尾・高木・貝川
ボート	ト	横山(厚)・角田・池村

文化系部		顧問
コ一ラス		後藤・井戸・神保
吹奏楽		松尾・藤守・村上
美術		布山・猪飼
文芸		長谷部
演劇		渡辺(昌)・長沼
書道		田中・岩垂
生物		加藤(寿)・松井
化学		竹中
気象天文		山川・山田(暁)・鈴木
放送		奥田
アマチュア無線		山田(和)
ワープロ		都竹
手芸		加藤(敦)
新聞		砂場・草薙・(平石)
将棋		武邑
囲碁		藤澤
手話		傍島・井上(い)
同好会		顧問
茶華道		太田・林(弘)・西山(和)

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クオドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝
岐阜県高校総体 女子シングルスカル 優勝 男子シングルスカル 3位
中日本レガッタ 女子クオドルプル 優勝 女子ダブルスカル 2位・3位
東海高校総体 女子シングルスカル 優勝 女子シングルスカル 優勝
女子クオドルプル 3位 女子ダブルスカル 3位
女子クオドルプル 2位 女子シングルスカル 優勝
女子シングルスカル 2位 女子総合 優勝
女子クオドルプル 2位
女子クオドルプル 岐阜選抜 6位
女子クオドルプル 2位
女子クオドルプル 7位
女子クオドルプル 2位 女子シングルスカル 優勝
※全国高校総体 優勝 岐阜県民栄誉賞
※国民体育大会 女子クオドルプル 5位
中部高校選抜大会
※世界ジュニア選手権
※アジアジュニア選手権
※国際大会
※全国高校選抜大会
- ◆剣道部 岐阜県高校総体 女子個人 優勝
※全国高校総体 女子個人 3回戦進出
岐阜県剣道選手権大会 高校女子の部 3位
岐阜県高校剣道大会 女子団体 3位
岐阜県高校新人大会 女子団体 優勝
- ◆陸上部 岐阜県高校総体 女子砲丸投げ 6位 東海高校総体出場
岐阜県選手権 女子1万m 2位
岐阜県高校新人大会 男子砲丸投げ 5位 東海高校新人大会出場
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 男子団体 3位 女子団体 3位
岐阜県高校新人大会 女子団体 3位 女子ダブルス 3位
- ◆水泳競技 岐阜県高校総体 男子100m自由形 3位 男子100mバタフライ 3位
岐阜県高校新人大会 男子100m背泳ぎ 2位 男子200m背泳ぎ 2位
男子100m自由形 優勝・3位 男子50m自由形 2位
男子100m背泳ぎ 優勝 男子200m背泳ぎ 優勝
女子100mバタフライ 2位 女子200mバタフライ 2位
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞3
岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 最優秀賞
※全国高校総合文化祭美術・工芸展 出品
- ◆吹奏楽部 岐阜県吹奏楽ソロコンテスト マリンバ 金賞
岐阜県吹奏楽コンクール 小編成 金賞
- ◆演劇部 岐阜県高校演劇大会 獅頭賞
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 優勝 男子個人 2位
※全国高校囲碁選手権大会 男子団体 出場 男子個人 出場
岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 3位
※全国高校総合文化祭囲碁部門 岐阜県選抜団体 出場
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 4位・5位
※N H K杯全国高校放送コンテスト 準々決勝進出
- ◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 出場
- ◆気象天文部 ※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会 努力賞

平成14年度（2002）

体育系部		顧問
陸上	上	井川・林・神原
柔道	道	吉田・井上(い)・横山(衣)
剣道	道	永瀬・若山
弓道	道	渡辺(克)・有賀・植田・大江
野球	球	小牧・川原・田中
卓球	球	酒瀬川・前田・高橋
バスケットボール		杉山・桜井・井上(宜)・井戸(由)
バレー ボール(男)		高寺・原・安藤
バレー ボール(女)		青田・石井・安藤
サッカー	一	木澤(朗)・丸山・高木
ラグビー	一	山田(哲)・茂角
テニス(男)		深尾・牧田
テニス(女)		河田・貝川
ボート	ト	横山(厚)・古川・角田

文化系部		顧問
コ一ラス		井戸(星)・渡辺(義)・[神保]
吹奏楽		渡邊(線)・松尾・村上
美術		布山・猪飼
文芸		長谷部
演劇		河内・都竹・長沼
書道		鈴木・岩垂
生物		松井・加藤(寿)
化学		竹中・長沼
気象天文		木澤(慶)・山川
放送		奥田
アマチュア無線		池村
ワープロ		渡辺(昌)
手芸		加藤(敦)
新聞		山田(暁)
将棋		日野
囲碁		藤澤
手話		傍島・藤井
同好会		顧問
茶華道		太田・[林]・[西山]

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クオドルブル 2位
岐阜県高校総体 男子クオドルブル 2位 男子ダブルスカル 2位
男子シングルスカル 2位・3位
女子クオドルブル 2位 女子シングルスカル 優勝・3位
- 中日本レガッタ 女子シングルスカル 3位
東海高校総体 女子クオドルブル 3位 女子シングルスカル 2位 女子総合 3位
※全国高校総体 女子シングルスカル 準決勝進出
※国民体育大会 男子ダブルスカル 出場
※全国高校選抜大会 女子クオドルブル 6位
- ◆剣道部 岐阜県高校総体 女子団体 3位 女子個人 3位
岐阜県高校剣道大会 男子団体 3位
- ◆陸上部 岐阜県高校新人大会 男子砲丸投げ 4位 男子円盤投げ 3位 東海高校新人大会出場
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 3位
岐阜県高校新人大会 女子団体 3位
- ◆ラグビー部 岐阜県高校総体 3位
- ◆弓道部 岐阜県高校総体 女子団体 2位 女子個人 優勝
東海高校総体 女子個人 3位
全国高校総体 女子個人 出場
- ◆水泳競技 岐阜県高校総体 男子50m自由形 4位・7位 男子100m自由形 6位
男子100mバタフライ 3位 男子100m背泳ぎ 2位
男子200m背泳ぎ 2位 女子200mバタフライ 4位
女子100mバタフライ 4位
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 優秀賞
※全国高校総合文化祭美術・工芸展 出品
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 4位 女子団体 4位
岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子個人 6位
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 2位 朗読 5位
※全国高校放送コンクール 最優秀賞
- ◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 獎励賞
※いきいき活動奨励賞 優秀活動賞
- ◆気象天文部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞
※全国高校理科・科学クラブ研究論文大会 努力賞
- ◆文芸部 岐阜県高校総合文化祭文芸部会 文芸誌コンクール 佳作

平成15年度 (2003)

体育系部	顧問
陸上	吉田・林・下野
柔道	若山・茂角・横山(衣)
剣道	永瀬・西尾・前田(博)
弓道	渡辺(克)・井戸・太田
野球	内海・川原・和田
卓球	高橋・前田(仁)・酒瀬川
バスケットボール	杉山・桜井・丸山
バレーボール(男)	古川・原
バレーボール(女)	水口・植田
サッカー	木澤(朗)・小島
ラグビー	山田・井川
テニス(男)	深尾・高木
テニス(女)	水谷・貝川
ボート	横山(厚)・角田・石原

文化系部	顧問
コ一ラス	井戸・[神保]
吹奏楽	渡邊(緑)・松尾・長沼
美術	加藤・猪飼・(降旗)
文芸	長谷部・小森
演劇	降旗・河内・都竹
書道	鈴木・岩垂
生物	松井
化学	松浦
気象天文	木澤(慶)・山川
放送	奥田
アマチュア無線	池村
パソコン	渡辺(昌)
手芸	小串
新聞	田中・(井戸)
将棋	日野
囲碁	藤澤・後藤
手話	傍島
同好会	
茶華道	大江・[林]・[西山]

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クオドルブル 優勝 女子シングルスカル 2位
岐阜県高校総体 女子ダブルスカル 3位
女子クオドルブル 優勝 男子ダブルスカル 優勝・3位
男子クオドルブル 2位 女子ダブルスカル 2位
男子シングルスカル 3位 女子シングルスカル 3位
男子ダブルスカル 2位 女子ダブルスカル 2位
男子クオドルブル 3位 女子クオドルブル 3位
女子シングルスカル 3位 女子総合 2位 男子総合 3位
男子ダブルスカル 2位 女子クオドルブル 出場
男子クオドルブル 優勝 女子シングルスカル 2位
男子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 2位
男子ダブルスカル 2位 女子クオドルブル 優勝
男子クオドルブル 優勝 女子シングルスカル 優勝
男子ダブルスカル 2位 男子ダブルスカル 3位
女子シングルスカル 2位
男子クオドルブル 岐阜選抜 準決勝進出
- ※全国高校総体 女子クオドルブル 4位
- ◆弓道部 岐阜県高校総体 女子個人 優勝
※全国高校総体 女子個人 出場
- ◆陸上部 岐阜県高校総体 男子円盤投げ 4位 男子砲丸投げ 6位 女子砲丸投げ 3位
以上、東海高校総体出場
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 3位
- ◆剣道部 岐阜県高校総体 男子個人 3位
- ◆放送部 ※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 文化連盟賞
岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 4位
岐阜県高校生アナウンス・コンクール 優勝
※N H K杯全国高校放送コンテスト 出場
- ◆吹奏楽部 岐阜県吹奏楽ソロコンテスト 金賞
岐阜県アンサンブルコンテスト 打楽器六重奏 金賞
- ◆演劇部 岐阜県高校総合文化祭合同公演 演劇 最優秀賞
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 最優秀賞
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 2位
- ◆気象天文部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞
- ◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 奨励賞

平成16年度（2004）

体育系部		顧問
陸上	上	吉田・和田・井戸(星)
柔道	道	茂角・横山(衣)・石原(有)
剣道	道	永瀬・前田(博)・西尾
弓道	道	藤井・川出・井戸(由)
野球	球	内海・川原・市村
卓球	球	高橋・前田(仁)・小串
バスケットボール		杉山(広)・桜井・中路
バレー・ボール(男)		松原・古川(真)
バレー・ボール(女)		川口・水口
サッカー		小島・酒井・日野
ラグビー		山田・井川
テニス(男)		水谷・高木
テニス(女)		河田・貝川
ボート	ト	横山(厚)・林・石原(康)

文化系部		顧問
吹奏楽		松尾・渡邊(縁)・杉山(謙)
美術		加藤・田中・降旗
文芸		竹内・太田
演劇		降旗・河内・都竹
書道		鈴木・岩垂
自然科學		長沼・高間
放送		奥田
アマチュア無線		池村
パソコン		渡辺(昌)
新聞		大矢
囲碁・将棋		藤澤・日野
手話		石川・[柘植]・[武山]
同好会		顧問
コ一ラス		井戸(星)
手芸		小串
茶華道		小森・[伊藤]

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 男子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル 優勝
- 女子クオドルブル 2位
- 岐阜県高校総体 男子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル 優勝
- 男子シングルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位
- 女子シングルスカル 優勝
- 東海高校総体 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位
- ※全国高校総体 女子ダブルスカル 優勝 ※全国優勝 男子ダブルスカル 5位
- ※全日本ジュニア選手権 女子シングルスカル 2位
- ※アジアジュニア選手権 女子シングルスカル 優勝 ※国際大会 優勝
- ※世界ジュニア選手権 女子クオドルブル 出場
- 岐阜レガッタ 男子クオドルブル 優勝 女子ダブルスカル 優勝
- 国体東海ブロック大会 女子クオドルブル 優勝
- 国民体育大会 女子クオドルブル 岐阜選抜 6位
- 岐阜県高校新人大会 女子シングルスカル 優勝・3位 男子クオドルブル 2位
- 女子クオドルブル 2位 男子シングルスカル 3位
- 女子ダブルスカル 3位
- 岐阜県民栄誉賞 2名 受賞
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 女子ダブルス 3位
- ◆柔道部 岐阜県柔道形選手権 2位
- ◆陸上部 岐阜県選手権 男子400mH 5位
- 岐阜県高校新人大会 男子400mH 2位 男子円盤投げ 5位 東海高校新人大会出場
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝
- ※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 出場 ビデオメッセージ 出場
- 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 アナウンス 優勝
- ※N H K杯全国高校放送コンテスト 出場
- ◆文芸部 ※全国高校総合文化祭文芸部門 小説 出品
- ◆囲碁部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位
- ◆手話部 ※全国高校生の手話によるスピーチコンテスト 出場

平成17年度 (2005)

体育系部	顧問
陸上	横井内・和田・井戸(星)
柔道	茂角・横山(衣)・石原(有)
剣道	永瀬・前田・西尾
弓道	川出・浅見・酒井(恭)
野球	内海・川原・小俣
卓球	高橋・藤井・桜井
バスケットボール	杉山・酒井(亜)・中路・日下部
バレーボール(男)	國居・古川
バレーボール(女)	川口・水口
サッカー	小島・赤塚・(日野)
ラグビー	井川・市村
テニス(男)	水谷・桂川
テニス(女)	河田・貝川
ボート	横山(厚)・林・石原(康)

文化系部	顧問
吹奏楽	渡邊(緑)・松尾・別所
美術	加藤・(降旗)
文芸	竹内
演劇	降旗・市原・都竹
書道	井戸(由)・岩垂
自然科学	井戸(清)・高間
放送	奥田
アマチュア無線	池村
パソコン	渡辺(昌)
新聞	大矢
囲碁・将棋	藤澤・日野
手話	石川・[武山]
同好会	顧問
コラス	丹羽
手芸	小串
茶華道	若井・[伊藤]

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 女子クオドルブル 2位
岐阜県高校総体 男子クオドルブル 3位 女子クオドルブル 優勝・3位
岐阜レガッタ 男子クオドルブル 3位
東海高校総体 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位
※全国高校総体 女子クオドルブル 準決勝進出
岐阜県高校新人大会 男子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 優勝
女子ダブルスカル 優勝 男子シングルスカル 2位
中部高校選抜大会 女子シングルスカル 優勝
女子ダブルスカル 優勝
男子クオドルブル 5位 女子クオドルブル 4位
※全国高校選抜大会 女子ダブルスカル 優勝 女子クオドルブル 7位
- ◆陸上部 岐阜県高校総体 男子400mH 2位 男子円盤投げ 6位 女子400mH 6位
以上、東海高校総体出場
岐阜県選手権 男子400mH 6位 女子400m 7位 女子400mH 5位
以上、東海選手権出場
岐阜県高校新人大会 男子400mH 優勝 男子110mH 5位 男子1600mR 6位
女子400mH 3位 女子400m 5位 女子100mH 5位
以上、東海高校新人大会出場
- ◆柔道部 岐阜県高校総体 男子個人60kg級 3位
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 女子団体 ベスト8 女子シングルス 7位・8位
東海中日テニス選手権岐阜県予選 男子ダブルス 準優勝 女子シングルス 3位・5位
以上、東海大会出場
岐阜県高校新人大会 女子団体 準優勝 東海大会出場 男子ダブルス ベスト8
女子シングルス 3位・8位 女子シングルス 3位
全国選抜東海大会 女子団体 出場
東海毎日テニス選手権岐阜県予選 女子シングルス 3位 女子ダブルス 3位 東海大会出場
- ◆バスケットボール部 岐阜県高校総体 女子 3位
- ◆ラグビー部 国体東海ブロック大会 岐阜選抜 優勝
※国民体育大会 岐阜選抜 7位
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト アナウンス 優勝
※全国高校総合文化祭放送部門 アナウンス 優秀賞
岐阜県高校放送コンテスト新人大会 ビデオメッセージ 2位
※N H K杯全国高校放送コンテスト 入選
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 最優秀賞

平成18年度（2006）

体育系部		顧問
陸上	上	横井内・和田・井戸(星)
柔道	道	茂角・横山(衣)・石原(有)
剣道	道	永瀬・長沼・(前田)・西尾
弓道	道	川出・浅見・酒井
野球	球	内海・小俣・佐藤恵
卓球	球	津崎・藤井・松原
バスケットボール		杉山・桜井・中路・日下部
バレー・ボール(男)		河田・古川(真)
バレー・ボール(女)		古川(伸)・渡辺(悦)
サッカー		西・小島・(生駒)
ラグビー		井川・川口
テニス(男)		水谷・中澤
テニス(女)		生駒・貝川
ボート	ト	横山(厚)・林・石原

文化系部		顧問
吹奏楽		渡邊(緑)・二村・國居
美術	術	降旗・高間
文芸	芸	竹内
演劇		市原・水口・(降旗)
書道		井戸(由)・岩垂
自然科學		井戸(清)
放送	送	奥田
アマチュア無線		池村
パソコン		渡辺(昌)
新聞	聞	桂川
囲碁・将棋		藤澤・市村
手話		石川・[武山]
同好会		顧問
コ一ラス		丹羽
茶華道		小串

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 岐阜県高校総体 東海高校総体
- ※全日本ジュニア選手権 ※アジアジュニア選手権 ※全国高校総体
- 国体東海ブロック大会 ※国民体育大会 岐阜県高校新人大会
- 中部高校選抜大会
- ◆柔道部 岐阜県高校総体
- ◆弓道部 岐阜県高校選抜大会
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 東海中日テニス選手権岐阜県予選
- 岐阜県高校新人大会
- ◆陸上部 岐阜県高校総体 東海高校総体 岐阜県高校新人大会 東海高校新人大会
- ◆放送部 岐阜県高校放送コンテスト ※N H K杯全国高校放送コンテスト
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 岐阜県高校総合文化祭書道展
- ◆美術部 岐阜県美術展青年部 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 岐阜県高校総合文化祭写真展
- 女子ダブルスカル 優勝 男子クオドルプル 優勝 女子ダブルスカル 2位 男子ダブルスカル 2位 男子総合 優勝
- 女子クオドルプル 優勝 女子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル 2位 女子総合 優勝
- 女子シングルスカル 4位 男子ダブルスカル 5位 女子ダブルスカル 3位
- 女子シングルスカル 6位 女子シングルスカル 3位
- 男子クオドルプル 準々決勝進出 女子クオドルプル 準々決勝進出
- 女子ダブルスカル 4位 女子クオドルプル 岐阜選抜 優勝
- 女子クオドルプル 岐阜選抜 6位 男子クオドルプル 優勝 男子シングルスカル 2位
- 女子クオドルプル 2位 女子ダブルスカル 2位 女子シングルスカル 2位
- 女子シングルスカル 2位 女子クオドルプル 優勝 男子クオドルプル 3位
- 女子シングルスカル 3位 ※全国高校選抜大会出場 女子シングルスカル 3位 男子クオドルプル 3位
- 男子団体 6位 男子60kg級 準優勝 男子100kg級 4位
- 女子団体 4位 東海高校選抜大会出場
- 女子団体 準優勝 東海高校総体出場 女子シングルス 3位 女子ダブルス 3位
- 以上、東海大会出場
- 男子団体 3位 女子団体 3位
- 男子400mH 7位 男子走り高跳び 7位 女子400mH 5位
- 女子400mH 出場
- 男子走り高跳び 4位 女子槍投げ 4位
- 男子走り高跳び 出場 女子槍投げ 出場
- アナウンス 優勝 テレビドキュメント 4位
- アナウンス 出場 テレビドキュメント 出場
- 書道 優秀賞
- 優秀賞
- 絵画 優秀賞2
- 絵画 奨励賞 デザイン 奨励賞
- 優秀賞

平成19年度 (2007)

体育系部	顧問
陸上	横井内・和田・井戸(星)
柔道	茂角・横山・石原(有)
剣道	永瀬・長沼(前田)・(西尾)
弓道	川出・浅見・市原
野球	内海・杉山・牧村
卓球	津崎・藤井・松原
バスケットボール	林(義)・桜井・中路
バレーボール(男)	二村・古川(真)
バレーボール(女)	古川(伸)・渡辺(悦)
サッカー	西・千葉
ラグビー	井川・川口
テニス(男)	水谷・中澤
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	吉田・林(綾)・石原(康)
ソフトボール	西尾

文化系部	顧問
吹奏楽	渡辺(緑)・佐藤・國居
美術	酒井・(降旗)
文芸	竹内
演劇	降旗・水口
書道	井戸(由)・岩垂
自然科学	河田・井戸(清)
放送	奥田
アマチュア無線	池村
パソコン	渡辺(昌)
新聞	桂川
囲碁・将棋	藤澤・市村
手話	石川・[武山]
コーラス	丹羽(順)
同好会	顧問
茶華道	小串・[伊藤]

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ
岐阜県高校総体 東海高校総体 全日本ジュニア選手権 国体東海ブロック大会 ※全国高校総体 岐阜県高校新人大会 中部高校選抜大会 ※国民体育大会 ※全国高校選抜大会
- ◆柔道部 岐阜県柔道形選手権大会 岐阜県柔道体重別選手権大会 岐阜県高校新人大会
- ◆テニス部 岐阜県高校総体 岐阜県高校新人大会
- ◆陸上部 東海陸上選手権大会 東海高校陸上新人大会 東海高校総体
- ◆剣道部 岐阜県高校新人大会
- ◆ラグビー部 岐阜県高校ラグビーフットボール7人制大会
- ◆卓球部 東海卓球選手権
- ◆放送部 岐阜県高等学校放送コンテスト ※NHK杯全国高校放送コンテスト ※全国高等学校総合文化祭 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 岐阜県高校生アナウンスコンクール
- ◆吹奏楽部 岐阜県ソロコンテスト 全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東海大会
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 岐阜県高等学校総合文化祭書道展
- ◆美術部 岐阜県美術展青年部 岐阜県高校写真コンテスト 岐阜県高校総合文化祭写真展 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展
- ◆演劇部 岐阜県高校総合文化祭合同公演 演劇
- ◆文芸部 美作大学児童学科主催夢の森児童文化賞 岐阜県高校文芸コンクール 全国高校生童話大賞
- ◆自然科学部 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会
- 2位 男子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 優勝 女子シングルスカル 3位 女子シングルスカル 3名出場 男子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 出場 男子クオドルブル 優勝 男子ダブルスカル 3位 女子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 2位 女子クオドルブル 優勝 男子クオドルブル 4位 女子ダブルスカル 2位 男子クオドルブル 優勝 女子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル 3位 女子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル 3位 女子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル 2位 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 3位 優勝 男子シングルスカル 優勝 男子シングルスカル 優勝 女子ダブルスカル 優勝・2位 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 3位 男子73kg級 3位 女子C級 3位 男子団体 3位 女子団体 3位 男子団体 3位 女子棒高跳び 出場 男子800m・男子ハンマー投げ・女子400mH 出場 男子走り高跳び 出場 男子個人 3位 男子個人 3名出場 男子個人 2名 出場 トロンボーン 金賞・最優秀賞 トロンボーン 銀賞 書道 優秀賞 最優秀賞 絵画 優秀賞 写真 優秀賞 獎励賞3 優秀賞 絵画 獎励賞2 優秀賞 物語部門 佳作 詩部門 3位 銅賞 優秀賞

平成20年度 (2008)

体育系部		顧問	文化系部	顧問
陸上	上	横井内・吉川・井戸(星)	吹奏楽	古田(真)・國居・(佐藤)
柔道	道	茂角・堀江・長沼	美術	降旗・酒井
剣道	道	垣下・横山・小島(礼)	文芸	竹内
弓道	道	町井・浅見・松原	演劇	市原・水口・(降旗)・[山内]
野球	球	内海・古川(真)・牧村	書道	井戸(由)・[岩垂]
卓球	球	津崎・杉山・藤井	自然科學	河田
バスケットボール		林・中路・千葉	放送	西尾・「奥田」
バレーボール(男)		二村・渡辺(悦)	アマチュア無線	井戸(清)
バレーボール(女)		今井・和田	パソコン	渡辺(昌)
サッカー	一	西・小島(和)	新聞	桂川
ラグビー	一	矢崎・川口	囲碁・将棋	藤澤
テニス(男)		水谷・中澤	手話	石川・「武山」
テニス(女)		生駒・丹羽(さ)	コラス	佐藤・丹羽(順)
ボート	ト	古田(丈)・古川(伸)・吉井	同好会	顧問
ソフトボール		市村	茶華道	小串・「伊藤」

平成21年度 (2009)

体育系部	顧問
陸上	吉川・横井内・富田
柔道	市原・堀江・松原
剣道	垣下・中澤・前田
弓道	町井・浅見・小島(礼)
野球	内海・河田・古川(真)
卓球	津崎・藤井・杉山
バスケットボール	林・千葉・中路
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・田中・(熊崎)
サッカー	可知・小島(和)
ラグビー	矢崎・川口
テニス(男)	加藤・伸・(中澤)
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	古田(丈)・古川(伸)・渋田
ソフトボール	赤塚・西尾

文化系部	顧問
吹奏楽	古田(真)・長谷川・國居
美術	降旗・酒井
文芸	竹内
演劇	横山・水口・[山内]
書道	丹羽(順)・[岩垂]
自然科學	渡辺(悦)・(河田・富田)
放送	奥田
アマチュア無線	井戸
パソコン	渡辺(昌)
新聞	桂川
囲碁・将棋	市村
手話	石川・[武山]
コラス	佐藤・[近藤]
同好会	顧問
茶華道	小串・[伊藤]

◆ボート部	岐阜レガッタ	男子クオドルブル 女子クオドルブル	優勝・3位 優勝 女子ダブルスカル 2位	男子ダブルスカル 3位
	諫訪湖レガッタ	男子クオドルブル 女子クオドルブル	4位・6位 優勝・最優秀チーム賞	男子ダブルスカル 4位 女子ダブルスカル 3位
	岐阜県高校総体	男子クオドルブル 女子クオドルブル	優勝・2位 優勝・2位	男子ダブルスカル 優勝 女子ダブルスカル
	東海高校総体	女子ダブルスカル 男子クオドルブル 女子クオドルブル	優勝 女子シングルスカル 3位 4位・5位 優勝・9位	女子シングルスカル 3位 男子ダブルスカル 5位 女子ダブルスカル 4位
	国体東海ブロック大会	女子シングルスカル 男子クオドルブル	9位 2位	女子シングルスカル 優勝 男子ダブルスカル
	※全国高校総体	女子ダブルスカル 女子クオドルブル 男子クオドルブル	優勝 女子クオドルブル 2位 準優勝 女子ダブルスカル 準決勝 男子ダブルスカル	2位 準決勝 優勝 準々決勝
	岐阜県高校新人大会	男子クオドルブル 男子シングルスカル 女子ダブルスカル	優勝 男子ダブルスカル 3位 3位 女子クオドルブル 優勝 女子シングルスカル 2位・3位	優勝 男子ダブルスカル 優勝 女子シングルスカル
	※国民体育大会	男子クオドルブル 女子クオドルブル	岐阜選抜 8位 岐阜選抜 準決勝進出	岐阜選抜 8位
	中部高校選抜大会	男子クオドルブル 女子ダブルスカル	2位 女子クオドルブル 3位 ※以上3チームは全国選抜大会出場	2位 女子クオドルブル 準決勝 3位 女子ダブルスカル
	※全国高校選抜大会	男子クオドルブル	5位 女子クオドルブル 3位	5位 女子クオドルブル
◆陸上部	岐阜県高校総体	女子400mH	4位	東海大会出場
◆ラグビー部	岐阜県高校総体		4位	
◆卓球部	中部日本卓球選手権大会 東海卓球選手権	男子個人 男子・女子	出場 出場	
◆ソフトボール部	岐阜県高校総体	3位		
◆体操競技	岐阜県高校総体 ※全国高校総体 岐阜県高校新人大会	女子 個人総合 女子 個人総合 女子 個人総合 1位 女子 ゆか 1位	2位 82位 1位	段違い平行棒 2位 平均台 2位 ゆか 2位
				段違い平行棒 1位 平均台 1位 跳馬 3位
◆放送部	岐阜県高校放送コンテスト ※N H K杯全国高校放送コンテスト ※全国高校総合文化祭 岐阜県高校放送コンテスト新人大会 北信越高校選抜放送大会	テレビドキュメント テレビドキュメント アナウンス ビデオメッセージ ビデオメッセージ	1位 出場 出場 出場 3位 3位 奨励賞	アナウンス 6位 アナウンス 出場 アナウンス 3位 優秀賞
◆美術部	岐阜県美術展青年部 ※全国高校総合文化祭美術・工芸展 岐阜県高校写真コンテスト 岐阜県高校総合文化祭ポスター・コンクール 岐阜県高校総合文化祭写真展 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展	出品	絵画 優秀賞 優秀賞 奨励賞 3 優秀賞・奨励賞 2 奨励賞 2	デザイン 優秀賞 2
◆書道部	岐阜県高校総合文化祭書道展	優秀賞		
◆自然科学部	岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会		優秀賞	
◆囲碁・将棋部	全国高校囲碁選手権岐阜県大会 東海高校囲碁選手権大会	男子団体 男子団体	2位 6位	男子個人 ベスト 8

平成22年度（2010）

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・井戸
柔道	市原・松原・田中
剣道	長屋・堀江・前田
弓道	町井・浅見・小島（礼）
野球	吉田・岩田・（河田）
卓球	津崎・安田・杉山
バスケットボール	林・中路・武藤・千葉
バレーボール（男）	二村・熊崎
バレーボール（女）	今井・鹿嶋
サッカー	金森・小島（和）
ラグビー	矢崎・川口
テニス（男）	小林・仲
テニス（女）	生駒・丹羽（さ）
ボート	吉田（丈）・野村・汲田
ソフトボール	赤塚・藤井

文化系部	顧問
吹奏楽	古田（真）・長谷川・國居
美術	降旗・水口
文芸	竹内
演劇	横山・加藤・[山内]
書道	丹羽（順）・[岩垂]
自然科學	河田・寺下
放送	渡辺（悦）・[奥田]
アマチュア無線	（井戸）
パソコン	渡辺（昌）
新聞	桂川
囲碁・将棋	藤澤
手話	石川・[武山]
contres	佐藤・（水阪）・[近藤]
同好会	顧問
茶華道	水阪・[伊藤]

◆ボート部	岐阜レガッタ	男子クオドルブル	2位	男子ダブルスカル	2位・3位
	諏訪湖レガッタ	女子クオドルブル	優勝・2位		
	岐阜県高校総体	男子クオドルブル	5位	男子ダブルスカル	4位
		女子クオドルブル	3位	女子ダブルスカル	6位
	東海高校総体	男子クオドルブル	優勝	男子シングルスカル	2位
		女子クオドルブル	優勝・2位		
	国体東海ブロック大会	男子クオドルブル	2位	男子総合	3位
		女子クオドルブル	2位	女子総合	3位
	※全国高校総体	男子クオドルブル	2位	男子ダブルスカル	3位
	岐阜県高校新人大会	女子クオドルブル	3位		
		男子クオドルブル	5位	女子クオドルブル	7位
		男子クオドルブル	2位	男子ダブルスカル	優勝
		女子クオドルブル	優勝	女子ダブルスカル	3位
		女子シングルスカル	2位		
	※国民体育大会	男子クオドルブル	岐阜選抜	4位	
	中部高校選抜大会	男子クオドルブル	準決勝進出	男子ダブルスカル	優勝
		女子クオドルブル	準決勝進出		
◆弓道部	東海高校総体	男子個人	出場		
◆卓球部	中部日本卓球選手権大会	出場			
	東海卓球選手権大会	出場			
◆ソフトボール部	岐阜県高校総体	2位			
	岐阜県ソフトボール選手権大会	2位			
	中日本総合ソフトボール選手権	出場			
	岐阜県高校新人大会	2位			
	東海高校ソフトボール新人大会	出場			
◆放送部	岐阜県放送コンテスト	テレビドキュメント	3位		
	※N H K 杯全国高校放送コンテスト	テレビドキュメント	出場		
	北信越高校選抜放送大会	アナウンス	奨励賞		
◆美術部	岐阜県高校総合文化祭ポスタークール	最優秀賞・優秀賞・奨励賞			
	岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展	デザイン	奨励賞	立体	奨励賞
	岐阜県高校総合文化祭写真展	優秀賞3	・奨励賞3		
	※全国高校総合文化祭美術・工芸展	岐阜県代表作品	出品2		
◆書道部	岐阜県美術展青年部	優秀賞			
	岐阜県高校総合文化祭書道展	優秀賞			
◆自然科学部	岐阜県児童生徒科学作品展		優秀賞		
	岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会		優秀賞		※全国総合文化祭出場
◆文芸部	N T 西日本コミュニケーション大賞	佳作			
◆囲碁・将棋部	全国高校囲碁選手権岐阜県大会	男子団体	2位		
	東海高校囲碁選手権大会	男子団体	4位		
◆吹奏楽部	中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会	金賞			

平成23年度 (2011)

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・丹羽(沙)
柔道	石井・松原・溝際
剣道	長屋・堀江・真船
弓道	町井・野村・小島(礼)
野球	吉田・岩田・竹内・(河田)
卓球	津崎・安田・杉山
バスケットボール	武藤・出川・林・千葉
バレーボール(男)	二村・熊崎
バレーボール(女)	今井・渡辺(悦)
サッカー	金森・小島(和)・木澤
ラグビー	矢崎・川口
テニス(男)	小林・仲
テニス(女)	生駒・丹羽(さ)
ボート	吉田(丈)・田之本・汲田
ソフトボール	赤塚・森

文化系部	顧問
吹奏楽	古田(真)・長谷川・天野
美術	降旗・水口
文芸	山本
演劇	横山・加藤・[山内]
書道	田中・[岩垂]
自然科学	河田・中澤
放送	市原
パソコン	白木
新聞	桂川
囲碁・将棋	藤澤
手話	前田・[武山]
コーラス	佐藤・(田中)・[武藤]
同好会	顧問
茶華道	(前田)・[伊藤]

◆ボート部	諫訪湖レガッタ	男子クオドルブル	6位	男子ダブルスカル	5位
	岐阜県高校総体	女子クオドルブル	準優勝		
		男子シングルスカル	3位	男子ダブルスカル	2位
		男子クオドルブル	2位	男子総合 優勝	
		女子シングルスカル	2・3位	女子ダブルスカル	2位
		女子クオドルブル	優勝	女子総合 優勝	
	東海高校総体	男子クオドルブル	3位	女子クオドルブル	5位
	国体東海ブロック大会	男子クオドルブル	岐阜選抜	1位	
		女子クオドルブル	岐阜選抜	3位	
	※全国高校総体	女子クオドルブル	準々決勝進出		
	岐阜県高校新人大会	男子クオドルブル	優勝・3位	男子ダブルスカル	3位
		男子シングルスカル	3位	女子クオドルブル	2位
		女子ダブルスカル	2位	女子シングルスカル	優勝
	※国民体育大会	男子クオドルブル	岐阜選抜	5位	
	中部高校選抜大会	男子クオドルブル	2位	女子シングルスカル	5位
	※全国高等学校選抜大会	女子シングルスカル	出場	男子クオドルブル	優勝
					※全国優勝
◆ソフトボール部	岐阜県高校総体	2位			
	中日本総合ソフトボール選手権	出場			
	岐阜県高校新人大会	3位			
◆卓球部	岐阜県高校生卓球選手権大会	女子個人	4位		
	東海卓球選手権大会	出場			
◆剣道部	東海高校総体	女子個人	出場		
	岐阜県高校新人大会	男子個人	3位	女子団体	3位
◆美術部	岐阜県美術展青年部			写真 優秀賞	
	岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール			奨励賞2	
	岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展			絵画 優秀賞 立体 奨励賞	
	岐阜県高校総合文化祭写真展			最優秀賞・奨励賞4	
◆書道部	岐阜県美術展青年部	書道	優秀賞		
	岐阜県高校総合文化祭書道展		最優秀賞		
◆自然科学部	※全国高校総合文化祭			出場	
	岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会			特別賞	
◆文芸部	岐阜県高文連文芸コンクール	詩	2位		
◆吹奏楽部	中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会		金賞		

平成24年度（2012）

体育系部	顧問
陸上	吉川・大島・川瀬
柔道	須賀・松原・溝際
剣道	長屋・可知
弓道	安田・丹羽（沙）・小島（礼）
野球	吉田・竹内・河田・井上
卓球	津崎・奥田・杉山
バスケットボール（男）	水谷・出川
バスケットボール（女）	武藤・若園
バレー（男）	二村・熊崎
バレー（女）	今井・田中
サッカー	金森・小島（和）・影浦
ラグビー	矢崎・川口
テニス（男）	小林・丹羽（さ）
テニス（女）	生駒・仲
ボート	古田（丈）・夏目・白木
ソフトボール	赤塚・坪内

文化系部	顧問
吹奏楽	古田（真）・長谷川・天野
美術	降旗・水口
文芸	山本
演劇	横山・加藤・[山内]
書道	田中・真船・[岩垂]
自然科學	木澤・中澤
放送	渡辺
パソコン	田之本
新聞	桂川
囲碁・将棋	藤澤
手話	前田・[武山]
コラス	佐藤・山田・[武藤]
同好会	顧問
茶華道	櫻井・[伊藤]

- ◆ボート部 岐阜レガッタ 男子クオドルプル 3位 女子クオドルプル 4位
 岐阜県高校総体 男子クオドルプル 優勝 男子総合2位
 女子シングルスカル 3位 女子ダブルスカル 3位
 女子クオドルプル 優勝 女子総合 優勝
 東海高校総体 男子クオドルプル 4位
 女子クオドルプル 優勝 女子ダブルスカル 6位 女子総合 2位
 全日本ジュニア選手権 男子3名 出場 女子4名 出場
 福井レガッタ 男子クオドルプル 優勝 女子クオドルプル 優勝
 ※全国高校総体 男子クオドルプル 準優勝 女子クオドルプル 準優勝
 岐阜県高校新人大会 男子クオドルプル 2位 男子シングルスカル 優勝
 女子クオドルプル 優勝・3位 女子ダブルスカル 3位
 女子シングルスカル 優勝
 ※国民体育大会 男子クオドルプル 岐阜選抜 準優勝
 女子クオドルプル 岐阜選抜 5位
 全日本新人大会 男子ダブルスカル 4位 女子クオドルプル 5位
 中部高校選抜大会 女子クオドルプル 優勝
 ※全国高校選抜大会 女子クオドルプル 優勝 ※全国優勝
- ◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 3位
 岐阜県ソフトボール選手権 2位
- ◆弓道部 全国高校選抜大会岐阜県予選 女子個人 5位
- ◆剣道部 岐阜県高校新人大会 女子個人 3位
- ◆美術部 岐阜県美術展青年部 絵画 優秀賞 デザイン 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 奨励賞3
 全国高校総合文化祭美術・工芸展 連盟賞3
 岐阜県高校総合文化祭写真展 優秀賞・奨励賞
 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 奨励賞 デザイン 奨励賞
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭書道展 奨励賞
- ◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 特別賞
- ◆文芸部 中日新聞サンデー版300文字小説 優秀賞
- ◆囲碁・将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位
- ◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞

平成25年度 (2013)

体育系部	顧問
陸上	吉川・川瀬・生駒
柔道	渡辺(俊)・松原・溝際
剣道	長屋・可児
弓道	丹羽(沙)・須田・小島(礼)
野球	吉田・竹内(洋)・河田
卓球	津崎・酒向・杉山
バスケットボール(男)	若園・吉井
バスケットボール(女)	夏目・渡邊(克)・[長谷川]
バレーボール(男)	二村・出川
バレーボール(女)	今井・竹内(沙)
サッカー	金森・小島(和)・影浦
ラグビー	矢崎・川口
テニス(男)	小林・丹羽(さ)
テニス(女)	白井・山田(幸)
ボート	古田(丈)・浅野・栗木・[西原]
ソフトボール	坪内・高木

文化系部	顧問
吹奏楽	古田(真)・長谷川・山内(生)
美術	村瀬・水口
文芸	山本
演劇	横山・加藤・[山内(一)]
書道	田中・(溝際)・[岩垂]
自然科学	木澤・中澤
放送	守屋
パソコン	田之本・清水
新聞	桂川
囲碁・将棋	渡辺(悦)
手話	前田・[武山]
コラス	佐藤・山田(千)・[武藤]
同好会	顧問
茶華道	櫻井・[伊藤]

- ◆ボート部 岐阜レガッタ 女子クオドルブル 優勝・6位
 諏訪湖レガッタ 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 優勝
 岐阜県高校総体 男子クオドルブル 優勝 男子総合 3位
 東海高校総体 女子クオドルブル 優勝・3位 女子総合 優勝
 男子クオドルブル 4位
 女子クオドルブル 優勝・5位 女子総合 優勝
 全日本ジュニア選手権 男子4名 出場 女子6名 出場
 ※全国高校総体 男子クオドルブル 3位 女子クオドルブル 優勝 ※全国優勝
 福井レガッタ 男子クオドルブル 2位 男子シングルスカル 4位
 女子クオドルブル 優勝
 ※国民体育大会 女子クオドルブル 岐阜選抜 優勝 ※全国優勝
 男子クオドルブル 岐阜選抜 5位
 岐阜県高校新人大会 男子クオドルブル 優勝 男子ダブルスカル 2位
 男子シングルスカル 2位
 女子クオドルブル 優勝・2位 女子ダブルスカル 3位
 中部高校選抜大会 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 優勝
 ※全国選抜大会 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 優勝 ※全国優勝
- ◆剣道部 岐阜県高校剣道大会 女子団体 3位
- ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスター・コンクール 奨励賞
 ※全国高校総合文化祭美術・工芸展 文化連盟賞
- ◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞
 中部日本吹奏楽個人重奏コンテスト トランペット 金賞 アルトサキソフォン 金賞
 以上、東海大会出場
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道の部 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆囲碁・将棋部 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 3位
- ◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 優秀賞3
 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 最優秀賞・審査員特別賞・奨励賞
 ※全国高校総合文化祭 出場
- ◆文芸部 岐阜県高校文芸コンクール 詩 最優秀賞(第1位)

平成26年度（2014）

体育系部		顧問
陸上	上	吉川・川瀬・生駒
柔道	道	渡辺（俊）・松原・溝際
剣道	道	長屋・水口
弓道	道	鹿嶋・須田・（丹羽（沙））
野球	球	吉田・竹内（洋）・中島・（河田）
卓球	球	津崎・田之本・杉山
バスケットボール（男）		若園・吉井
バスケットボール（女）		津田・紀藤・〔高野〕
バレー・ボール（男）		出川・渡邊（克）
バレー・ボール（女）		今井・竹内（紗）
サッカー	一	金森・小島（和）・影浦
ラグビー	一	矢崎・小林
テニス（男）		神谷・丹羽（さ）
テニス（女）		白井・山田（幸）
ボート	ト	古田（丈）・夏目・浅野・栗本
ソフトボール		坪内・山内（生）

文化系部		顧問
吹奏楽	樂	古田（真）・長谷川・赤池・安江
美術	術	村瀬・丹羽（沙）
文芸	芸	山本
演劇	劇	横山・加藤・〔山内（一）〕
書道	道	田中・高木・〔岩垂〕
自然科學	學	木澤・河田
放送	送	可児
パソコン		木村・小島（礼）
新聞	聞	桂川
囲碁・将棋		渡邊（悦）
手話		前田・〔武山〕
コーラス		佐藤・高木（志）・〔武藤〕
同好会		顧問
茶華道		櫻井・〔伊藤〕

- ◆ボート部 岐阜レガッタ 女子クオドルブル 3位 女子クオドルブル 優勝
 諏訪湖レガッタ 男子クオドルブル 5位 男子ダブルスカル 2位
 岐阜県高校総体 女子クオドルブル 2位・3位 女子ダブルスカル 2位 女子シングルスカル 2位
 全日本ジュニア選手権 男子クオドルブル 3位・4位 男子ダブルスカル 2位・3位
 東海高校総体 男子シングルスカル 5位 男子総合 3位 女子クオドルブル 優勝・2位・3位 女子ダブルスカル 2位
 女子総合 優勝 女子シングルスカル 5位 ※U19日本代表・世界ジュニア選手権出場
 国体東海ブロック大会 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 優勝
 ※全国高校総体 女子ダブルスカル 優勝 女子総合 優勝
 岐阜県高校新人大会 男子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 優勝
 優勝 女子クオドルブル 優勝・3位 女子クオドルブル 優勝
 優勝・3位 女子クオドルブル 優勝 女子クオドルブル 優勝
 ◆テニス部 岐阜県高校新人大会 男子団体 ベスト8
 東海中日ジュニア選手権 女子ダブルス 県ベスト8
 岐阜県高校新人大会 女子団体 3位
 ◆卓球部 東海卓球選手権大会 女子シングルス出場 女子ダブルス 出場
 ◆ラグビー部 岐阜県高校新人大会 県ベスト4（合同チーム）
 東海選抜大会 出場
 ◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 2位
 岐阜県ソフトボール選手権 優勝
 中日本総合選手権 出場
 岐阜県高校新人大会 優勝
 ※全国選抜大会 出場
 全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
 全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
 東海三県高校将棋大会 男子個人 優勝
 ※全国高校将棋竜王戦 男子個人 ベスト8
 岐阜県高校総合文化祭囲碁新人大会 男子団体 3位
 岐阜県高校総合文化祭将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
 ※全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国優勝
 東海三県高校将棋大会 男子個人 優勝
 ◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
 ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭ポスターコンクール 奨励賞
 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 優秀賞・奨励賞2
 ◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 文化連盟賞
 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞・優秀賞2
 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 審査員特別賞・特別賞
 ◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞
 ◆コーラス部 岐阜ヴォーカルアンサンブルコンテスト 奨励賞

平成27年度 (2015)

体育系部	顧問
陸上競技	吉川・杉山(典)・生駒
柔道	酒井・松原・山内(生)
剣道	長屋・水口
弓道	鹿嶋・林・(河田)
野球	吉田・竹内・中島・土井
卓球	津崎・杉山(清)・安江
バスケットボール(男)	若園・佐藤(正)
バスケットボール(女)	津田・紀藤・[高野]
バレーボール(男)	出川・丸谷
バレーボール(女)	今井・藤村
サッカー	金森・安達
ラグビー	矢崎・小林
テニス(男)	柴田・丹羽(さ)
テニス(女)	白井・神谷
ボート	古田(丈)・境田・羽中田・栗本
ソフトボール	坪内・森島・[赤塚]

文化系部	顧問
吹奏楽	須田・岸・長谷川・[古田(真)]
美術	降旗・田之本
文芸	高木(志)
演劇	横山・加藤・[山内(一)]
書道	田中・高木(小)・[岩垂]
自然科学	木澤・河田
放送	可児
パソコン	木村・小島
新聞	桂川
囲碁・将棋	渡辺(俊)・渡邊(克)
手話	前田・[武山]
コーラス	佐藤(恵)・山田・[武藤]
同好会	顧問
茶華道	櫻井

- ◆ボート部 諏訪湖レガッタ 優勝
岐阜県高校総体 男子ダブルスカル 優勝
女子ダブルスカル 2位・3位
女子クオドルプル 優勝
女子シングルスカル 2位・3位 女子総合 優勝
- 全日本ジュニア選手権 男子2名出場 女子5名 出場
東海高校総体 男子ダブルスカル 優勝 男子総合 3位
女子クオドルプル 2位 女子ダブルスカル 4位 女子総合 2位
- 国体東海ブロック大会 男子クオドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(1名)
※全国高校総体 女子クオドルプル 5位
- ※国民体育大会 男子クオドルプル 岐阜選抜 7位
岐阜県高校新人大会 男子クオドルプル 2位 男子ダブルスカル 優勝
- 中部高校選抜大会 男子シングルスカル 優勝
※全国高校選抜大会 男子シングルスカル 2位 女子シングルスカル 3位
男子シングルスカル 3位 女子クオドルプル 3位
- ◆ラグビー部 東海高校10人制交流大会 県3位(合同チーム)
- ◆ソフトボール部 岐阜県高校総体 3位
岐阜県ソフトボール選手権 2位
岐阜県高校新人大会 優勝 ※全国選抜大会・東海大会出場
- ◆囲碁・将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位
全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 2位
- ※全国高校将棋選手権 男子個人 5位
岐阜県高校総合文化祭将棋新人大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
※全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人 5位
- ◆自然科学部 岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞2
岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 最優秀賞・審査員特別賞
※全国高校総合文化祭 出場
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞
岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭写真展 奨励賞
岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 優秀賞
- ◆吹奏楽部 中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会 金賞
- ◆コーラス部 岐阜ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞

平成28年度（2016）

体育系部	顧問	文化系部	顧問
陸上競技	吉川・杉山（典）・生駒	吹奏楽	鈴木・岸・武田・〔渡邊（緑）〕
柔道	酒井・前田・佐藤	美術	降旗・田之本
剣道	長屋・水口	文芸	高木（志）
弓道	井上・鹿嶋・林	演劇	加藤・横山・〔山内〕
野球	土井・吉田・中島	書道	高木（小）・田中・〔岩垂〕
卓球	境田・杉山（清）・安江	自然科學	木澤・河田
バスケットボール（男）	紀藤・小島（知）・〔高野〕	放送	可児
バスケットボール（女）	津田・渡邊（克）	パソコン	石井
バレー（男）	出川・丸谷	新聞	桂川
バレー（女）	今井・橋本	囲碁・将棋	渡辺（俊）・長谷川
サッカー	金森・安達	手話	後藤・〔武山〕
ラグビー	矢崎・小林	コラス	山田（千）・小島（礼）・〔武藤〕
テニス（男）	柴田・織部	同好会	顧問
テニス（女）	白井・大塚	茶華道	櫻井・木村
ボート	古田（丈）・山田（駿）・羽中田・栗本		
ソフトボール	竹内・成瀬・〔赤塚〕		

- ◆ボート部 岐阜レガッタ 女子クオドルブル 5位 女子ダブルスカル 6位
諏訪湖レガッタ 男子クオドルブル 優勝 男子ダブルスカル 5位
岐阜県高校総体 女子クオドルブル 2位・6位 女子シングルスカル 優勝・6位
男子クオドルブル 2位 男子ダブルスカル 3位
男子シングルスカル 3位 男子総合 3位
女子クオドルブル 優勝・3位 女子ダブルスカル 2位
女子総合 優勝
男子 6位 ※日本代表決定 女子 8位
東海高校総体 男子クオドルブル 4位 女子クオドルブル 優勝
女子総合 優勝
国体東海ブロック大会 男子クオドルブル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(1名)
女子クオドルブル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(5名)
女子クオドルブル 2位
男子クオドルブル 23位
男子クオドルブル 2位 男子ダブルスカル 3位・6位
男子シングルスカル 5位・6位
女子クオドルブル 優勝・2位 女子ダブルスカル 3位・6位
女子シングルスカル 3位
男子クオドルブル 岐阜選抜 2位 女子クオドルブル 岐阜選抜 6位
男子クオドルブル 出場
男子クオドルブル 準決勝進出
女子クオドルブル 優勝 ※全国選抜大会出場
女子クオドルブル 優勝 ※全国優勝
- ◆ソフトボール部 ※全国高校選抜大会 出場
岐阜県高校総体 優勝
東海高校総体 2位
※全国高校総体 出場
岐阜県高校新人大会 準決勝進出
- ◆囲碁・将棋部 全国高校囲碁選手権岐阜県大会 男子団体 3位
全国高校将棋選手権岐阜県大会 男子個人 優勝 ※全国大会出場
全国高校将棋竜王戦岐阜県大会 男子個人 5位
※全国高校将棋選手権 男子個人 5位
- ◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 ポスター発表 文化連盟賞
岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 優秀賞・努力賞
- ◆書道部 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆美術部 岐阜県高校総合文化祭写真展 奨励賞2
岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 デザイン 奨励賞2 立体 優秀賞・奨励賞2

平成29年度 (2017)

体育系部	顧問
陸上競技	杉山(典)・吉川・生駒
柔道	酒井・佐藤
剣道	長屋・瓜田
弓道	井上・高木(小)・林
野球	土井・吉田・河合・(中島)
卓球	境田・杉山(清)・安江
バスケットボール(男)	安田・青木・[高野]
バスケットボール(女)	津田・五島・[高野]
バレーボール(男)	出川・小島(知)
バレーボール(女)	丸谷・門
サッカー	金森・安達
ラグビー	矢崎・小林
テニス(男)	柴田・織部
テニス(女)	白井・大塚
ボート	古田・山田(駿)・羽中田・田中(美)
ソフトボール	竹内・成瀬・[赤塚]

文化系部	顧問
吹奏楽	鈴木・澤田・青井
美術	降旗・田之本
文芸	岸
演劇	横山・市村・[山内]
書道	田中(里)・鹿嶋・[岩垂]
自然科學	木澤・河田
放送	可児
パソコン	石井
新聞	桂川
囲碁・将棋	渡辺
手話	後藤・[武山]
コーラス	山田(千)・小島(礼)・[武藤]
同好会	顧問
茶華道	木村・[高木(久)・櫻井]

- ◆ボート部 岐阜レガッタ 優勝 女子クオドルプル 3位
 諏訪湖レガッタ 男子クオドルプル 6位
 岐阜県高校総体 女子クオドルプル 優勝 女子シングルスカル 5位
 男子ダブルスカル 優勝 男子クオドルプル 3位
 男子シングルスカル 3位 男子総合 2位
 女子クオドルプル 優勝・2位 女子シングルスカル 優勝
 女子総合 優勝
 東海高校総体 女子クオドルプル 優勝 男子ダブルスカル 3位
 国体東海ブロック大会 男子クオドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(3名)
 女子クオドルプル 優勝 ※岐阜選抜国体出場(6名)
 ※全国高校総体 女子クオドルプル 優勝 男子ダブルスカル 準々決勝進出
 ※世界ジュニア選手権 女子ダブルスカル 11位
 岐阜県高校新人大会 男子クオドルプル 2位 男子ダブルスカル 3位
 男子シングルスカル 3位
 女子クオドルプル 2位 女子ダブルスカル 3位
 男子クオドルプル 岐阜選抜 8位
 ※アジアジュニア選手権 女子クオドルプル 優勝
 中部高校選抜大会 男子クオドルプル 4位 ※全国選抜大会出場
 女子クオドルプル 優勝 ※全国選抜大会出場
- ◆ラグビー部 東海高校10人制交流大会 2位(合同チーム)
- ◆ソフトボール部 岐阜県ソフトボール選手権 2位
 岐阜県高校新人大会 優勝 ※全国選抜大会・東海大会出場
- ◆自然科学部 ※全国高校総合文化祭 自然科学部門 生物部門 文化連盟賞
 岐阜県高校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 優秀賞
- ◆書道部 岐阜県美術展青年部 書道 優秀賞
 岐阜県高校総合文化祭書道展 優秀賞
- ◆美術部 岐阜県高校写真コンテスト 獎励賞2
 岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展 絵画 獎励賞2
 岐阜県高校総合文化祭写真展 獎励賞

平成11年度 全国大会出場

剣道部

全国高校総体 男子個人 3回戦進出
平成11年8月 岩手県

渡 辺 裕 之

各県の予選を勝ち抜いた選手が参加するこの大会は、自分の実力を試す良い機会になりました。岐阜県の選手150名の代表に選ばれたことをとても光栄に思います。

試合は一回戦から苦戦しましたが、三回戦(ベスト32)まで勝ち上がることができてとても嬉しかったです。そして岩手県まで行き全国から集まった人たちの剣道が観戦でき、自分のためになっただけでなく、楽しむことができ、有意義な日を送ることができました。

自分自身、得たことがたくさんあり、ここでの体験を生かして一層、剣道に励んでいきたいと思います。

平成12年度 全国大会出場

全国高校総体岐阜大会

必要とされた私たちの仕事

市 原 三 穂

私の空手道競技の補助員としての役割は「記録・配布係」でした。その仕事の内容は、大会の進行をスムーズにするため選手の名前を書いた紙をまわしたり、結果を速報したりするものでした。

担当の先生から「大会を上手に進行するためにとても大切な係だから、頑張ろう」ということを言われましたが、その時は、あまり実感が持てないでいました。なぜなら、私達の仕事はほとんど一つの部屋から出ることではなく、空手道の選手や大会の様子を直接見る機会が少ないので、仕事の実感がわからいでいたからです。

しかし、大会終了後、偶然選手の人々と話すことができました。彼等は試合に負けた悔しさや、上位に進めたうれしさで泣いていました。

「この人たちの試合を支えて、運営をスムーズに進行させたのは、私たちの仕事によるものなんだ。」ということを思ったとき、なんだか充実した気分になりました。

補助員の仕事はとても大変でしたが、普段は直接関わることのできない空手を見ることができ、また〈インターハイ〉という大きな大会を運営する手助けができ、すごく満ち足りたいい思い出になりました。

放送部員として参加して

福 井 梢

私は、8月1日に行われた総合開会式のアナウンスを担当しました。昨年6月に、式典アナウンサーの選考会

が開かれ、7月に私を含む11名がアナウンサーに決定しました。結果発表が予定よりも遅れ、期待と不安が入り混じった毎日を送っていた私にとって、合格を知った時の興奮は忘れられません。9月からは、毎月1回、プロのアナウンサーの方にアナウンスの基礎から丁寧に指導していただきました。広い競技場で、たくさんの人々に、いかに気持ちのこもったアナウンスができるかが一番苦労した点でした。7月に入ると、翌日のリハーサルに備えて泊まりこみで練習する日もありました。朝6時過ぎからのアナウンスは体力勝負です。数々の苦労を乗り越えて迎えた8月1日、総合開会式当日。練習を積み重ねて自信もつき、緊張することもなくアナウンスできました。自分の一声で、全国から集まった選手・観客のみなさんの心を一つにするお手伝いができたことは、自分の未来の1ページを切り開いてゆく大きな自信になりました。最後になりましたが、長い間ご指導くださいました先生方、NHKの清水・山極アナウンサー、岐阜放送の神田アナウンサー、本当にありがとうございました。



平成13年度 国際大会出場

ボート部

世界ジュニア選手権 女子クオドルブル7位
平成13年8月 ドイツ

世界を相手に漕ぎました

奥 村 麻 友

〈Aファイナル〉出場。私を含む、今年の〈世界ジュニア選手権〉女子日本代表4人の目標はこれでした。この目標を目指し私たち4人は約2カ月間、必死に頑張ってきました。過去にジュニアの日本クルーが〈Aファイナル〉に残ったことはありません。まして、過去のクルーに比べ体力レベルも低めで、それぞれが個性的な“漕ぎ”をしていた私たち4人にとってそれは夢に近いものでした。

7月半ばの国内事前合宿を終え、7月の下旬に私たちはイタリアへ渡り、そこでシニアチームと合同合宿(日本との時差や気候の違いに体を慣らすために試合会場に近い地域で行う合宿)に入りました。イタリアでの練習による疲労と今までにない長期間の合宿生活、慣れない海外生活のストレスはピークに達していました。そんな中で喧嘩もしました。何度も何度も日本に帰りたいと思いました。それでも私たちはそれを表に出さず、「自分たちはボートを漕ぐためにここまでできているのだから」と個人のことは後まわしにして、ボートのことのみ考えるようにしなければなりませんでした。決して雰囲気がいいとは言えませんでした。

私たちはその状態でドイツへ移り、そして会場入りしました。そこで私たちは初めて他国のクルーを見、そして、練習とはいえ、その速さや完成度の高い“漕ぎ”を目の当たりにして、自分がこれまで小さなことに満足していたことを改めて知りました。私はそれまで、自分でも気付かないうちに日本代表になれたということのみに満足してしまっていたことを知ったのです。

そこからの集中力は後で考えてみると、自分でも驚くほどでした。会場入りしてから約一週間後、いよいよ大会が始まりました。

一日目、予選。同じ組に優勝候補と言われるドイツがいました。6艇中上位1艇が〈Aファイナル〉への出場権を得ます。今までの成果を出そうと必死で漕ぎました。結果は5位。世界のレベルの高さを感じさせられましたが、落ち込んでいる暇はありません。次の日の敗者復活戦で2位以上なら〈Aファイナル〉へ行くことができるのです。

敗復日。昨日と同じように順調にスタートダッシュを決めました。コース内は風が舞っていました。結果は3位。ゴールしてすぐに自分たちが3位だったということを知り、ショックでした。しかし、結果がどうであれ、チャレンジし、精一杯やりきったことに私たちは満足していました。夜のミーティングでその日の反省をし、残された〈Bファイナル〉で絶対に1位になろうと誓いました。

最終日、〈Bファイナル〉。ここで1位になれば総合で7位となり、過去の日本代表クルーの最高順位に並びます。

しかし、実際のところ、私たちはすでにタイムや結果について全く頭にありませんでした。自分たちにできる最高のパフォーマンスをしよう、考えていたのはそれだけです。それまで耐えてきた厳しい練習、意見のすれ違いを乗り越えたこと、みんなの応援、すべてのことが私たちの自信となっていました。出艇前のミーティングでコーチに最後の言葉をいただき、私たちは出艇しました。約2カ月の間、一緒に頑張ってきた4人の最後のレース。いよいよスタート。

すべての力を出し切りゴール、その結果1位。2位のイタリアクルーに4秒近い差をつけてのゴールでした。ゴールから桟橋に向かう間ににあるスタジアムにいる人々に大きな声援と拍手をもらいました。すべてが終わり、2カ月以上の緊張がようやく安心にかわりました。

これらの貴重な経験は自分一人だけの力によってできたのではありません。指導し、励まし、チャンスをくださった先生、応援し、支援してくれた友達、親、そして三年間楽しい時も辛い時も共に支えあってきた9人の仲間、本当にたくさんの人たちのおかげです。私がこの夏経験したすべてのことと、感謝する気持ちを決して忘れず、これからもさらなる飛躍をとげられるよう努力したいと思います。

平成13年度 全国大会準優勝

ボート部

全国高校総体 女子クオドルブル準優勝
平成13年8月 熊本県

北 村 美 穂

2001年夏、〈ひのくに新世紀総体〉。私達はこの大会に向けて、毎日厳しいトレーニングを積み重ねてきました。春の選抜大会では2位に入り、全国制覇の夢がいよいよ目標に変わりました。〈インターハイ〉本番までも、調子を落とし苦しんだ時期もありましたが、諒訪湖レガッタでの優勝をはじめ、出た試合すべてで3位以上の成績を収めることができました。そして、大会直前の合宿はリズムに乗って力強く漕げるようになり、これなら勝てるという自信を持って熊本へ出発しました。

熊本は「火の国」というだけあってとても暑く感じましたが、本番までの配艇練習でも好調を維持することができ、暑さなど全く影響ありませんでした。

そして迎えた8月9日、予選。スタートからうまくいき、スパートを終えた時点ですでに他クルーに差をつけ、その後もリズムにのって漕ぎ切り、大差をつけて一着でゴールしました。一本ごとに他クルーの背中が遠くなっていくのが分かり、レースを楽しむ余裕さえありました。ただ、競っていないうちもありましたが、後半にスピードが大分落ちてしまったので、そこを課題とし、準々決勝に臨むことにしました。

8月11日、準々決勝。去年の大会では、ここで涙をのんだので、気を引き締めてスタート位置につけました。得意のスタート、スパートでトップに出ることができましたが、隣のレーンのクルーとは僅かな差で勝負は終盤に持ち越されました。

750メートル地点を過ぎてラストスパートをかけ、そこで突き離して1着でゴールしました。今までの試合の中でも一番と言つていいほど会心のレースであり、さらに全クルーの中でのトップタイムというおまけ付きで、その夜のミーティングでは、準決勝も、今日のレースの再現をするという目標を立てました。

8月12日、準決勝。さすがに準決勝だけあって、強豪校がそろい、緊張も高まってきた。同じ組には選抜大会で私たちが大差をつけられ負けたクルー（つまり選抜大会の優勝クルー）もあり、緊張からか、レース開始までのアップでも多少ぎこちなさがありました。スタートは成功し、トップでコンスタントに入ることができましたが、途中でばたつき、リズムに乗り切れませんでした。それでも、なんとか終盤までトップをキープし、あと150メートルでゴールという所で、クルーの中の一人が腹切りをし、その瞬間、艇は失速し、1クルーには抜かれ、500メートル地点では5秒以上の差をつけていたクルーにも瞬く間に追い付かれ、あっという間に優勝どころか決勝進出さえ危ない状況に追い込まれました。幸い、すぐに漕ぎ出すことができ、残り100メートルほどを無我夢中で漕ぎました。ゴールしてから結果の放送が流れるまで、「こんな形で大会を終えるのか…」という悪い予感が頭をよぎり、不安で一杯でした。結果は写真判定で2位。本当に僅かな差で無事に決勝に進むことができました。はらはらしましたが、腹切りをした本人だけが悪いのではなく、硬くなっていた全員に責任があるということで、このことがきっかけで硬さもとれ、集中して決勝を迎えることができました。

そしてついに決勝。準決勝と決勝は同日にあるため、体力的に厳しいはずなのですが、一日に2本漕いでもたった2キロ。「2本を全力で漕げるだけの練習をしてきた」という自信から疲れはほとんど感じていませんでした。また、決勝までの短い休憩時間に、惜しくも決勝に進めなかった他校の友達が、応援に来てくれ、大きな力をもらいました。入念にアップを済ませ、スタート位置についた時、あんなに憧れていた〈インターハイ〉の決勝の大舞台だというのに、思っていた程緊張することもない自分がそこにいるのが不思議な気持ちになりました。しかし、それも一瞬で、優勝するんだという全員の強い気持ちが最高頂に達した時、「よーい、ゴー」の声と一緒に一斉にスタートしました。今まで積み重ねてきたことを全部ぶつけ、無心で漕ぎました。レースは接戦で、どのクルーが1位になんでもおかしくない状況でした。しかし、選抜大会の優勝クルーが一步抜け出し、私達は終始2位でそのままゴールしました。この時もゴールした時点では正式な順位は分からず、ただ優勝できなかったという事実だけははっきりと分かっていたので、茫然とし、そして悔しくて声を上げて泣きました。桟橋に戻ってきて、そこで結果を知らせる放送が流れ、準優勝であることを知りました。「おめでとう」と言って岐阜から熊本まで応援に来てくれた同じ部の3年生の子が泣いていて、それがうれしくて、悔し涙と共に、うれし涙も出ました。私たちの〈インターハイ〉はこうして幕を閉じました。

優勝を目指してきただけに、悔しさも多少あります。しかし、一つの目標に向かって一致団結して汗を流してきた日々とい

うのは、何物にも変えがたく、大切な宝物となりました。このような貴重な体験ができたこと、そして加茂高ボート部の一員として活動できたことを感謝し、同時に誇りに思います。私たちが成し遂げられなかつた優勝の夢は、後輩に託します。努力は裏切らない、そう信じて今以上に頑張ってほしいです。

最後に、技術面、精神面など様々な場面で私達を支えてくださった先生方、先輩方、試合会場が遠い時もわざわざ応援に来てくださった保護者の方々、そしてなにより三年間共に頑張ってきた仲間、本当にありがとうございました。



平成13年度 全国大会出場

剣道部

全国高校総体 女子個人3回戦進出
平成13年8月 熊本県

宮崎春香

〈インターハイ〉は、各都道府県での予選を勝ち抜き、その出場権を得なければ大会に出場できない。剣道競技の団体では男女各1チーム、個人では男女各2名ずつと出場枠が決まっている。そういう厳しい県予選で優勝し、〈インターハイ〉という大きな大会に、「まさか自分が出場できるなんて…。」と思っていたので、試合当日は緊張し過ぎず、無心で戦うことができた。

結果は3回戦敗退。負けた時はやはり悔しかったが、全国のレベルを自分の目で見て、体で感じることができたことは、自分にとって大きな収穫である。そして、〈インターハイ〉の期間は、とても楽しく有意義な毎日だったと思う。

この貴重な体験を経て、今までの練習に対する自分の姿勢等について反省できた。また反省だけでなく、次への大きなステップのための課題も明確になった。

〈熊本インターハイ〉で学んだことを決して忘れず、これからも剣道に励んでいきたいと思っている。

平成14年度 全国大会出場

手話部

全国高校生の手話によるスピーチコンテスト
奨励賞

平成14年8月 東京都

小栗 皆実

私は、2002年8月24日、東京有楽町で聞かれた〈第19回全国高校生の手話によるスピーチコンテスト〉に出場することができました。手話部に入部した頃から憧れていた全国大会に出場することになり、嬉しさと同時にプレッシャーも感じました。

全国大会に出場するためには、二つの予選を通過しなければなりませんでした。一次審査は作文です。今年のテーマは、「私の生まれた町」「私の宝物」「私が考える福祉」の三つでした。私は「私の宝物」をテーマに選び、2年生の時の学校祭でのことを書くことにしました。「17才のオルゴール」というエッセーに出会い、障害がある著者の生き様に感動したこと、そしてその感動を舞台にと、部員みんなで頑張って成功させたこと、その経験が私の宝物であることを作文にしました。私は作文がとても苦手なのですが、顧問の先生や友達に手伝ってもらい、なんとか書き上げることができました。

無事に一次審査を通過し、次は二次審査です。二次審査は手話技術のビデオ審査です。「高校生と無人駅」という課題文が与えられ、それを手話で表しビデオに収録して提出するのです。ビデオ撮りは緊張して手が震えましたが、手話表現だけでなく、表情や目線にも注意して手話を表しました。

二次審査を通過し、いよいよ全国大会です。大会には全国から15人の高校生が出場しました。私は、「スピーチができるだろうか」「審査員の質問にちゃんと答えられるだろうか」など不安でいっぱいでした。しかし、先生が「だいじょうぶ」と言ってくださったので、落ち着いてスピーチすることができました。質問にもしっかり答えることができ、終わった後は満足感でいっぱいになりました。その上奨励賞まで受賞することができ本当によかったです。

大会終了後は出場者や関係者との交流会がありました。そこでは他の高校生たちとボランティア活動の情報交換ができ、大変勉強になりました。また、聴覚障害者の役員の方たちとも話すことができ、とても楽しくて有意義な時間を過ごすことができました。

手話部に入部し、私はこの全国大会出場などいろいろなことを経験することができました。3年間、楽しく手話部の活動ができたのは、顧問の先生や部の友達みんなのおかげだと思っています。この手話部での経験は私にとって大切な宝物になっていると思います。これからもたくさんの本や人に出会い、いろいろな経験をし、この宝物を増やしていきたいと思います。

平成14年度 全国大会出場

美術部

全国高校総合文化祭美術・工芸展 出品
平成14年8月 神奈川県

星川 真喜子

去年の6月、初めてのデザイン画を書き始めました。テーマは自由。何を描けば良いのやら見当もつかず、悩んでいたある日、ある三年の先輩の過去の作品を見せてもらいました。その絵は、本当に手間を惜しまず一筆一筆丁寧に描いてあり、これが高校生の絵なんだと感動するとともに、私もこんな風に描いてみたいと思うようになりました。

そしてそのとき描いた絵が〈岐阜県高校総合文化祭美術・工芸展〉で最優秀賞をとり、全国の〈総合文化祭〉に出品することになったのです。まだ高文連という言葉さえ知らなかった頃で、受賞の話を聞いた時はほとんど実感はありませんでしたが、実際神奈川県で行なわれた総合文化祭へ行き、こんな大きな大会に自分が出品できるなんて光栄だと思いました。また、そこでは多くの人の作品に触れることができ、とてもよい経験になりました。

絵をはじめ芸術はスポーツと違い、誰が見てもすばらしい、という客観的な評価ができるない曖昧さがあると思います。しかし反面、表現には限界がありません。自分の作品も、1年経った今見ればまだまだ不足があると感じます。前回の作品よりも次の作品、その作品よりも次の作品…と、これからも限界なく自身の絵を高めていけたらいいと思います。



平成14年度 全国大会最優秀賞

放送部

全国高校放送コンクール 最優秀賞
平成14年10月 東京都

伊藤 成美

昨年5月に中国で起きた、瀋陽総領事館亡命者駆け込み事件。この事件をきっかけとして、私たちは杉原千畝というすばらしい外交官が郷里にいたことを知りました。ユダヤ人6000人もの命を救った、正義と良心の外交官、杉原千畝氏。その人物を知ったとき、私の心の中に驚きと「杉原千畝を全国の人たちにも知ってほしい」という気持ちが

湧き上がりました。

そこで、夏休みに、暑さと雷雨にも負けず、同じチームを組んだ水野由美子さんと一緒に、八百津ヘインタビューをしに行きました。人にインタビューをするのは初めての体験で、二人とも八百津町役場の前で硬直。気合いを入れ、やっとの思いで役場へ入りました。

そこで私たちは、役場の産業振興課の石井さんにお会いして、杉原さんに関する話をたくさんお聞きしました。次に、まだ緊張がほぐれないまま〈人道の丘〉という場所に建つ杉原記念館へ足を運びました。私達の他にも、たくさん的人が見学に来ていて、有名な方などと改めて杉原さんを見直しました。杉原さんについて町の人にインタビューをしましたが、照れられてしまい答えてもらうだけでも、一苦労でした。

その他に総領事館事件に関する情報を集めるために、何社もの新聞を読んで、事件を報じるマスコミの対応ぶりを比較したり、考えたりしました。八百津町でのインタビューと新聞記事をもとに原稿を書く作業を、水野さん、塙原彩子さんと一緒に力を合わせてやりました。3人で知恵を絞って書き始め、その日の作業が一区切りした頃には、夕日が沈みかけていました。

「十枚書ききった。」と思ったのも束の間、細かい直しの作業が始まりました。先生と一緒に、毎日外が真暗になるまで学校に残り、休みの日にも指導していただきました。

正直言うと、途中で投げ出したくなかった時もありました。そんな気持ちと戦いながらやっとの思いで作品ができあがった時には、賞のことなどは頭になく、やりきたという気持ちでいっぱいになりました。

それから二ヶ月後、突然先生から電話がかかってきました。

「最優秀賞、受賞したよ。」

私は、信じられず、先生に何度も確かめてしまいました。それから、だんだんうれしさがあふれてきて、思わず叫んでしまいました。

あの時の驚きと感動は、今でもはっきり覚えています。高校一年の夏に取り組んだ作品で、こんなにすばらしい賞をとれたことで、自分の中に自信が生まれ、仲間との絆もより強いものになりました。そして、インタビューを通してたくさんの人と出会うことができ、いい経験になりました。

今、心からこう言えます。

「この作品をつくれてよかったです。」

まし合いながら3年間頑張ってきました。しかし、部活動の時間は限られていて、自分たちの納得いかない時ときは帰宅後、可児の弓道場で弓を引くことが何度もありました。

1年生の時は選手に選ばれず悔しい思いをしましたが、2年生の時には先輩方のチームに加わり、団体戦で県2位、〈東海大会〉3位になり、鹿児島との交流試合にも参加させていただき、全国大会への憧れも一層強くなりました。

3年生になり、〈インターハイ〉のかかった最後の試合。私は初めて個人として県大会へ出場できました。団体戦とは違い全てが自分自身にかかっています。プレッシャーが重くのしかかり、不安もありましたが、今までの稽古が自信へと変わり、仲間が私を信じて応援してくれたので県大会で優勝し、〈東海大会〉、〈インターハイ〉の出場が決まりました。そしてみんなが駆け寄ってきて喜んでくれたので、嬉しさで一杯になりました。

今年の〈インターハイ〉は長崎で行われました。練習会場で他の県の選手を見ていると胸も高鳴ってきました。落ち込んでいる人、射型がきれいな人、的中が安定している人、私よりも優れている人は大勢見られ、緊張感と期待が入り乱れました。試合会場は体育館の中という、これまでに経験したことのない環境で戸惑いました、予選は四射三中で通過なのですが、試合前日の公開練習では二中で通過本数には一本足りませんでした。

試合当日。練習会場で少し弓を引き、調子を整えました。徐々に私の番号が近づき、召集され、控えに入り、自分を落ちさせようとしたが、逆に緊張感が高まってきた。しかしいったん射位に立つと落ち着いて二本目まで丁寧に引くことができ、的中させました。自分の中で「よしつ。予選通過まであと一的。手元にはまだ矢は二本ある。」と思い、気が緩み欲が出てしまったため、予選通過はなりませんでした。目前に迫った予選通過に手が届かなかったことももちろんですが、何より自分に負けたことがとても悔しかったです。〈インターハイ〉に出場してまだまだ未熟だということを痛感しました。これをステップに、私はより上を目指してもっと成長していきたいと思います。

三年間の部活動を通して、私はたくさんの素晴らしい仲間と出会うことができました。辛い時も嬉しい時も共に過ごした仲間は、私のかけがえのない宝物です。先生、仲間、家族、多くの人々に支えられて、私は高校最後の夏に最高の思い出ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。そしてこれからは、勝利へ向かう後輩たちを温かく見守っていきます。頑張ってください。



平成15年度 全国大会出場

弓道部

全国高校総体 女子個人

平成15年8月 長崎県

大 平 美 咲

私は弓道部に入部する時、同じ中学の友達と「みんなで〈インターハイ〉へ行こう」と約束し、競い合い、助け合い、励

平成16年度 国際大会出場

ポート部

アジアジュニア選手権 女子シングルスカル優勝
岐阜県
世界ジュニア選手権 女子クオルドルブル出場
スペイン

若井 江利

私は運命の転機が訪れたのは、6月12日のことでした。今までクルーとしていた私にとって、熊本で行われた選考会は初めてのシングルスカルでのレース。この大会は全国のトップレベルの漕手たちが日本一を競う大会です。全員が敵。しかし、私は緊張している仲間をよそにワクワクしていたと思います。予選は意外に落ち着いて漕げたので一着でゴールすることができました。

次の日は準決勝。ここを勝ち抜いたら、日本代表としてスペインで開催される〈世界ジュニア選手権〉に出場する権利が得られます。夜のミーティングで先生に「このチャンスを絶対に逃がすな」と言われました。そう言われて初めて、いまの自分が置かれている立場に気づき、明日が勝負なのだとと思いました。朝目覚めると、ほど良い緊張感と不安が混ざった気持ちでした。しかし、一緒に来ているメンバーがとても明るく振舞ってくれたので、いつもの私でいることができました。

レースは2艇の勝負で、今までにない接戦でした。後から聞いた話では1500メートルの時点では一艇身ほど負けていたそうです。しかし最後まで粘り、気づいた時には1位でゴールしていました。そして私はそのままアジアジュニアのための事前合宿に参加することになりました。

私は今まで大した実績もなく、合宿にも参加していなかったため、ほとんどの人が初めて話す子ばかりで戸惑いました。でも、加茂高のみんなが応援のメールをしてくれたり電話をかけてくれたりして、とても元気付けられました。慣れない環境で辛いこともありましたが、4日間の合宿を経て岐阜に戻りました。みんなと“漕ぎ”が合わなかったため、2週間後に岐阜の長良川で行われるアジアジュニア選手権はシングルスカルでの出場となりました。違う学校の子と合宿をしてみて、自分の技術の無さに情けない思いで一杯でした。小山に帰り、合宿で指摘されたことを重点的に練習しました。ダブルスカルで〈インターハイ〉への出場が決まっていましたが、シングルスカルで練習させてもらえたおかげで、自由に課題練習に取り組むことができました。

そして、迎えた2度目のシングルでのレース。舞台はアジア。今回は岐阜県で開催ということでリラックスして臨めたと思います。出場国が6カ国ということで予選はありませんでした。本戦の2日前にトライアルレースが行われ、スタートは出遅れたものの後半で抜かし、1着でゴールしました。あまり緊張はなく、いつもと変わらずに漕げたと思います。その後みんなで神社へ行き、本戦でも勝てるよ

う御参りしてきました。

いよいよ本番。加茂高から私のためにバスを出してみんなが応援に来てくれました。出艇前に希恵が私の所へ会いに来てくれたのがすごく嬉しくて、気持ちも楽になりました。スタートで出遅れることは分かっていたので、以後まで全力で漕ぎきることを目標にスタートに着きました。そして発艇。韓国の選手がスタートから思いっきり飛び出して500メートルで差は4秒。予想以上に差が開いたのはビックリしましたが、横のほうから「若井ファイト！！」「江利ファイト！！」という声援が聞こえ、前を向き自分の“漕ぎ”に集中することができました。500メートル地点で聞こえた声援が絶えず聞こえてきて、みんなが伴走してくれているのだとわかり、とても勇気付けられました。ありがとうございます。1750メートルで何とか追いつき、最後の一人を抜くことができました。そのままラストスパートに入り、トライアルレースと同じ一着でゴールしました。思わずガツツポーズを決めた覚えがあります。

〈アジアジュニア選手権〉が終わりましたが、ホッとする間もなく世界ジュニアへ向けての合宿が始まりました。私は舵なしクオドに入ることができ、嬉しさと不安がありました。熊本での合宿のとき、クルーのメンバーと漕者が合わず、また艇のスピードの妨げになってしまふかもしれないと思ったからです。しかし、コーチの指導のおかげで合宿が終わりに近づくにつれ、クルーにまとまりが出てきたと言ってもらえるようになりました。この感覚を忘れず、〈Aファイナル〉を目指すと決意し、スペインへ出発しました。

試合会場に着き、艇をリギングし、コースを周りました。初日は外国の艇もなく、広々していました。とてもきれいな場所で、鳥がブイにとまっていたり、子供が水遊びをしていたり、のどかでした。遠征のメンバーとも仲がよく、レースへの緊張感も高まってきました。予選は“一杯上がり”だったので、レース感覚を掴むために1000メートルからは8割の力で漕ぎました。予選の感じから、〈Aファイナル〉も手の届くところまで来ていると思いました。今まで日本の女子のジュニアチームは〈Aファイナル〉へ行ったことがなく、〈Aファイナル〉へ行くことが目標でした。そして敗者復活戦。6クルー中4クルーに入れば、〈Aファイナル〉に出場することができます。私は、ローアウトする気で、最初から全力で行きました。しかし、私たちがどれだけ全力で漕いでも、外国の艇との差は縮まることはなく、結局6着でゴールしました。リーチや体格の差と言つてしまえばそこまでですが、〈Aファイナル〉へ行くクルーは倒れるまで漕いでいました。私はどこかで限界を作ってしまったように思います。これが世界のレベルなのだと痛感しました。

この2カ月の間に私はとてもたくさんの経験をさせてもらいました。また、ここを転機に新たな自分を見出し、大きく変わったと思います。ボートというスポーツに出会えた私は幸せです。最後になりましたが、いつも近くで支えてくれた先生、ポート部の仲間、保護者の方々、本当にありがとうございました。また頑張ります。

平成16年度 全国大会優勝

ボート部

全国高校総体 女子ダブルスカル優勝
平成16年8月 広島県

井 戸 希 恵

〈インターハイ〉優勝！それは私達にとって最大の目標であり、この試合に勝つべく日々辛い練習に励んできたと言っても言い過ぎではないと思います。思えば3年生になってから時が経つのがとても早く、あっという間に〈インターハイ〉という大舞台まで来てしまいました。江利が〈世界ジュニア選手権〉出場を決めたことにより、2人で練習することがほとんどできず、広島で半月ぶりに江利と再会し、そのまま試合に臨むという前代未聞のスケジュールに不安でいっぱいでした。

そして迎えた当日。対戦相手は、優勝候補と言われていた日田三隈高校でした。試合前の私たちは練習できていない不安からか弱気で、1位でなくていいくから、とにかく予選突破を目指しスタートにつきました。しかし、スタート直後、私たちの艇はぐいぐい進んでいき、2位に8秒差をつけトップでゴールしていました。自分でも信じられなかつたけれど、順調な滑り出しに満足感でいっぱいでした。

しかし、それもつかの間、長旅からの極度の疲労で江利が体調不良を起こしてしまい、食事が食べられない状態になってしまいました。苦しんでいる江利に何もしてあげられない自分に腹が立ち泣いたこともあります。それでも江利は、試合になるとそんなことを忘れさせてくれるような気迫と根性で、私を引っ張っていってくれました。そして準々決勝。「このレースが今後のレースを左右する最も重要なのだ」と先生に言われ、私たちはスタートからとばしていきました。事実上の決勝戦とまで言わされた試合をものにし、準決勝へと駒を進めました。

準決勝は、スタートで美方高校に出られたものの、落ち着いて艇を進め中盤、相手の失速と同時に一気に抜いていきました。

そして決勝。私たちは、補欠兼マネージャーとしてついてきてくれた絵美に優勝を誓い出艇しました。あまりの緊張からガチガチになってしまっていた私は練習中にミスをしてしまいました。その時の江利の「大丈夫！落ち着いて。」という言葉に私は自分を取り戻すことができ、クルーとしてまた一つ大きくなれたと感じました。スタート位置につき最後の言葉を交わし、スタートコールを待ちました。そしてスタート。私は今までの全てのものをぶつけ、ただ江利の背中だけを見て無我夢中で漕ぎました。スタートから出た私たちは、完璧なレース展開でゴールへと飛び込みました。夢にまで見た〈インターハイ〉優勝です。うれしくて、大粒の涙がこぼれてきました。陸に上がると絵美も泣いて祝福してくれました。この瞬間本当にボートという競技を続けて良かったと思いました。こうして、私たちに最高の思い出を残して〈全国高校総体〉は幕を閉じました。

平成17年度 全国大会出場

ラグビー部

国民体育大会 岐阜県選抜 7位
平成17年8月 岡山県

佐 藤 賢 太

5月、6月にわたって行われた〈高校総体県予選〉も終わり、加茂高ラグビー部を引退して数日経ったある日、岡山国体の県選抜選手に選出されたと顧問の先生に知らされました。GWに行われた〈岐阜県ラグビー祭〉に〈岐阜県選抜〉の一員として出場し、京都の強豪校である伏見工業から1トライをとったこともあり、自分の中ではこの召集はある程度想定範囲内でしたが、大変うれしく思いました。

しかし、受験勉強や体育祭応援団を掛け持ち、さらにラグビーを続けるということが果たしてできるのか、とても不安になりました。周囲は当然参加し、活躍するだろうと期待してくれていましたが、私にはそれがプレッシャーになったのも事実です。でも、一生に一度のチャンスだと思い、本国体に向けて全力を出し切ろうと心に決めました。

初めての合同練習が行われました。他校の生徒ばかりで緊張したのを今でも覚えています。監督やコーチの先生方の挨拶があり、その後ポジションが発表され、私はやったことがないウイングというポジションを任せられました。びっくりしたけれど、なんとかなると思って開き直ることにし、その勢いでメンバーとの連携も取ろうと思いました。学校は違ってもそこは同じラガーマン、すぐ仲良くなれました。

その後、数回合同練習を行い、夏休みにはラグビー合宿のメッカ、長野県にある菅平にて5日間の合宿を行いました。数百以上もあるグラウンド、専門店の多さ、合宿を行っているチーム数、初めて訪れる私にとっては驚きの連続でした。滞在した5日間は私にとってとても貴重なものになりました。それは全国の強豪チームと対戦することができたからです。関東の名門東京農大二高、慶應高校、九州の熊本西、そして関西は昨年度花園優勝の啓光学園でした。戦績は計5試合行い、4勝1敗という素晴らしい結果で終えることができ、大満足でした。勝負の厳しさは勿論のことですが、何よりも基礎基本が大事だということを学びました。その土台がしっかりした上で「勝ちたい」という気持ちを加えることが大切だということを再確認させられ、大きく成長することができました。

〈国体東海ブロック予選〉が近づいてきました。東海4県で本国体の切符は1枚、近年は愛知が続けて出場しており、今年度も前評判は高かったのですが、岐阜は「何が何でも岡山国体」をスローガンにし強く団結しました。

予選当日、1回戦の相手は静岡でした。負ける気は正直しませんでした。しかし、この余裕がモチベーションの低さにつながり、勝ったものの反省点だらけでした。そしていよいよ決勝戦、やはり相手は愛知でした。試合前のミーティングで試合展開の確認、そして意思統一を行い臨みました。キックオフの笛が鳴り試合開始。前半があっという間に過ぎ、前半終了間際、リードされ、さらに追加点を奪われそうな場面で、相手パスをインターセプトし逆転のトライを決めました。流れに乗った岐阜は後半一気に突き放し、見事勝利し、国体出場を決めました。

〈岡山国体〉本番を迎えるました。東海予選とは比較にならない緊迫した雰囲気。自分の置かれた立場の重大さにそのとき気付きました。岐阜県代表として恥じないプレーをしようと改めて決意しました。

1回戦は新潟との試合。緊張のせいか岐阜は本来の姿とはほど遠く、結果は12対12の同点。2回戦進出は抽選で決められました。運良く当たりくじを引き、2回戦に進むことができました。

2回戦の相手は東京、かなりの強敵でした。ウォーミングアップから気合いが入り、心身ともに良い状態で臨めました。そして、試合開始、先制点を決められ焦りました。力の差は確かにありました。自分の持ち味である足を生かし、2トライを挙げることができました。しかし、逆転するには至らず惜しくも敗れました。

そして、その後5・7位決定戦でも岩手の固いディフェンスにノートライに抑えられ敗戦、7位という結果で終了しました。悔いが残らないと言えば嘘になりますが、自分なりに納得がいくプレーができ、とても良い経験をさせてもらいました。

私の高校でのラグビー生活は終わりになりますが、一緒につらい練習を乗り越えてきた加茂高ラグビー部のみんな、岐阜選抜のチームメイト、指導してくださった先生方、陰で支えてくれた家族、全ての人のおかげだと感謝しています。ありがとうございました。

最後に後輩へ。志を高く持ち、内面から鍛えれば絶対に強くなれる。私も社会人チームに入りプロになるのを目指に頑張るから、おまえらも頑張れ。加茂高ラグビー部に栄光あれ。



平成17年度 全国大会出場

放送部

NHK杯全国高等学校放送コンテスト 準決勝進出

平成17年 東京都

全国高校総合文化祭放送部門 優秀賞

平成17年7月 青森県

亀谷竜矢

去年の〈NHK杯〉全国大会。全国大会に出られた喜びだけで満足していた自分は、最初の準々決勝で敗退してしまいました。しかし、来年のために勉強していくという気持ちで聴いた決勝10人のアナウンスに私は衝撃を受け

ました。それは、自分の「ただ読むだけのアナウンス」とは違い、聴いた後に、「心が暖かくなるようなアナウンス」でした。「相手に伝える」ものであるアナウンスの本質が現れていたように思います。自分と全国レベルとの距離を知るとともに、もっと自分のレベルを上げたいと思い、それからはそれまで以上に真剣にアナウンスと向き合うようになりました。

決勝10人のアナウンスの良さはどこにあるのか?それは、文章を声に出す「表現力」とともに、全身全霊を注いで作っていくアナウンス原稿の「原稿力」にあるのだと思います。自分が好感を得るものを取り材し、その取材を通して素直に感動したことを伝える。そういった、伝えたいと心から思う気持ちが、決勝10人のアナウンスには現れていたように思います。そこで私も、原稿作りに力を入れていきました。

私は今年、〈NHK杯〉と〈全国高校総文祭〉の2つの全国大会に出場し、2つの原稿を作成しました。1つ目の〈NHK杯〉では加茂高校野球部の取材をしました。加茂高野球部には他の高校にはない独特な伝統があり、それが強さの源となり、中濃地区の強豪として名を馳せています。主将の後藤君、顧問の内海先生に忙しい中、取材に付き合っていただき、加茂高野球部の魅力を伝えられる原稿を作ることができました。また、2つ目の〈全国高校総文祭〉の原稿では、可児市にあるヤイリギターを取材しました。ヤイリギターは職人技による手作りをモットーにギターを作っている会社です。実際に社長さんと職人さんから話を聞いて、ギター作りに懸ける情熱を感じ取ることができました。特に社長さんの口から出た「私はたわけの一つ覚えでギターを作ってきた。ギター作りなら私は世界チャンピオンだよ。」という自信満々の言葉が私の心の中に強く残り、ヤイリギターのことを全国の人に伝えたいという気持ちが湧いてきました。今まで、いくつものアナウンス原稿を書いてきましたが、心から感動し、自発的に「伝えたい」と思えたのは初めてでした。

〈NHK杯〉、〈高校総文祭〉とも全国で入賞できそうな原稿が出来上がり、次に、読む練習に入りました。大会に出場するにあたって、出場者は何十回、何百回と同じ原稿を読んで練習することになります。その中で、伝える側が文章に飽きず、常に初めて聴いたかのような新鮮さを持って練習することが大切です。前述の決勝10人の表現力の素晴らしさはその新鮮さを忘れないことにあると思います。私も大会の直前期は朝4時起きで練習するなど、嫌気がさすほど原稿を読みましたが、常に新鮮さを忘れず、客観的に自分のアナウンスをチェックするように努めました。その効果があったのか、普段はまったく褒めない顧問の奥田先生から「もしかしたら入賞できるかもしれないね」と言われ、自信を持って大会に臨むことができました。

そして迎えた全国大会。初めは東京で開かれた〈NHK杯〉です。去年は東京の高層ビル群に圧倒され、大会に臨む前から気合い負けしていましたが、2年目の今年は余裕を持って、最初の準々決勝を迎えられました。「絶対に準決勝、決勝に行くぞ。」そう心の中で思いながら原稿を読みました。その思いが通じたのか、翌日の結果発表で準決勝

進出を聞きました。去年準々決勝で敗退した私にとって、準決勝は未知の領域です。自分の原稿とともに準決勝課題が課されるので、出場者の「本当の表現力」が試されることになります。そして本番。準々決勝よりも広い会場で行われている上、壇上に上がるのが強豪ばかりだと考えると、とたんに緊張してきました。しかし、「絶対に決勝に行くぞ」という気持ちで緊張を打ち消しながら読み始めました。

「49番、亀谷竜矢」自分で作った原稿はなんとかスムーズに読むことができました。しかし、課題原稿に入った途端に緊張が再燃し、ミスはありませんでしたが、伝わる読みができませんでした。そのため、夢だった決勝進出は成りませんでした。しかし、頭をすぐに切り替え、もう一つの全国大会である〈高校総文祭〉に備えました。

〈全国高校総文祭〉は青森県の三沢市で開かれました。これが自分の放送部としての最後の大会だったので気を引き締めて臨みました。そして、本番では取材したヤイリギターの魅力を存分に伝えることができ、自分の持てる力を出し切ることができました。翌日の結果発表。司会の人によって優秀賞(最高の賞)の10人が読み上げられていきました。「19番、亀谷竜矢さん」私は自分の耳を疑いました。ついに目標にしていた全国大会での入賞を果たしたのです。自分の今までの苦労がこの瞬間に報われました。

アナウンサーになりたいという夢を持って入った放送部。〈NHK杯〉、〈全国高校総文祭〉での入賞を目指して頑張ってきた3年間の努力は自分にとっての財産となり、自信になりました。これからも自分の夢に向かって努力を続けていきたいと思います。

最後に、顧問の奥田先生にお礼を言いたいと思います。私の夢について真剣に考えていただき、夢の実現に近づけていただきました。もし、奥田先生との出会いがなければ、アナウンサーになるという漠然とした夢を今頃あきらめていたと思います。奥田先生、本当にありがとうございました。



平成19年度 全国大会優勝

ボート部

全国高校総体 女子クオルドルプル優勝

平成19年8月 佐賀県

岡田奈央美

私たちは去年の夏に佐賀県で行われた〈インターハイ〉に、男女クオルドルプルで出場しました。私にとって、これが高校生活最後の試合であり、今までずっと目標にしてきた舞台なので、「出場するからには絶対勝ちたい」という思いが強くありました。

春頃からこのメンバーでクルーを組み、“漕ぎ”がうまくいかず悩んだり、クルー内でもめたこともありましたが、一つ一つ乗り越えていき、お互いに絆を深めていきました。そして富山県で行われたインハイ直前合宿では、静かな環境の中で楽しんで練習することができ、すっきりとした気持ちで佐賀県へ出発しました。

三日間の配艇練習があり、艇と水の感触もよく、“漕ぎ”に対する不安を薄れさせることができました。

予選当日の天気はとてもよかったです。午後からの組み合わせだったので、逆風での試合でした。リギングが終わり、出艇前のミーティングで、「予選なので楽しんで漕ごう」と誓いました。気持ちはとても落ちていたので、このままで大丈夫だと思っていたのに、いざスタートしてみると緊張で“漕ぎ”が固くなっていました。このままではヤバイと焦った時、風でオールをとられた勢いで艇に手をぶつけ、その痛みで冷静に戻ることができ、2位に大差をつけて1着でゴールしました。皆でいいレースができたと喜んでいた時に、次の準々決勝の組み合わせを聞いて絶望しました。決勝でしか戦わないと思っていた因縁の猿投農林高校と当たっていましたからです。ずっと勝つことができなかつたため、悪い方向にしか考えられず、弱気になっていました。その時、古田先生がかけてくださった言葉が力強い支えとなり、やってやろうという気持ちになりました。

次の日は敗復が行われるため、レースのない私たちにとっては一日空いてしまうので、大分県の日田高校の練習場で漕がせてもらいました。短い練習時間でしたが、確実に調子が上がっていると実感しました。この一日が私たちにとってとても大きかったと思います。

そして準々決勝当日、2艇上がりということもあり、心に余裕をもって試合にのぞむことができました。レース展開は途中まで負けていましたが、それでも勝てる信じ、一本づつ正確に漕ぎました。そしてレース後半、だんだん視界に猿投の艇が見え、行ける!と思い彩乃のかけ声合団にがむしゃらに漕ぎました。ゴール直前、コンマ差で勝つことができました。本当に嬉しくて、そして何よりも自信につながりました。

ついに最終日。この日は準決勝と決勝の二試合があり、とても気合いの入った一日でした。早朝からエルゴを漕ぎ、試合へのテンションを高めていきました。試合会場に着いてみると、川のコンディションは最悪で、ミスをするクルーが多く、中には転覆してしまうシングルまでありました。そんな中で迎えた準決勝はまた猿投と当たっていました。それでも、昨日勝てたことに対しての自信から、荒波の中でも落ち着いて

て漕ぐことができました。他のクルーがミスをしてスピードを落としていく中、私たちのクルーは一本もミスをすることなく、10秒近く差をつけてゴールしました。猿投との因縁に決着をつけることができました。

そしてついに決勝戦。出艇前に円陣を組み、気合いを入れ直しました。「絶対勝てる。楽しんで漕いでこよう。」浅橋では皆が私たちを送り出してくれました。「笑顔で戻ってくるから。」と約束し、レースに向かいました。

今までの試合の中で一番声を出し合い、気がつくと全艇が自分たちより後ろを走っていました。そしてそのままゴール。試合中の記憶があまりなく、その時はあまり実感がなかったのですが、表彰式を行って初めて、私たちは本当に優勝したのだと確信しました。ずっと目標だったものをつかめたことは、本当に嬉しかったです。

この夏は私にとって、一生忘れられない思い出となりました。そして本当にたくさんの人たちに支えられて、ここまでくることができました。大会期間中、ずっと私たちをサポートしてくれたのぞみとみき。リギングでは本当にお世話になり、また熱心にご指導してくださった古田先生。今まで一緒に戦ってきた男子の皆。遠い所まで応援にかけてくれた保護者の方々。岐阜からずっと応援してくれた部の皆。ボートがなければこんな体験をすることはできなかっただし、この仲間とも出逢えていなかったと思います。私は加茂高ボート部、そしてこの仲間と共にボートを漕げたことを誇りに思っています。

最後に…。

この夏、佐賀県に加茂色の風が吹きました。



平成19年度 全国大会優勝

ボート部

国民体育大会 岐阜選抜 女子クオルドルブル優勝
平成19年10月 秋田県

篠 田 成 美

6月下旬、県内で国体のためのシングルレースが行われ、加茂、恵那、八百津の3校で〈岐阜選抜(チーム古田)〉が生まれました。これまで、他校とクルーを組むことがなかったので、新鮮で楽しみでした。各校のスケジュールや、恵那から加茂まで通うのは大変でなかなか集まっ

て練習することができませんでした。

7月下旬に三重県で東海ブロックが行われましたが、この試合で2位以内に入らなければ国体へ行けません。練習量が少なかったので不安もありながらの試合でした。〈チーム古田〉での初めての試合はコッスクのかけ声にとても気合いが入っており、漕いでいて励まされ気持ちよく漕ぎ切れました。そして国体本戦に繋げることができました。

9月は本当に忙しく、加茂高祭、期末テストと大変でした。週末は集合して短い練習の中、より効果を出すために集中し、毎回力を出し切るよう頑張ってきました。

いよいよ国体開催地である秋田県大潟村にやって来ました。この川は普段練習をしている飛騨川と違い茶色く濁っていて漕いでみると水がとても重く感じて、艇速が全く上がりませんでした。配艇練習が3日間あり、2日目ぐらいから少しずつ調子が上がってきたように思えました。私達〈チーム古田〉の目標はただひとつ。「日本一になる」ことです。〈インターハイ〉で岐阜は、2つ優勝しました。女子クオルドルブルで加茂が、女子ダブルスカルで恵那が。その中の3人は〈チーム古田〉に乗っています。そして漕手4人ともエルゴを回す力があり全国でもそのメンバーをそろえられる県はあと2つぐらいしかいません。その様な実績から「日本一になれる自信もあったし、必ずならなければいけない」と思っていました。

予選の日がやってきました。2位までに入れば準決勝に進め、絶対に1位で上がってこれると思ってました。しかし国体はそんな甘い考えが通じるものではなかったのです。全くレートも上がらなかっただし、声かけがいつもより少なく楽しいレースをすることができませんでした。そして1位は全くライバル視していなかった福島選抜に奪われました。

本当にショックでこれまでにない最低な試合でした。ですが、このレースをしたことによって私達は目を覚ますことができたのです。その日の夜のミーティングで先生に「一番下まで落ちたんやからこれ以上落ちることはない」「周りからの注目もこれで無くなつたからプレッシャーを捨てて次は挑戦者としていくだけや」「緊張していることやすべてのことを楽しんでこう」と言われました。私達は日本一になることしか見ていなくて、楽しむことを忘れていたんだと気づきました。準決勝の組み合わせは他の組より断然よく神様は私達の味方をしてくれていると思いました。

準決勝の日。思いきってオールの長さを短くしました。リギングをしたことによって水も軽く感じるようになりました。やっと「漕げた！」という感触をつかむことができました。無事1位でゴールすることができ、ほっとしました。明日は決勝なのですべてやってきたことをぶつけるだけです。決勝にもなると強豪しかいません。加茂の一一番のライバル愛知県猿投農林高校もいます。

ついに来ました、決勝の日。この日は雨が降っており秋田県の気温は10月でも低く、テントで体を動かし温めました。アップをしてスタート地点に着きました。斜め風が吹いていたため、スタートコールをしている内に船が流されてしまい、何度もスタートをやり直されました。ここで集中を切らさないように私は声を掛けっていました。スタートは横一線でしたが、スタートスパートで遅れをとりました。そこで焦らずに一本一本伸ばしていき、猿投農林高校を抜きました。500mでスパートを入れて私達はどんどんスピードに乗ってきました。ここでやっと愛媛選抜を抜きました。あとは秋田選抜を抜けば日本一です。さすが地元だけあって予選、準決勝とすべてトップタイムを出してきていました。ですが地元クルーに負けるわけにはいきません。ラスト250mにさしかかり、コックスのラストスパートの声で上げました。そこで秋田選抜が視界に入り燃えました。本当にラストはえらくて苦しかったですが諦めず漕ぎ続けました。ゴールをしてみるとどちらが勝ったか分からず早く結果が知りたいという気持ちもあり、また、知る不安もありました。そして出た結果は0.26秒差で勝っていました。みんな涙々で喜び合いました。このレースはボートをやってきた中で一番楽しいものでした。

この様な結果を出せたのも部のみんなの支え、保護者の方の熱い応援、そして古田先生の的確な指導のおかげでした。また今回は民宿ということで長田さん家に泊まらさせていただき大変よくしてもらいました。私はボートと出会って全国に友達の「輪」も広がりました。本当にたくさんの人に出会い、学ぶことも多くいい経験をできました。大学でもボートを続けるのでこの結果に満足することなく更に上を目指して頑張っていきます。

目標は日本一、その中ですべての人・すべての物に感謝し、楽しむこと。すべての体験を通じ気づくことができました。そして、この体験を人生に生かしていくことで、さらに意味のある活動になると思います。次はオリンピック。これが〈チーム古田〉の目指すものです。

平成21年度 全国大会出場

美術部

全国高校総合文化祭美術・工芸展

平成21年7月 三重県

肥 田 混 平

〈全国高等学校総合文化祭〉美術・工芸展に出品した作品を制作を開始したのは、高校2年生の6月でした。私はその時、「良い絵を描きたい。」「〈岐阜県高校総文祭〉に出品したい。」と強く思っていたことを、今でもしっかりと憶えています。その気持ちが芽生えたのは、高校1年生の〈岐阜県高校総文祭〉美術・工芸展でした。そこで、展示されていた加茂高の先輩方の作品がとても素晴らしい、私はその作品に少しでも近づきたいと思ったからです。

しかし、制作の方は決して楽ではありませんでした。1ヶ月半しかない制作期間の中で7月には中間テストもあり、部活と学習の両立の難しさを実感しました。また、作品が完成したのは、搬入当日の朝でした。これらの経験は自分にとって、今後の作品制作において大変自信になりました。

作品は〈岐阜県高校総文祭〉美術・工芸展で優秀賞をいただき、その後、〈全国高校総文祭〉美術・工芸展に参加が決定しましたが、どこか作品が一人歩きしているような感じがして実感が湧きませんでした。また、〈全国総文祭〉の出品する作品が、自分の作品で本当に良いのか戸惑いもありました。しかし、時間が経つにつれて徐々に喜びとして感じられるようになりました。

3年生の夏、〈全国総文祭〉の会場となった三重県立美術館で、全国から選ばれた約400点の作品を鑑賞しました。展示されているどの作品も、個性的であり、また発想が豊かで、非常に質の高いものでした。私はこの作品鑑賞を通じて、今まで体験したことのない強い衝撃を受けました。それは、良い経験となり、現在の作品制作の原動力となっています。

美術室という小さな一室で描かれた作品が何万人という人に鑑賞してもらえたことは、とても大きな意味があると思います。

私は、将来イラストレーターになりたいと考えています。マスメディア等を通じて何千万という人々に見ていただけるような作品を描いていきたいと思います。



平成22年度 全国大会出場

美術部

全国高校総合文化祭美術・工芸展

平成22年7月 宮崎県

木 村 恵 理

私は今回の〈全国高校総文祭〉で大きく二つのことを学びとることができました。

一つ目は、高校生によるすばらしい運営力です。私たちは「ゆとり世代」とよく言われ、様々な不安を抱えてい

ます。けれども今回の大会において、自分たちの実行力を大変強く感じました。開会式や閉会式、ワークショップ、美術工芸展の運営・企画等、様々なことが高校生の力で行われていました。もちろん大人の方の援助があってこそものだということは承知の上ですが、自分たち高校生のパワーにあらためて気付くことができたと思います。

二つ目は、他人との違いを楽しむことです。私は美術部として出席したわけですが、美術作品はその人の感覚、考え、気持ちを反映するもので、他の人の感性と自分とを比べることで、自分自身を見つめるきっかけともなり、自身の向上の糧ともなったと思っています。

板 津 伶 奈

今回、宮崎県立美術館に展示された全国から選ばれた394点の作品は、どの作品も個性的であり、また発想が豊かで、とても感動しました。その素晴らしい作品の中に、私の作品が展示されたのは大変光栄に思いました。講演・講評会では、講師の大泉佳広先生から、作品制作の心構えや技術的なアドバイスをたくさんいただき、大変参考になり今後の作品制作に生かして行きたいと考えています。交流会では、「ピッカンコ Fun! Fan!」というテーマで、都道府県をPRするような「ご当地うちわ」の制作をしました。完成後、全てのうちわが一つにまとめられそれが一つの大きなアートになりました。とても感動しました。今までにない貴重な体験ができて、本当に良かったと思います。

この〈全国総文祭〉に出場できたことは、私1人の力だけでなく、先生や友達、家族の支えがあったおかげです。ありがとうございました。

平成24年度 全国大会準優勝

ボート部

全国高校総体 男子クオルドブル準優勝
平成24年 北信越かがやき総体

杉 山 謙

私たちは去年の夏に北信越で開催された、〈北信越かがやき総体〉に出場しました。

この大会に出場するには、岐阜県の県予選で優勝しなければなりません。しかし、岐阜県のボート競技のレベルはとても高く、県で優勝することがとても難しいことです。私たちはまず、〈インターハイ〉の切符を確実に手に入れるために練習に励みました。

そして、〈インターハイ〉の出場をかけた県予選が始まりました。ここで一つでもミスをして、負けてしまえばそこで終わりです。全国大会に行くことはできません。私はとても緊張をしていました。

レースが始まると序盤は緊張がとれず、なかなか自分たち

の“漕ぎ”をすることができませんでした。しかし、コックスの声を聞くと落ち着き、緊張がとれました。結果は県予選優勝で〈インターハイ〉出場が決まりました。

しかし、部員の中にも〈インターハイ〉に行くことができない人もいます。同じ加茂高の仲間は今まで一緒につらい練習を乗り越えてきて、ここからは一緒に戦えなくなると思うと、つらかったです。私はみんなの気持ちを大切にして〈インターハイ〉を頑張ろうと決意しました。

出発までの間に、川辺で合宿を行いました。そこには、ボートに集中できる環境があり、全員の気持ちが〈インターハイ〉に向けて高まりました。私たちだけではなく、みんなのためにも絶対優勝しようという気持ちが高まりました。そして、最高のコンディションで〈インターハイ〉へ出発することができました。

会場に到着してから3日間は、配艇練習にあてられました。限られたスペースと時間の中でスムーズにリギングするのは難しく、慣れるまで大変でしたが、配艇練習最終日には万全の状態ができあがりました。

〈インターハイ〉の予選のレースは「全力で最後までいこう」と挑みました。スタートから慌てることなく、後半でグッと相手を突き放してゴールすることができました。

次の日は、敗者復活戦で試合がないので、練習の合間の時間を利用し、新潟観光に行きました。自然に囲まれた美しい街並みの中で、岐阜県とは違ういろいろな文化を体験することができました。

次の日は準々決勝でした。このレースも自分たちのレースができた、次の準決勝につなげることができました。

そして準決勝になり、ここで1位でなければ決勝へ進むことはできません。このレースが一番緊張します。レースが始まると、スタートからリードすることができて、その勢いのまま1位でゴールすることができました。とても嬉しかったです。

そのレースが終わりゴールした時に、対戦した相手チームの人たちが、「決勝、頑張ってください！」と、声をかけてくれました。その言葉に感動して「絶対負けられない」と思いました。

決勝になり、今までの練習の成果を出し、悔いのないレースをしようと誓いました。コンディションは逆風と高波でとても漕ぎづらくて何度もミスをしました。スタートでミスをして少し出遅れてしまいました。しかし、みんなで声を掛け合い落ち着いて、だんだん追い上げていきました。しかし、間に合わず2位で〈インターハイ〉のレースを終えました。ただ、悔いはありません。なぜなら、最後まで私たちの力を出すことができたからです。

これが私にとって高校最後の大会となりました。今まで、全国大会なんて縁の無いことだと思っていた私がここまで来られたのは、たくさんの人びとの支えのおかげです。遠くまで応援に駆けつけてくださった保護者の方々、仲間と

して、ライバルとして高め合ったボート部のみんな、サポートを続けてくれたマネージャー、私たちを導いてくださった先生方。そして、新潟の方々。みんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

高校でこのような経験ができる本当に良かったし、今後に役立てていきたいと思います。本当に加茂高ボート部で良かったです。ありがとうございました。



平成24年度 全国大会準優勝

ボート部

全国高校総体 女子クオルドブル準優勝
平成24年 北信越かがやき総体

渡 邁 楓

私は〈インターハイ〉の舞台に舵手付きクオドルブルで二度立たせてもらいました。

1度目は岩手県で行われた〈北東北総体〉です。ボートは競技人口が少ないため、〈インターハイ〉への距離は他の部と比べて近いかも知れませんが、それでも全国への道のりは険しいものでした。その中で2年生ながらも出場できたことがとても嬉しかったです。

結果は準々決勝へ進出し、そこで敗退というものでした。2年生2人と3年生3人で挑んだこの大会。皆が初めて経験することばかりで不安でいっぱいでした。それでも最後の最後まであきらめず声をかけ合って漕ぎきることができました。レース後に古田先生から、「今まで一番良いレースだった。」と、言われたことが今でも強く心に残っています。この〈インターハイ〉を経験して改めて「全国」というレベルの高さに気付き、今まで以上に全国大会で優勝したいという思いが強くなりました。練習に対する態度もより考えるようになりました。

そして、3年生部長として迎えた〈インターハイ〉。県予選の時から2年生の頃には感じなかったプレッシャーや緊張を感じました。それと同時に頼もしい後輩の存在も感じ、このクルーなら行けるという確信を持っていました。

私にとって、2度目の〈インターハイ〉は新潟県で行われた〈北信越かがやき総体〉。「男女アベック優勝」を目標に掲げ、臨んだ大会でした。

2日間の配艇練習。クルー全体の意識が一つになっていくのを感じました。そして迎えた予選。緊張のせいかスタートでうまくスピードに乗れず予想通りのレース展開ができなくて、ノーマークだった高校に敗れて予選2位通過でした。ここで改めて全国大会の厳しさを知ることとなりました。この負けがあったから次の準々決勝に気を引き締めて臨むことができたと思います。

迎えた準々決勝では、練習からスタートを意識して取り組み、落ち着いた状態でレースを展開できました。おかげで1位通過することができました。前年、準々決勝で敗れてしまった私にとっては、ここから先のレースは未知の領域でした。

決勝へ進むには1位通過しなければならないというプレッシャーと、男子や他の残っている岐阜県勢みんなで決勝に行きたいという気持ちが入り混じった複雑な心境でした。そんな私の気持ちを落ち着かせてくれたのは、勝利を信じて疑わない後輩たちの姿でした。あとは無我夢中で力の限り漕ぐだけだと思うことができ、準決勝1位通過し、ついに全国大会決勝の舞台に立つことができました。

決勝は準決勝のレースの5時間後に行われました。今でも強く心に残っているのは、古田先生が、「最高の舞台で最高の仲間と共に戦える幸せを感じながら、レースを楽しめ。」と、おっしゃった言葉です。円陣を組み、声をかけ最後に交わした先生との握手で本当にクルーが一つになれた気がしました。もう迷いはありませんでした。

最大のライバルは昨年の覇者である熊本学園大学付属高等学校でした。とにかく決勝は今まで積み上げてきたことを全てぶつけ、悔いが残らないレースにしようと思いました。

レースの内容は正直あまり覚えていません。一本一本全力で漕いで、全力で声を出すことだけに集中していたら、いつの間にかレースが終わっていました。そして終わった瞬間、隣のレーンで熊学のクルーが声を上げて喜んでいるのを見て、「ああ、負けたんだ。」と、そこで初めて気づき、悔しくてみんなで泣きました。優勝に手が届きそうだったからこそ悔しさでいっぱいでした。

レースが終わったら、支えてくれた方々に「お疲れ様。」と言われたり、先生にも「胸を張ればいい」と言われたりして笑って表彰式に臨むことができました。

結果は男女とも準優勝でした。目標として掲げていた全国大会優勝は叶わなかったけれど、ボート部に入らなければこのような最高の舞台で戦うことは無かったと思うので、本当に入部して良かったと思うし私の人生が大きく変わったと感じています。今は関わって下さったすべての人に感謝しています。本当にありがとうございました。

平成25年度 全国大会出場

ボート部

全国高校総体 男子クオルドプル3位

平成25年 北部九州総体

小山内 悠也

私たちの目標は、〈インターハイ〉に出場することでした。〈インターハイ〉に出場するためには、岐阜県の予選大会で優勝しなければなりません。しかし、私たちは新人戦で恵那高校に大差をつけられ負けてしまいました。

〈インターハイ〉に出場する、という目標を達成するためには、どうしても恵那高校に勝たなければなりません。新人戦では前半では私たちがリードしていたのですが、ラストスパートで抜かれてしまいました。そのため、練習時も油断をしないでお互いに声をかけ合うことを意識し、あの時の悔しさをバネにして日々の練習に励みました。

〈インターハイ〉予選では、今まで一番いい“漕ぎ”ができ、かつて負けた恵那高校に勝って優勝することができました。これで念願だった〈インターハイ〉出場の夢を果たすことができました。私にとって〈インターハイ〉は初めて経験した全国大会でした。〈インターハイ〉のような全国大会では、各高校で用意した艇だと重さ等で差が出てしまうので、ハンデ差をなくすために開催地で準備した艇を使います。そのため、毎日艇の調整をしなければなりません。試合が始まるまでの3日間は練習日として、練習時間も決められています。その中で艇の調整と水上での練習をしなければなりません。練習初日は緊張や焦りから、艇の調整に時間をかけ過ぎてしまい、水上練習の時間が短くなってしまい、納得のいく練習ができませんでした。2日目は前日よりも慣れ、艇の調整に時間をかけることなく、十分な時間をとることができ、有意義な練習ができました。

そしていよいよ〈インターハイ〉本番を迎えました。〈インターハイ〉の会場は風が強く、波が高くて自分たちの“漕ぎ”ができませんでしたが、なんとかグループ内2位という結果を出し、準々決勝に進みました。

準々決勝では、前半はリードしていましたが、後半で焦ってミスをしてしまい、予選と同じ相手に負け、またグループ2位という結果で準決勝に進みました。決勝に進むためには準決勝を1位で通過しなければならないため、今までのようになくなってしまうようなミスは許されません。決勝に進むためにもこれまでの敗因をクルーで話し合って改善し、気持ちを引き締めて行こうと決めました。そして準決勝では、そんな強い気持ちからか、見事1位という結果を残すことができました。準決勝が終わった後、対戦したチームから、

「僕たちの分まで頑張ってください。」と声をかけられ、今まで戦ったチームの分まで頑張ろうと思いました。決勝で戦う相手は、全国に名をとどろかせるチームばかりです。しかし、ここまで来たからには、どんなに強い相

手であっても全力を出しきるだけです。クルー全員で気持ちをひとつにし、決勝に臨みました。

結果は3位と優勝することはできませんでしたが、〈インターハイ〉で全力を出し、3位という結果を残せたことはとてもよかったです。何より、〈インターハイ〉を通して様々な人と出会い、いろいろなことを学び、私自身が大きく成長できたような気がする経験ができたことがよかったです。この経験も周りの方々の支えがあったからこそできたことです。この感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

平成25年度 全国大会優勝

ボート部

全国高校総体 女子クオルドプル優勝

平成25年 北部九州総体

藤井香菜

私たちは2度〈インターハイ〉という舞台に立つことができました。1度目は新潟で行われた〈北信越かがやき総体〉です。

〈北信越かがやき総体〉では、私たちは女子舵手付きクオルドプルで出場しました。3年生の先輩1人、2年生4人という2年生主体のクルーでした。目標はもちろん優勝でした。しかし、決勝まで進んだものの、熊本学園大学付属高校に敗れ、2位という結果で終わりました。レースが終わった後、私たちは本当に悔しくて泣いてしまいましたが、全国大会という大舞台でこれだけの結果が出せたことは、私たちにとって大きな自信となりました。

その後、〈インターハイ〉優勝を目指して、冬には厳しいトレーニングを積みました。〈全国高校選抜大会〉での優勝を経て、〈インターハイ〉出場を懸けて戦う〈インターハイ〉予選を迎えるました。3年生となった私たち4人に加え、2年生の後輩1人というメンバーで挑むことになりました。この大会で1位にならないと〈インターハイ〉には出場できません。そんなプレッシャーもありましたが、ライバルであった恵那高校を破り、〈インターハイ〉の切符を手に入れることができました。

直前合宿で〈インターハイ〉優勝という目標を達成しようと自分たちを追い込み、いよいよ本番の2度目の〈インターハイ〉を迎えました。今までの全国大会でレースを経験したからか、緊張しすぎることもなくリラックスして、そしてついに今までやってきたことを全て出し切る時が来ました。会場の遠賀川は漕いでいると全身が濡れてしまうくらい波が高く、レース中にミスをしてしまわないか不安でした。しかし、2年生の秋の新人戦からずっとクルーを組んできた、頼もしい仲間たちを信頼して漕ごうと決めていたため、そんな不安もすぐに無くなりました。2日間の配艇練習では、今までの経験を生かして特に問題もなくスムーズに練習することができました。

いよいよ予選の日を迎えました。去年はノーマークだった高校に敗れ2位通過だったこともあり、最初から全力で

レースに臨もうと決めていました。コンスタントにリズム良く、じわじわと他のクルーを引き離していくというレース展開ができ、予選は1位で通過することができました。

翌日は敗者復活戦だったため、私たちは近くの高校のボート部の練習場を使わせていただいて練習しました。波の高い遠賀川での水の感触をつかむことができ、決勝に向けてとてもいい練習ができました。その翌日の準々決勝では1位で通過することができましたが、準決勝は1位にならないと決勝に進むことができないため、喜ぶだけではなく気を引き締めようと仲間と誓いました。そして、準決勝も1位で通過することができました。

そして、いよいよ決勝の日を迎えました。水上に出る前、古田先生はミーティングで、「最後のレース、おもいきり楽しんでこい。」と言ってくださいました。私たちはその言葉を胸に刻みながらも、このクルーと臨む最後のレースになるという気持ちから、私も他の仲間も涙を浮かべていました。そして、みんなで円陣を組んで気合いを入れ、古田先生と握手を交わして水上に出ました。レース直前はいつも通りみんなで声をかけ合い、落ちついた気持ちでスタートすることができます。スタート直後からトップに立ち、他クルーとの差を広げようと全力で漕ぎました。コックスの声に漕いでいるみんなは大声で応え、クルーエルとなってゴールを目指しました。ラストスパートをかけるときも、みんなでもっと速くという思いで必死に漕ぎました。トップでゴールしたことが分かった時、みんなで声を上げ、両手を突き上げて喜びました。去年のような悔し泣きではなく、嬉し泣きをすることができました。桟橋に戻ってから、みんなで抱き合って喜びました。表彰式では「自分たちは本当に日本一のクルーになったんだ」と実感が湧き、本当にいいレースだったと思っています。

今振り返ると、こうして私たちが優勝できたのは様々な人たちの支えがあったからだと思います。今まで練習で競い合って高め合うことができたのは先輩方、後輩、そして同じクルーの仲間がいたからです。また、ボートを続けられたのは顧問の古田先生を始め、応援してくださった先生方、家族のおかげです。私は、こうして私たちを支えてくださった方々に、いくら感謝してもしきれないくらいの気持ちでいっぱいです。また、私はボート部に入部して本当に多くのことを学びました。その中でも特に大きな目標を持つ、ということの大切さを学びました。私たちは入部当初から全国優勝を目標に掲げて活動し、見事実現させることができました。目標を達成することの大切さ、目標を達成するための努力、目標を達成した時の達成感は、将来社会人となる私にとって貴重な経験として生かしていきたいです。また様々な大会で様々な場所へ行くことができ、多くの人々と知り合うことができました。こうして加茂高校の中だけでは見ること、感じることのできない世界をみることができ、私自身の視野が広がった気がします。

こうして私の高校生活は、最高の仲間に出会い、最高の先生に出会い、最高の経験をさせていただけて、一生忘れることのできないものとなりました。この経験を生かし、そして、周りで支えてくださっている方々への感謝の気持ちを忘

れず、これから大学生活を充実したものにしていきたいと思います。大学でもボートを続けるので、大学でも日本一を目標に頑張りたいです。ありがとうございました。



平成26年度 国際大会出場

ボート部

世界ジュニア選手権 女子クオルドブル出場
平成26年 ドイツ・ハンブルグ

棚 橋 秀 美

私は、8月にドイツのハンブルグで行われた、〈世界ジュニアボート選手権大会〉に出場しました。

私は、この大会に1年生のころから出場したいと思っていました。そして2年生になると、来年は絶対に出場したいと本格的に目指すようになりました。世界大会に出るには、国内で行われる選考会を兼ねた大会で上位にランクインしないと出場できません。1つ上の先輩も昨年の選考会で選ばれることを目指していましたが、惜しくも逃してしまい、悔し涙を流していました。私はそんな先輩を見て、来年こそは私が絶対に出場してやる、と強い決意を持ちました。

世界大会に出場するためには、普段あまり乗らない1人漕ぎのシングルスカルのレベルを、選考会までに上げなければなりません。毎日シングルスカルの練習をし、いよいよ選考会となりました。周りは強い選手ばかりでしたが、なんとか5位に入賞し、代表入りすることができました。1年生の頃から憧れていた舞台に立つことができると決まった時は、本当に嬉しかったです。それと同時に、U19の日本代表になるんだという自覚からか、さらに気が引き締まりました。

ドイツでの大会の前には、国内で3回にわたる合宿がありました。私は舵取りのいない、舵手なしクオルドブルという種目で出場することになりました。合宿では普段の部活動で行う以上のハードな練習を毎日炎天下の下で行っていたため、とても辛かったです。しかし、「世界は甘くないぞ。」とコーチの先生方に言われてきたため、もっと強くななければ、という気持ちを持って代表メンバーたちと一緒に練習に取り組んできました。

長いようで短かった合宿を終え、いよいよドイツへと向かいました。現地に到着して、各国の選手たちと対面した時、最初に思ったことは体の大きさの違いです。ヨーロッパの彼らたちは、身長が高く、手足も長くて、筋肉も大きかったです。やはり、海外の選手は大きいんだなと改めて思いました。

ドイツに着いてから5日ほど経ち、いよいよ大会が始まりました。しかし、ここから世界の厳しさを知ることになったのです。2000メートルのレースで予選ではオランダやロシア、ニュージーランドやベラルーシといった国と競うことになりました。私たちは、今まで世界大会でも上位入賞を狙うことを目標に練習してきたので、気合は十分にありました。しかし、いざ試合が始まるとどんどんと引き離され、結果は6位、最下位でした。

翌日は敗者復活戦でした。昨日はだめだったけれど、今日は絶対に上がるぞという気持ちでレースに臨みました。この敗者復活戦で3位までに入れば、上のクラスに進めるのですが、私たちがどんなに必死に漕いでも引き離されるばかりでした。結果は4位で上には進めず、13位～15位決定戦のC決勝に行くこととなりました。

C決勝では1位になることができましたが、私たちはこの大会、舵手なしクオドルブルという種目では15艇中の13位という結果に終わりました。この結果となったことは、とても悔しかったです。国内の大会では良い結果を出してきましたが、いざ世界の舞台で戦ってみると、まだまだ自分の力が及ばないことを痛感させられました。外国の選手はこんなにも力強いのか、日本の競技力はまだまだ低いのか、自分はまだまだ未熟だったのか。世界との高い壁を感じさせられ、ほろ苦い思い出になったとともに、滅多にできない貴重な体験をさせてもらいました。

今思うと、私はこの大会を含め、いつも思い切り部活動に打ち込むことができました。それは、今までボート部を支えてくださった皆さんのおかげです。そんな皆さんに、胸を張って報告ができるような結果を出すことができなくて、大変申し訳なく思っています。

平成26年度 全国大会優勝

ボート部

全校高校総体 女子クオルドブル優勝

平成26年 南関東総体

井川奈菜

私は、2度<インターハイ>の舞台を経験することができました。1度目は<北部九州総体>です。私は補漕としての参加だったので、レースには出場せず、ビデオを撮ったり選手のサポートをしたりしました。見事優勝し、喜びを爆発させる先輩や仲間を見て自分のことのように嬉しく、とても感動しました。それと同時に、今度は私がレースに出場し、漕いで勝つ喜びを味わいたいと思いました。その後、全国大会優勝を目指し掲げ、水上や陸上での厳

しいトレーニングを積みました。そして、国民体育大会、<全国高校選抜大会>での優勝を経て、もう一度<インターハイ>でレースをするチャンスをつかむことができました。二度目の<インターハイ>は、南関東総体です。しかし、今回の<インターハイ>には主力である棚橋は出場できませんでした。ドイツで行われるジュニアオリンピックと開催時期が重なっていましたからです。入部当初から棚橋の努力やパワフルな“漕ぎ”を近くで見てきた私にとって、棚橋のジュニアオリンピック出場の決定は心から嬉しかったです。が、彼女の強さを知っている分、<インターハイ>と一緒に漕げないとと思うと心細い気持もありました。

また、私は7月の中旬に腰を故障してしまい、体を動かせない日々が続きました。なかなか良くならず、日常生活がままならない時もありました。そのため、7月下旬に行われた<インターハイ>直前合宿でも全く練習に参加できず、本来4人で漕ぐはずのボートを私以外の3人に任せしからませんでした。迷惑をかけてしまっている申し訳なさや、私が全く練習できなかったために、本番への焦りを感じずにはいられませんでした。主力メンバーの欠場と自分の体の状態を考えると、どんどん不安が大きくなりました。しかし、これまでに先輩や仲間が残してきた全国大会2連覇という記録を途切れさせたくない、ドイツにいる棚橋に良い報告がしたい、そして、なにより精一杯漕いで結果を出したい。様々な気持ちが混じり、緊張も高まりました。

そして山梨県の富士河口湖の会場へ入りました。私は開会式で昨年度の優勝カップを返還しましたが、会長さんの手に優勝カップが渡った時、「絶対にもう一度優勝カップをもらいたい」と思いました。3日間の公式練習ではやっと漕ぐことができ、久しぶりの水の感覚と、私が練習に参加できない間に成長した他の3人の力強い“漕ぎ”を感じることができました。艇がよく伸び、気持ちよく進む感覚が楽しくて、とても充実した公式練習が行えたと思います。

いよいよ予選のレースをする日を迎えました。会場入りする前に感じていた不安な気持ちは全くなく、レースが楽しみでワクワクしていました。クルーの中には緊張で顔がこわばっているメンバーもいましたが、みんなで肩を叩き合ったり、「リラックスしよう！」「1本1本落ち着いて行こう！」と声を掛け合ったりして、気持ちを一つにしてレースに臨みました。結果、順位は2位でした。予選は通過したもの、どこかまだぎこちない部分があったと反省しました。クルー同士で、もっとのびのびとしたパフォーマンスをしようと話し合いました。

そして準々決勝を迎えるました。会場入りして1本レースを経験しているからか、固くなく、良い緊張感を持ってレースができました。結果、準決勝に進むことができました。レースが終わった後はメンバー全員から、「しっかりと体が使えた！」、「思いっきり漕げた！」という声を聞くことができました。レースをするたびによりよいスピードが出せるようになったことが感じられました。準決勝も勝ち進み、あっという間に決勝のレースを迎えました。ここまでできたらあとは楽しむだけ、といつものように円陣を組み、西原先生と握手を交わし水上に出ました。西原先生

がかけてくださった、「思いっきりやってきなさい。」という言葉がとても心に響き、私は攻めるレースをしようと意気込みました。決勝のレースはとにかくがむしゃらに漕いだことしか覚えていません。コックスの声、漕ぎ手の雄叫びのような声、どんどん上がるテンポ、全てが楽しくて、疲れも痛みも何も感じずにただただ必死に漕いでいました。

そして、レースの結果が発表される時になりました。ゴール直前は自分たちのクルーが他のクルーとどのくらい離れていたかはっきり分からなかったので、審判の方のアナウンスで正確な結果を知りました。自分たちが1着であるように手を合わせて祈りながらアナウンスを待ちました。「1着、加茂高校。」と聞いた時は、言葉にできないくらい嬉しくて、涙が止まりませんでした。そして、ドイツにいる棚橋に良い報告ができることが嬉しくて、「ひでー！」と棚橋の名前を呼びました。あの時の感動は今でも忘れられません。開会式で強く思ったようにもう一度優勝カップを持ち帰ることができて本当に嬉しかったです。

私は、ボート部に入部して、自分がどれだけ周りの人々に支えてもらっているかを改めて感じました。毎日の練習に参加できる環境を作ってくれた家族、たくさんの指導をしてくださった先生方、故障が長引いて迷惑をかけてもポジションを任せてくれたチームメイト、応援してくださった方々。様々な方々のおかげで、私は今までボート部を続けることができました。また、全国規模の合宿や大会に参加する機会をえていただき、全国のライバルといろんな交流をすることができました。その交流を通して、たくさんの刺激を受け、自分自身の視野が広がりました。そして、目標に向かって努力することの大切さを学びました。辛いとき、諦めずに頑張れたのは同じ目標を持つチームメイトがいたからです。目標があったからこそ、その目標を達成するために毎日の努力を積み重ねることができました。結果ももちろん大切ですが、その結果を出すために努力することがいろんな面での成長につながったと思います。

ボート部の一員として活動し、3年間で得たものをこれからの大學生生活、社会人となつても生かしていきたいです。ありがとうございました。



平成26年度 全国大会優勝

囲碁将棋部

全国高校文化連盟将棋新人大会 男子個人優勝
平成27年 新潟県

中島 灯 希

平成27年1月30、31日の2日間にわたり新潟県のホテルオーネクラ新潟で行われた将棋新人大会に出場しました。10月に行われた岐阜県大会に比べ、さすが全国大会は強豪ぞろいで油断できませんでした。予選4試合、決勝トーナメント5試合のどの試合も気が抜けず、苦戦を強いられた戦いが続いたことが印象的でした。

結果的に今回の試合で全国優勝できました。この結果は岐阜県の男子で初の快挙ということを知りとてもうれしかったですが、それと同時に全国の将棋を愛する仲間と交流が持てたことや友人がたくさん増えたことが大きな財産となりました。



平成26年度 全国大会出場

自然科学部

全国高校総合文化祭自然科学部門
平成26年 いばらき総文2014

小木曾 博 幸

私は平成26年7月28日～30日につくば国際会議場で行われた〈第38回全国高校総文祭〉〈いばらき総文2014〉の自然科学部門に岐阜県代表として参加しました。ポスター発表の部で、八百津高校との共同研究である「国内のアルゼンチンアリの行動学的分類および侵入経路・スーパークロニ一分化に関する研究」の発表を行いました。これは日本では特定外来生物に指定されているアルゼンチンアリが国内でどのように移動し、東海地方へ侵入したのかについての研究です。発表は27・28日の2日間行われ、大勢の方々に訪れていただきました。自分たちの研究についてきちんと理解していただけたときは、この上もない喜びを感じ、研究を続けてきて良かったと思いました。また、「日本へ

の侵入は山口県ではないのか?」「宮古高校が別のアリで似た研究をしているのが、実験基準がちょっと違うからその方法でやってみたらどう?」などといった情報も得ることができ、非常に充実した期間を過ごすことができました。

大会期間中は研究発表の他にも、宇宙飛行士の古川聰さんによる記念講演、生徒実行委員会による生徒交流会、サイエンスカフェ、巡査研修など様々な行事が行われました。巡査研修では私は土木研究所と国土地理院へ行きました。土木研究所では巨大なダムの模型を使用した実験の様子を見学したり、事故や経年劣化で取り壊された橋の一部を見たりしました。特に潮風があたると劣化が早く、塗装の種類を間違えたり、少しでも塗り残しがあつたりするとすぐに底からボロボロになっていくことが実感できました。国土地理院では様々な種類の地図や地球儀等を見ることができました。しかし、時間の都合上長く見学することができなかつたことが残念でした。また見学に行きたいと思いました。

私たちの今大会での成績は文化連盟賞というものでした。最高位である文部科学大臣賞を目指していたので少し残念でした。しかし、それほど話し上手でない私が、審査団と大勢の観客を前にきちんと発表できたことは自信になりました。その他、審査団以外の一般の方々からの評価は内容がよく分かったという評価が多かったのですが、一方で「よく分からぬ」、「ポスターが見にくい」という意見もあり、改善すべき点が発見されたので後輩に伝えていきたいと思いました。全体としては非常に充実した大会でした。後輩にも全国大会を目指して研究を頑張って欲しいです。

最後に私たちを支援してくださった河田先生、木澤先生をはじめ関係する全ての皆様ありがとうございました。



平成28年度 全国大会出場

ソフトボール部

全国高校選抜大会 平成28年3月 静岡県
全国高校総体 平成28年8月 広島県

荒井 孝圭・纒 繁 良

○春の〈全国選抜大会〉出場までの道のり

僕たちソフトボール部は、平成28年3月に静岡県で開催さ

れた〈全国選抜大会〉に出場しました。昨年も全国大会に出場しましたが、結果は一回戦敗退でした。目標だった全国大会出場は果たすことができましたが、一つも勝つことができませんでした。県大会とはレベルも雰囲気も全く違い、全国大会で勝つことの厳しさを感じました。

前年度のチームは、〈全国選抜大会〉が終ったあと、5月に〈インターハイ〉予選がありました。力を出し切れないまま一回戦で敗退してしまい、とても悔しい思いをしました。6月から新チームになり、最初の練習でミーティングを開きました。そこで一人一人のやるべきことを徹底して、「全国大会で勝つ」という目標を掲げました。新チームになってから、練習中にお互いに厳しく言い合えるようになり、一つ一つのプレーの中で「ここをこうしたらよい」と確認し合い、チーム全体で意識を高めることができるようになりました。しかし、7月に行われた新チーム最初の公式戦である県選手権大会では優勝することができませんでした。また夏休み中の練習試合でも反省する点がたくさんあることに気づき、このままでは次の〈新人大会〉も優勝できないと思いました。

そこで10月の〈新人大会〉までは短期間でしたが、練習時間を一分一秒でも無駄にしないように、少しでも空いている時間があったら、トスバッティングをしたり、黙々とピッチングをしたり、自分たちでノックをしたり、家では素振りをしたりしました。このように一人一人ができる事を積み重ね、少しづつ成長し、大会に臨むことができました。

〈新人大会〉を迎えるにあたって、それまでの不安に思うことなどがすっかりなくなりました。〈新人大会〉では今まで練習してきた成果が存分に發揮し、一人一人が100%の力を出し切りました。試合に出場する選手は集中力を切らさず試合に臨み、ベンチにいる選手は試合に出場する選手のサポートや声かけ、素振りをしていつでも呼ばれる準備をしていたりとチーム一丸となって試合をしました。〈新人大会〉では、初戦が7回逆転サヨナラ勝ち、決勝も途中まで0対3で劣勢でしたがみんなの「諦めず優勝する」という強い気持ちで逆転勝利を収め、優勝することができました。みんなの努力が実を結んで全国大会出場を勝ち取ることができ、ほんとうに嬉しかったです。

春の〈全国選抜大会〉までは冬のトレーニングを挟みました。春の全国選抜を控え、全国大会で1勝することを目標に掲げてから、冬のトレーニングにも真剣に取り組むようになりました。

そして迎えた春の〈選抜大会〉。全国の舞台に立つのは2回目でしたが、やはり県予選とは違う雰囲気と緊張感がありました。結果は6対3で負けてしましましたが、今まで一番粘っていたし、気持ちが前面に出ていた試合でした。バッティングで活躍できなくても守備で活躍する選手、試合に出場できなくてもベンチで雰囲気を盛り上げていた選手など、まさに全員墨球(ソフトボール)をしていたと思います。

○夏の〈インターハイ〉出場までの道のり

新年度になり、監督や顧問が変わり新体制になりました。〈インターハイ〉予選まで残り2か月を切ったところで監督が変

わるのは正直不安でしたが、今までの雰囲気のままやらせてもらえたので不安はすぐなくなりました。

〈インターハイ〉予選までの間、練習一つ一つを大切にしていました。ただひたすらバッティング練習をするのではなく、試合を想定し、ランナーの状況に合わせてライト方向、レフト方向に打ち分けることで最悪でも進塁打になることを目的としました。一人のバッティングでというわけなく、チーム全体で点を取りに行くチームプレーを意識したバッティング練習をしました。また守備練習では、普通のゴロ、バントの処理を軽い気持ちではなく、確実に取れるアウトを絶対逃さないという強い気持ちを持って練習しました。一つ一つのアウトの大切さを再認識し、アウトを逃さぬように丁寧なプレーを練習から意識し、何回も繰り返すことでエラーの数も減らすことができました。

そして迎えた〈インターハイ〉予選、負けたら3年間の部活動が終わりになる、そうならないためにも全員が全力でプレーしました。試合は打線が爆発して2戦ともコールド勝ちで優勝し、〈インターハイ〉出場を決めました。今までやってきたことが発揮され、つないでいくバッティングやミスの少ない守備が各所で見られました。

〈インターハイ〉までは時間が少なく、3年生は自分の進路のために勉強をしなければならなかったり、体育祭の応援団をやる人もいたりして、全員で練習をする機会も6月の〈東海大会〉を終えてからは、水曜日と金曜日しかありませんでした。しかしその短期間の限られた練習の中で、今までよりもさらに集中力を高め、個々の自主練習により選手一人一人の技術はもちろんのこと、チームとしての技術を高めていきました。

〈インターハイ〉では相手チームの雰囲気にのまれてしまい、力を出し切ることができず1回戦で敗退してしまいました。新チームになってからの目標であった全国大会で勝つことは達成できず、身をもって全国の壁を感じました。しかし今後勝つチャンスは必ず来ると思うので、次の代の後輩たちには僕たちの分まで頑張ってもらって全国で勝ってほしいです。

○最後に

僕たちが全国の舞台に2回も立つことができたのは、ずっと僕たちを信じ、指導してくださった坪内先生、赤塚先生、竹内先生、成瀬先生、森島先生や、ソフトボール部を応援してくださる多くの人たちのおかげだと思います。これからは部活動で身につけた精神力を發揮して、文武両道の加茂高生として、勉強を頑張ってそれぞれの進路希望を実現させたいと思います。



平成28年度 国際大会出場

ボート部

世界ジュニア選手権 男子クオドルブル23位
平成28年8月 オランダ・ロッテルダム

吉田 拓人

私は〈世界ジュニア選手権大会〉と〈アジアジュニア選手権大会〉に出場することができました。国内の試合ではなく、世界レベルでの試合を経験することで、とても貴重な体験と時間を過ごすことができました。

私が〈U19日本代表〉になることができたのは、〈ジュニア日本代表コーチ〉である古田先生より直接、練習から指導をしていただいたからです。そして、私の目標である「〈ジュニア日本代表〉に入る」ために、すべきことを明確にして、実現することができました。〈ジュニア日本代表〉に選ばれるには、12月の合宿に出て、翌年の6月に行われる2000メートルの選考レースで6位以内に入賞をする必要があります。私はこの大会で6位に入ることができ、代表になりました。

〈世界ジュニア〉と〈アジアジュニア〉の大会への出場した種目名は、舵手なしクオドルブルと言い、漕ぎ手が4人とその中の1人が舵をとる種目です。8月に〈世界ジュニア選手権大会〉、10月に〈アジアジュニア選手権〉が開催されました。私は、2つの世界の大会を通して、国内の大会とは全く違う雰囲気を味わいました。試合が近づくにつれ、緊張感が増えて、さらに外国の選手の体格の大きさに驚かされました。

8月には〈世界ジュニア選手権大会〉がオランダで、10月にはタイで〈アジアジュニア選手権大会〉が開催されました。私はこのクルーのメンバーの4人と国内の合宿を通して、力を身に付けてきました。この4人は合宿中に共に支え合い、競い合って高め合ってきた最高のメンバーです。こんな4人と自信をもって試合に向けて、万全な心身の状態で臨めるように試合までの調整をしました。海外の大会は時差も伴い、大会現地の気温や時間に体を慣れさせるのは2日ほどかかりました。

そして、待ちに待った試合当日、このクルーでの初めての海外のレース、私は国内での経験と、自分のできることをすべて出し尽くそうと心に決めて臨みました。全体の結果は23位、レースが終わって、私は世界で戦うことは、とても厳しく、難しいことを痛感しました。世界の選手と並べて競うことができたこの大会で、少しずつではありますが戦っていける実感を感じ取れました。遠い存在ではなく、掴めそうなところまで来ていると思います。しかし、結果がすべてです。いい報告ができないことはまだ力が足りず、本当の実力として身に付いていないことは明らかです。世界大会を通して、世界の選手と戦っていくために何をしなければならないのかをしっかりと考えることができたと思います。

世界大会に出場することができたことは、多くの方の支

えがあったからです。ボート部顧問の先生方、加茂高校の先生方、指導してくださった学外や他県に及ぶコーチの支えがありました。書ききれないほど、多くの方々に携わっていただいたことに感謝の気持ちを忘れず、私が次に目指すべき目標を成し遂げられるよう、これからはまた挑戦者の気持ちを忘れずに取り組みます。



平成29年度 国際大会出場

ボート部

世界ジュニア選手権 女子ダブルスカル11位
平成29年8月 リトアニア

西田 結 惟

私はU-19日本代表として、リトアニアで開催された〈世界ジュニア選手権大会〉に出場しました。世界の同世代の選手達とレースをし、とても有意義な時間を過ごすことができました。

私はダブルスカルという種目に出場しました。12位以上を目指とし、一つ上の先輩と合宿を重ねました。結果は11位と目標を達成することができましたが、10位とは0.6秒、9位とは0.65秒差で、1秒の重さを感じても悔しかったです。世界で戦うことができるという自信と、さらに上を目指すための課題を知ることができ、練習に対するモチベーションが上がりました。

世界大会に出場し目標を達成することができたのも、ボート部の顧問の先生方、加茂高校の先生方、学外や他県の指導してくださった先生方の御協力、友人からの声援があったからです。携わっていただいた方々への感謝の気持ちを忘れず、より上位を目標に練習に取り組みたいと思います。本当にありがとうございました。



平成29年度 全国大会優勝

ボート部

全校高校総体 女子クオルドブル優勝
平成29年8月 南東北高校総体

鈴木 里都

加茂高校ボート部は〈インターハイ〉優勝という大きな目標を一番に持ち練習してきました。冬の筋力、体力アップのトレーニングや、夏の水上での“漕ぎ込み”などの練習が辛くてきついと思ったことは何度もあります。それは自分だけではなく、部のメンバーみんな同じなので声を掛け合い、励まし合うことで乗り越えられました。

しかし、最初から全てうまくいっていた訳ではありません。漕ぎ手が4人で、1人が舵取りと指示をする競技なので全員の“漕ぎ”と“舵”が揃ってないと早く船を進めることができません。漕ぎが合わなくてバラバラになったり、一人一人の船の感覚が違って意見が異なったりすることもありました。また、思っているように船が進まず険悪なムードの時もありました。そんな時も目標は全員一緒に優勝だったのでなんでも思ったことは言い合い、挑戦者として全力で練習に取り組み、信頼し合える良いチームを作り上げることができました。また、顧問の先生方が私たちの“漕ぎ”を見て指導して下さったり、会場までの移動や船の調整をして下さったりと、全てにおいてサポートしていただきました。そして、〈インターハイ〉で優勝できたのは、メンバー全員の勝ちたいという強い気持ちがあったからです。

このように自分たちだけの力で優勝を勝ち取るのは到底無理だと思います。練習する場所や船、良い環境があるのは代々の先輩方、先生方、一緒に練習する仲間、部活動をする私たちを毎日支えてくれる両親がいるからです。この感謝の気持ちを忘れず、〈インターハイ〉優勝で学んだ最後まで諦めない心を持ち、これから競技や普段の生活に生かしていきたいと思います。



全日制 担 任

1年生

名次	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学年主任	山田和美	別所正史	高寺義朗	後藤ひとみ	茂角良三	渡辺昌文	藤井佳一	水口 猛	池村和浩	杉山清治	水口 猛	國居秀則	大島達史	生駒伸一	長谷川智明	小島和秀	丸谷利幸	加藤泰幸	出川尚之	白井靖彦
1	加藤寿朗	小野 悟	渡辺昌文	太田美智子	角田文嗣	山田哲志	藤井佳一	二村文敏	千葉有茂	生駒伸一	熊崎俊介	國居秀則	大島達史	生駒伸一	木澤慶和	出川尚之	白井靖彦	岸 亜美	後藤あやみ	大塚志門
2	猪飼迪子	小牧憲充	井上いずみ	杉山広之	古川真哉	竹内芳子	井戸由美	井戸由美	津崎裕子	林 義貴	竹内芳子	金森康二	長屋貴大	安田衣里	山田千鶴	坪内清次郎	吉川敏幸	中島將仁	長屋貴大	山本僚郎
3	砂場道明	深尾出路	山田哲志	藤澤一博	河内祥子	河内祥子	丹羽順子	西 善弘	古川真哉	井戸星子	加藤泰幸	津崎裕子	加藤泰幸	丹羽沙也子	若園直矢	吉川敏幸	柴田佳祐	前田博子	門 有宏	白井靖彦
4	有賀欣哉	松尾英子	長谷部紫	井戸星子	木澤慶和	市村孝嗣	井川茂雄	小俣太志	池村和浩	浅見和人	横山也寸志	武藤秀彦	市原賢優	加藤泰幸	夏目達也	田中里香	吉田 智	柴田佳祐	酒井宏昌	山中徹也
5	角田文嗣	猪飼迪子	池村和浩	長沼照代	大江葉子	古川真哉	井戸星子	河田雅幸	川出真由	杉山清治	水口 猛	横山也寸志	山本幹也	熊崎俊介	長谷川智明	田之本麻衣子	鹿鳴淳美	加藤泰幸	瓜田裕哉	鹿鳴淳美
6	水野壽満	永瀬由香	水野壽満	布山淳一	杉山広之	内海達也	浅見和人	水口 猛	酒井恭士	市原賢優	長谷川智明	前田博子	田之本麻衣子	吉田 智	津崎裕子	長屋貴大	坪内清次郎	可児奈緒美	出川尚之	井上悟郎
7	布山淳一	布山淳一	井戸星子	後藤ひとみ	前田 仁	高木茂和	小島和秀	林 綾子	古川伸一	中澤恵美	二村文敏	仲 幸子	吉川敏幸	小島和秀	山田幸子	高木小百合	高木小百合	吉川敏幸	田之本麻衣子	津田健介
8	藤澤一博	日野順徳	長沼照代	木澤 朗	加藤寿朗	渡辺昌文	川原正史		國居秀則	川口 晋	小島和秀	大島達史	小林竜二郎	二村文敏	前田博子	小島和秀	竹内洋平	渡辺俊丈		
9	塙原秀幸	山田幸永	丸山 宏	加藤寿朗	茂角良三										川口 晋	渡辺俊丈	吉井綾子	丸谷利幸		
10	木澤 朗	高木茂和	酒瀬川眞一											中澤恵美		津田健介				

2年生

名次	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学年主任	大坪真之	後藤ひとみ	別所正史	竹中正子	長沼照代	茂角良三	市村孝嗣	渡辺悦男	水口 猛	國居秀則	杉山清治	水口 猛	岩田庸一	大島達史	生駒伸一	長谷川智明	出川尚之	丸谷利幸	吉川敏幸	後藤あやみ
1	太田美智子	角田文嗣	石井和子	渡辺昌文	井戸星子	藤井佳一	古川真哉	井戸星子	二村文敏	國居秀則	浅見和人	熊崎俊介	津崎裕子	田之本麻衣子	二村文敏	津崎裕子	田之本麻衣子	丸谷利幸	可児奈緒美	田之本麻衣子
2	長谷部紫	村上宏俊	松尾英子	林 直樹	井戸由美	加藤寿朗	竹内芳子	浅見和人	竹内芳子	酒井恭士	林 義貴	竹内芳子	金森康二	大島達史	白井靖彦	木澤慶和	長屋貴大	白井靖彦	柴田佳祐	長屋貴大
3	石井和子	塙原秀幸	高木茂和	山田哲志	井川茂雄	酒井恭士	市原賢優	井川茂雄	河田雅幸	千葉有茂	仲 幸子	吉田 智	出川尚之	坪内清次郎	中澤恵美	若園直矢	佐藤正樹	山田千鶴	岸 亜美	後藤あやみ
4	別所正史	木澤慶和	日下部高敏	山川 隆	松井裕子	杉山広之	永瀬由香	小島和秀	水谷浩久	古川真哉	生駒伸一	松原勝久	仲 幸子	竹内洋平	丹羽沙也子	夏目達也	田中里香	鹿鳴淳美	安達裕史	酒井宏昌
5	林 直樹	木澤 朗	小牧憲充	長谷部紫	若山徳明	松原勝久	水谷浩久	井戸清治	西 善弘	津崎裕子	杉山清治	二村文敏	武藤秀彦	影浦 学	小島和秀	山田幸子	酒井宏昌	佐藤正樹	中島將仁	市村康晴
6	小野康雄	水野壽満	前田 仁	井上宜生	木澤 朗	松尾英子	高橋知子	中澤恵美	井戸由美	吉川敏幸	井戸清治	水口 猛	前田博子	長屋貴大	生駒伸一	長谷川智明	高木志保	竹内洋平	吉川敏幸	鈴木 愛
7	小牧憲充	加藤寿朗	深尾出路	竹中正子	川原正史	茂角良三	内海達也	生駒伸一	水口 猛	古川伸一	市原賢優	小島和秀	岩田庸一	吉川敏幸	松原勝久	前田博子	水口智人	羽中田理沙	田中里香	門 有宏
8	堀 修	杉山広之	猪飼迪子	池村和浩	長沼照代	池村和浩	市村孝嗣	渡辺悦男	杉山清治	松原勝久	川口 晋	長谷川智明	木澤慶和	小林竜二郎	川瀬大樹	渡辺俊丈	出川尚之	吉田 智	渡辺俊丈	
9	前田 仁	井上宜生	河田圭介	酒瀬川眞一	太田美智子	石原康秀	河田圭介								川口 晋		津田健介	井上悟郎		
10	河田圭介	竹中正子	渡辺克人	植田美智留																

3年生

名前	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学年主任	山田幸永	高寺義朗	後藤ひとみ	高寺義朗	後藤ひとみ	櫻井 譲	茂角良三	市村孝嗣	渡辺悦男	水口 猛	國居秀則	杉山清治	松原勝久	松原勝久	小林竜二郎	生駒伸一	長谷川智明	出川尚之	丸谷利幸	吉川敏幸
1	玉置啓示	太田美智子	堀 修	石井和子	山川 隆	井戸星子	水口 猛	古川真哉	生駒伸一	水口 猛	津崎裕子	浅見和人	熊崎俊介	津崎裕子	田之本麻衣子	影浦 学	津崎裕子	田之本麻衣子	羽中田圭理沙	岸 垂美
2	渡辺克人	長谷部紫	村上宏俊	渡辺克人	林 直樹	井戸由美	國居秀則	竹内芳子	浅見和人	今井弘文	酒井恭士	加藤泰幸	吉田 智	金森康二	出川尚之	可児奈緒美	若園直矢	後藤あやみ	佐藤正樹	天池光広
3	山川 隆	渡辺克人	加藤寿朗	松尾英子	山田哲志	井川茂雄	酒井恭士	市原賢優	市原賢優	竹内芳子	田中里香	小林竜二郎	生駒伸一	出川尚之	坪内清次郎	白井靖彦	加藤泰幸	長屋貴大	鹿嶋淳美	柴田佳祐
4	木澤慶和	石井和子	日野順徳	猪飼迪子	長谷部紫	前田 仁	杉山広之	酒井恭士	川口 晋	水谷浩久	古川真哉	生駒伸一	松原勝久	仲 幸子	田中里香	丹羽沙也子	可児奈緒美	田中里香	白井靖彦	佐藤正樹
5	村上宏俊	堀 修	木澤 朗	村上宏俊	櫻井 譲	長沼照代	加藤寿朗	水谷浩久	松原勝久	河田雅幸	吉川敏幸	二村文敏	松原勝久	影浦 学	竹内洋平	長谷川智明	出川尚之	金森康二	中島將仁	
6	井上宜生	籠橋数浩	林 直樹	高木茂和	深尾出路	川原正史	池村和浩	川口 晋	井戸清治	井戸由美	河田雅幸	井戸清治	川口 晋	前田博子	竹内洋平	生駒伸一	中島將仁	水口智人	石井清治	石井清治
7	杉山広之	河田圭介	杉山広之	小牧憲充	酒瀬川真一	水谷浩久	松尾英子	國居秀則	石原康秀	二村文敏	松原勝久	市原賢優	小島和秀	長谷川智明	吉川敏幸	水口智人	前田博子	高木志保	丸谷利幸	吉川敏幸
8	高木茂和	山川 隆	角田文嗣	深尾出路	池村和浩	水口 猛	桂川金衛	石原康秀	林 綾子	吉井綾子	古川伸一	川口 晋	長谷川智明	木澤慶和	小林竜二郎	川瀬大樹	渡辺俊丈	酒井宏昌	津田健介	渡辺俊丈
9	後藤ひとみ	前田 仁	井上宜生	前田 仁	植田美智留	小島和秀	茂角良三	池村和浩								木村京子		津田健介	井上悟郎	
10	小野 悟	林 直樹	竹中正子	河田圭介	渡辺克人															

定時制 担 任

全年年

学年	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1学年	長屋 修	牧田二郎	加藤宗太郎	加藤宗太郎	安藤和章	加藤宗太郎	安藤和章	多賀敏和	松井直也	安藤理絵	山岸岳大	上野真弘	山岸岳大	中島正勝	舟橋紀一	杉山愛美	上野真弘	武藤秀彦	熊澤 忍	渡邊 憲
2学年	梅田有剛	梅田有剛	渡辺義彦	渡辺義彦	加藤宗太郎	渡辺義彦	渡辺義彦	渡辺義彦	多賀敏和	松井直也	松井直也	山岸岳大	上野真弘	伊藤貴晴	渡部正実	三輪周平	三宅康平	上野真弘	尾閔清光	田口昂佑
3学年	加藤宗太郎	加藤宗太郎	渡辺邦友	渡辺邦友	渡辺義彦	安藤和章	牧田二郎	安藤和章	青木 久	井神明子	粥川貴也	水谷浩久	加納 篤	上野真弘	伊藤貴晴	渡部正実	三輪周平	杉山愛美	渡邊 憲 若宮洋介	熊澤 忍
4学年	津田厚雄	長屋 修	石上和晴	安藤和章	牧田二郎	牧田二郎	多賀敏和	牧田二郎	渡辺義彦	渡辺義彦	井神明子	粥川貴也	水谷浩久	舟橋紀一	上野真弘	舟橋紀一	渡部正実	三輪周平	杉山愛美	尾閔清光

全日制 職員在職年数(平成11~30年)

校長

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
森 俊勝																				
岩田 孝志																				
高屋 一行																				
古川 和明																				
白川 誠																				
大平 高司																				
鹿野 孝紀																				
篠田 憲明																				
高橋 博美																				
平野 弘																				
藤掛賀津博																				

教頭

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西山 公尚																				
林 洋造																				
土方二三男																				
生田 邦夫																				
原 賢仁																				
石井 謙二																				
渡邊 克尋																				
藤掛賀津博																				
田村 直明																				
天池 光治																				

国語科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
山田 晓																				
奥田美智子																				
土屋 敏枝																				
伊藤 薫																				
坂井 仁																				
砂場 道明																				
長谷部 紫																				
後藤ひとみ																				
塚原 秀幸																				
平石 恵子																				
松尾 英子																				
丸山 宏																				
井戸 由美																				
古川 真哉																				
川原 正史																				
小森 幸子																				
竹内 芳子																				
國居 秀則																				
佐藤 恵一																				
生駒 伸一																				
町井 知世																				
横山也寸志																				
安田 衣里																				
田之本麻衣子																				
丹羽沙也子																				
山田 千鶴																				
守屋 好香																				
鹿嶋 淳美																				
柴田 佳祐																				
成瀬 和康																				
井戸 由美																				
山中 徹也																				
講師																				
宮田 千里																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
草薙 郁美																				
遠藤 宗平																				
若井 陽子																				
長沼 雅子																				
牧村 修																				
奥田美智子																				
鹿嶋 淳美																				
真船麻里子																				
井戸田康子																				
浅野 知世																				
紀藤 聰子																				

●地歴公民科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
間宮 盛文																				
田島 昌穂																				
都竹 隆志																				
山本 登																				
田中 利行																				
渡辺 克人																				
井上 宜生																				
林 直樹																				
村上 宏俊																				
日野 順徳																				
日下部高敏																				
河内 祥子																				
和田 浩																				
酒井 恭士																				
松原 勝久																				
桂川 金衛																				
浅見 和人																				
千葉 有茂																				
赤塚 孝司																				
加藤 泰幸																				
大島 達史																				
出川 尚之																				
坪内清次郎																				
白井 靖彦																				
可児奈緒美																				
土井 誉仁																				
石井 清治																				
大塚 志門																				
安田 善紀																				
講師																				
赤塚 有史																				
都竹 隆志																				
須賀 琢也																				
桂川 金衛																				
赤塚 孝司																				
日比野政美																				
竹内 紗希																				
佐橋えり子																				
安藤 文典																				

●数学科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
武邑 恵右																				
藤澤 一博																				
山田 幸永																				
前田 仁																				
高寺 義郎																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
堀 修																				
水野 壽満																				
小野 悟																				
木澤 朗																				
深尾 出路																				
渡辺 昌文																				
酒瀬川真一																				
茂角 良三																				
若山 徳明																				
高橋 知子																				
小島 和秀																				
石原 康秀																				
市村 孝嗣																				
川口 普																				
川出 真由																				
丹羽 順子																				
小俣 太志																				
古川 伸一																				
杉山 清治																				
今井 弘文																				
熊崎 俊介																				
仲 幸子																				
山田 幸子																				
小林竜二郎																				
武藤 秀彦																				
竹内 洋平																				
若園 直矢																				
渡辺 俊丈																				
山内 生真																				
津田 健介																				
安達 裕史																				
織部 茂美																				
武田 咲子																				
鈴木 愛																				
門 有宏																				
山本 僚郎																				
講師																				
松野 幸子																				
加藤 欣吾																				
棚橋 弘光																				
武邑 恵右																				
牧村 修																				
横山 友香																				
藤澤 一博																				
森 道男																				
筑樋 良文																				
渡邊 克尋																				
森島 久典																				
境田 昌寛																				
青木 悠一																				
河合 晃平																				

●理科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西尾 邦彦																				
山田 和美																				
竹中 正子																				
山川 隆																				
加藤 寿朗																				
錦見 壱朗																				
籠橋 数浩																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
小野 康雄																				
木澤 慶和																				
河田 圭介																				
長沼 照代																				
池村 和浩																				
松井 裕子																				
水谷 浩久																				
松浦 真紀																				
谷口 真紀																				
吉井(林)綾子																				
井戸 清治																				
渡辺 悅男																				
河田 雅幸																				
中澤 恵美																				
吉川 敏幸																				
長谷川智明																				
岩田 康一																				
川瀬 大樹																				
水口 智人																				
中島 將仁																				
須田 知代																				
丸谷 利幸																				
酒井 宏昌																				
井上 悟郎																				
市村 康晴																				
天池 光広																				
講 師																				
西田 亮																				
高間 肇																				
杉山 謙次																				
西尾 邦彦																				
富田 鮎美																				
寺下 真紀																				
野村 直志																				
井上 悟郎																				
可知 宏子																				
小島 礼子																				
須田 知代																				
渡辺 悅男																				
藤村 優																				
山田 駿																				
五島 佳奈																				
実習教諭																				
鈴木百合子																				
傍島まつ枝																				
原 公香																				
貝川 友子																				
林 怜																				
実習助手																				
原 公香																				
貝川 友子																				
中路さえ子																				
石原有宇子																				
丹羽さゆり																				
小島 礼子																				
溝際 亜希																				
林 怜																				
小島 知己																				

●保健体育科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
服部 茂治																				
佐藤 宏夫																				
石上 和晴																				
横山 厚志																				
戸谷 元治																				
細井 芳子																				
小牧 憲充																				
杉山 広之																				
永瀬 由香																				
山田 哲志																				
吉田 正徳																				
青田 英司																				
井川 茂雄																				
内海 達也																				
横井内彰司																				
酒井 亜矢																				
西 善弘																				
古田 丈博																				
林 義貴																				
垣下 孝純																				
矢崎 誠																				
金森 康二																				
吉田 智																				
長屋 貴大																				
夏目 達也																				
杉山 典孝																				
座馬美都志																				
講師																				
藤原 厚良																				
古田 雅穂																				
平出奈津子																				
安藤 和章																				
伊佐治美希																				
可知 誠																				
石井 謙二																				
夏目 達也																				
水谷 賢司																				
西原 修二																				
西部 優一																				
養護教諭																				
佐藤由希子																				
福井真由美																				
後藤 純子																				
栗本 志麻																				
安江 清美																				
養護助教諭																				
田中 美紀																				
養護講師																				
浅野 明子																				
小松美智世																				
小林 泰子																				
加藤 まき																				

●芸術科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
棚橋 文代																				
布山 淳一																				
藤森 東子																				
渡邊 緑郎																				
降旗 一成																				
村瀬 範弘																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
講師																				
中村知佐紀																				
古川 瑞子																				
岩垂満千子																				
古田真寿美																				
渡邊 緑郎																				
棚橋 文代																				
鈴木百合子																				

○英語科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
講師																				
伊佐治照子																				
玉置 啓二																				
猪飼 迪子																				
大坪 真之																				
有賀 欣哉																				
別所 正史																				
石井 和子																				
太田美智子																				
高木 茂和																				
角田 文嗣																				
植田美智留																				
鈴木ひろ子																				
井戸 星子																				
大江 葉子																				
井上いずみ																				
櫻井 譲																				
水口 猛																				
前田 博子																				
大矢 正明																				
石川 桂子																				
藤井 佳一																				
市原 賢優																				
二村 文敏																				
津崎 裕子																				
堀江 研二																				
田中 里香																				
山本 幹也																				
天野 由佳																				
景浦 学																				
高木 志保																				
木村 京子																				
高木小百合																				
佐藤 正樹																				
岸 垣美																				
羽中田 亜理沙																				
後藤あやみ																				
瓜田 裕哉																				
澤田あづさ																				
講師																				
高田 文子																				
横山 衣里																				
猪飼 迪子																				
長沼 雅子																				
大矢 正明																				
奥田 智子																				
酒向 智子																				
森 美秀																				
井戸田康子																				
石井 和子																				
赤池 仁美																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
神谷 和孝																				
橋本 匡代																				
ALT ※ALTは前年度8月～該年度7月までの在籍																				
Imogen Rands																				
Jeannie Pang																				
Kerry Moses																				
Jonathan Quan																				
Bryce																				
Clara																				
Kimberly Cain																				
Stockton Taylor																				

●家庭科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加藤 敦子																				
下野恵理子																				
小串 幹恵																				
水阪 文恵																				
櫻井愛里子																				
青井ゆり子																				
講師																				
日比野 泉																				
神原 由佳																				
熊澤 瞳美																				
汲田 和美																				
奥村 陽子																				
今西 周子																				
岩屋 実希																				
長谷川 由美子																				

定時制 職員在職年数(平成11～30年)

●校長

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
森 俊勝																				
岩田 孝志																				
高屋 一行																				
古川 和明																				
白川 誠																				
大平 高司																				
鹿野 孝紀																				
篠田 憲明																				
高橋 博美																				
平野 弘																				
藤掛賀津博																				

●副校長

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
井戸端清司																				
浅井 文英																				
石井 和子																				
古木 増美																				
長繩 正治																				
米山英津子																				
増田 文代																				
亀山 弘																				
浅野忠一郎																				

●教頭

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
夏目 重之																				
小池 邦夫																				
若園 貞一																				
加藤 善朗																				
石井 謙二																				

●国語科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
梅田 有剛																				
安藤 理絵																				
井神 明子																				
山岸 岳大																				
伊藤 貴晴																				
舟橋 紀一																				
杉山 愛美																				
高瀬 聰子																				
講師																				
清水 愛子																				
藤井 由起																				
堀江可南子																				
田口 昂佑																				

●地歴公民科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
津田 厚雄																				
牧田 二郎																				
青木 久																				
粥川 貢也																				
中島 正勝																				
三輪 周平																				
今井 誠弥																				

●数学科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
長屋 修																				
渡辺 義彦																				
筑樋 良文																				
上野 真弘																				
座馬 朋明																				
武藤 秀彦																				
渡邊 憲																				

●理科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加藤宗太郎																				
多賀 敏和																				
水谷 浩久																				
岩田 康一																				
熊澤 忍																				

●保健体育科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
西村 正治																				
石神 和晴																				
安藤 和章																				
松井 直也																				
尾関 清光																				
講師																				
大江 悟																				
今井 章文																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
加納 篤																				
垣下 孝純																				
夏目 達也																				
平岡 勇人																				
三宅 康平																				
吉良 朋恵																				
若宮 洋介																				
養護教諭																				
玉木 里佳																				
朝日美也子																				
杉島美也子																				
山本 由香																				
高橋 翔子																				
國枝 奈穂																				
養護講師																				
井戸 麻里																				

○芸術科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
渡邊 緑郎																				
古田真寿美																				
講師																				
安藤 満																				
佐野 留奈																				
大島 留奈																				
西澤 香織																				
古田真寿美																				
大嶋 漢																				
国枝 直子																				
棚橋 文代																				

○英語科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
渡辺 邦友																				
石井 和子																				
森 美秀																				
渡部 正実																				
玉木 英治																				
横山美有紀																				
講師																				
水越 博																				
中河 志保																				
鈴木賀寿子																				

○家庭科

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
汲田 和美																				
櫻井愛里子																				
青井ゆり子																				
講師																				
渡辺美代子																				
汲田 和美																				
今西 周子																				
大島 直子																				

事務部職員 在職年数(平成11~30年)

●事務部長

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
祖父江 滋																				
稻村 篤治																				
石坂 修																				
政井 敏夫																				
若山 充																				
熊田 隆起																				
中山 実夫																				
加藤 和也																				
伊藤 佳孝																				
奥村 正則																				
竹内 英雄																				

●事務部

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
栗本 稔																				
村山 輝彦																				
枝松由利子																				
酒井田 恭子																				
安江 寿明																				
山下サツキ																				
中野 弘																				
佐合 豊利																				
川島 正治																				
岡野 浩昭																				
藤下 澄雄																				
武藤 友美																				
後藤 里美																				
野原 永子																				
森 里志																				
宮西 武彦																				
高木 淳次																				
伊藤 広保																				
田原 紀恵																				
長尾 健児																				
小池 明美																				
近藤 聰美																				
渡辺 康子																				
佐藤 幸延																				
田辺 敬雄																				
伏屋 輝孝																				
佐藤 知子																				
喜田加那子																				
川島 育海																				
山田 幸正																				
大矢 文哉																				
室賀 文哉																				
学校司書																				
桜井 孝子																				
清水ふじ子																				
大野利恵子																				
石崎 紀子																				
山下理恵子																				
坪井 敏二																				
学校用務員																				
佐橋 幸子																				
町田 洋子																				
渡辺 文義																				
業務専門職																				
加藤 登																				
鈴村 保																				

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
岩井 恒美																				
渡辺 文義																				
田下 真穂																				

●その他

氏名	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
部活動指導員																				
林 弘子																				
西山 和子																				
神保 孝之																				
伊藤可代子																				
柘植 洋子																				
武山ひとみ																				
山内 一																				
近藤 紀公																				
武藤 純代																				
長谷川清志																				
高野 春見																				
赤塚 孝司																				
高木久美子																				
櫻井愛里子																				
調理従業員																				
藤田 祥子																				
宮内美弥子																				
横田千恵子																				
外国人生徒適応指導員																				
カジダリ・アリナ・ケ・醍																				
吉田よしえ																				
間田グロリア																				
メネシオ・キーン・エスベラシザ 星野 希音																				
就職指導員																				
佐藤 正道																				
支 援 員																				
安江祐三子																				

生徒会活動の記録

平成 11 年度 (1999)

全日制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学(8~15日)
9日 前期クラス役員選出
14日 1年生生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
15日 文化系部活動見学会
16日 1年生部活動仮登録
20日 生徒会一斉委員会
23日 1年生部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 1日 1年生リーダー研修会
12日 球技大会
26日 文化祭第一回係会・係会活動開始
27日 生徒総会・生徒会役員認証式
6月 8日 体育祭結団式
25日 文化祭クラス企画決定
7月 8日 応援団実行委員会
20日 執行委員会リーダー研修会(~21日)
(夏休み中 文化祭準備)
8月31日 加茂校祭準備(~9月6日)
9月 7日 加茂高祭<文化祭>(~8日)
ボランティア委員会
福祉施設(ひまわりの家)へ寄贈
9日 加茂高祭<体育祭>
9月25日 生徒会役員選挙告示
10月 7日 後期クラス役員選出(2年14日)
18日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
23日 ボランティア委員会
美濃加茂市福祉協議会より感謝状
25日 生徒会一斉委員会
2月24日 教養講座
29日 3年生を送る会
3月25日 生徒会リーダー研修(~26日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 近藤 佳宜(3年)
副執行委員長 味藤 龍吾(3年)
執行委員
古山拓(3年) 林 真理子(3年)
酒向志穂子(3年) 長谷部裕子(2年)
渡邊 健太(2年) 矢嶋 毅宏(2年)
中嶋 充(2年) 若山 竜大(2年)
島尻 知里(2年) 野村 愛(2年)
藤田 有(1年) 秋山あかね(1年)
中島由里加(1年) 尾関 幹也(1年)
馬場 繕弘(1年) 山口 達矢(1年)
太田 千央(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 渡邊 健太(2年)
副執行委員長 長谷部裕子(2年)
執行委員
安江 章徳(2年) 矢嶋 毅宏(2年)
北村 将宏(2年) 中嶋 充(2年)
島尻 知里(2年) 野村 愛(2年)
藤田 有(1年) 秋山あかね(1年)
伊佐治 歩(1年) 中島由里加(1年)
尾関 幹也(1年) 馬場 繕弘(1年)
山口 達矢(1年) 武市 麻里(1年)
太田 千央(1年)

加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年9組 「空のない星」
- ステージ部門優秀賞
3年5組 「ひめゆりの塔」
- 展示部門優秀賞
3年10組 「リサイクル～資源は有限～」
- 学校長特別賞
3年2組 「和風館」
- 生徒会長特別賞
2年1組 「ミュージカルパント
～晴れしき世界～」
- 文化部門優秀賞
吹奏楽部
O P R 大賞
3年2組



体育祭

- 総合 優勝 北部
- 競技 優勝 北部
- 応援 優勝 西部
- H R 対抗リレー
男子優勝 2年9組
女子優勝 2年9組



平成 11 年度 修学旅行



平成 12 年度 (2000)

全 日 制

- 4月11日 新入生歓迎会
1年生部活動見学(10～17日)
12日 前期クラス役員選出
13日 1年生生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
14日 文化系部活動見学会(～15日)
18日 1年生部活動仮登録
21日 生徒会一斉委員会
25日 1年生部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 6日 1年生リーダー研修会
17日 球技大会 生徒会役員認証式
20日 P T A 役員・生徒会執行部との懇談
23日 文化祭第一回係会・係会活動開始
6月 6日 体育祭結団式
26日 文化祭クラス企画決定
7月 10日 応援団実行委員会
20日 執行委員会リーダー研修会(～21日)
(夏休み中 文化祭準備)
8月31日 加茂校祭準備(～9月5日)
9月 6日 加茂高祭<文化祭>(～7日)
8日 加茂高祭<体育祭>
9月21日 生徒会役員選挙告示
10月 5日 後期クラス役員選出
16日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
25日 生徒会一斉委員会
2月29日 3年生を送る会
3月25日 生徒会リーダー研修(～26日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 渡邊 健太(3年)
副執行委員長 長谷部裕子(3年)
執行委員
矢嶋 毅宏(3年) 安江 章徳(3年)
中嶋 充(3年) 北村 将宏(3年)
島尻 知里(3年) 野村 愛(3年)
藤田 有(2年) 馬場 繕弘(2年)
伊佐治 歩(2年) 尾関 幹也(2年)
村瀬 達矢(2年) 中島由里加(2年)
秋山あかね(2年) 山口 達矢(2年)
太田 千央(2年) 武市 麻里(2年)
早川 佳江(1年) 代財愛陽里(1年)
市原 三穂(1年) 牧尾 亜矢(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 馬場 繕弘(2年)
副執行委員長 山口 達矢(2年)
執行委員
藤田 有(2年) 伊佐治 歩(2年)
尾関 幹也(2年) 村瀬 達矢(2年)
長谷川和哉(2年) 中島由里加(2年)
秋山あかね(2年) 太田 千央(2年)
武市 麻里(2年) 早川 佳江(1年)
代財愛陽里(1年) 市原 三穂(1年)
牧尾 亜矢(1年)

加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「舞姫」
○ステージ部門優秀賞
3年1組 「A n n i e」
○展示部門優秀賞
2年2組 「The British Museum-Brand-new」
○学校長特別賞
3年5組 「牧野太鼓」
○生徒会長特別賞
3年10組 「劉」
○文化部門優秀賞
手話部「白雪ひめ」



体育祭

- 総合優勝 北部
○競技優勝 北部
○応援優勝 東部
○H R 対抗リレー
男子優勝 2年8組
女子優勝 1年5組



平成 12 年度 強歩大会



平成 13 年度 (2001)

全日制

- 4月10日 新入生歓迎会
 1年生部活動見学(9～16日)
 前期クラス役員選出
 鯉のぼり掲揚(1年代表、生徒会)
 12日 1年生生徒会オリエンテーション
 (生徒会活動・部活動紹介)
 13日 文化系部活動見学会(～14日)
 17日 1年生部活動仮登録
 19日 生徒会一斉委員会
 23日 1年生部活動本登録・一斉部会
 1年生部活動開始
 5月 8日 1年生リーダー研修会
 15日 球技大会
 21日 生徒会役員認証式
 23日 文化祭第一回係会・係会活動開始
 6月 21日 体育祭役員選出・結団式・壮行会
 28日 文化祭クラス企画決定
 30日 教養講座(佛教大学 黒田恭史氏)
 七夕企画
 7月 5日 応援団実行委員会
 21日 執行委員会リーダー研修会(～22日)
 (夏休み中 文化祭準備)
 8月 30日 加茂高祭準備(～9月4日)
 9月 5日 加茂高祭<文化祭>(～6日)
 7日 加茂高祭<体育祭>
 28日 生徒会役員選挙告示
 10月 4日 後期クラス役員選出
 15日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
 25日 生徒会一斉委員会(図書のみ23日)
 2月 28日 3年生を送る会
 3月 23日 生徒会リーダー研修(～24日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 馬場 繕弘(3年)
 副執行委員長 山口 達矢(3年)
 執行委員
 藤田 有(3年) 伊佐治 歩(3年)
 伊藤 純平(3年) 尾関 幹也(3年)
 中島由里加(3年) 秋山あかね(3年)
 太田 千央(3年) 代財愛陽里(2年)
 伊藤 久史(2年) 田口 智也(2年)
 牧尾 亜矢(2年) 駒居さつき(1年)
 若葉 和秀(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 山田 亮太(2年)
 副執行委員長 座間 賢(2年)
 執行委員
 早川 佳江(2年) 代財愛陽里(2年)
 伊藤 久史(2年) 田口 智也(2年)
 柚植 慎治(2年) 牧尾 亜矢(2年)
 堀部 元徳(1年) 森 雄平(1年)
 井林 結衣(1年) 千代延佳奈(1年)
 駒居さつき(1年) 若葉 和秀(1年)

加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
 3年9組 「VISA OF LIFE」
- 優秀賞
 3年2組 「マリコ」
 3年10組 「20世紀博物館」
- 学校長特別賞
 2年9組 「THE☆ビー玉」
- 生徒会長特別賞
 2年1組 「ピノキオ」
- 文化部門優秀賞
 美術部



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 東部
- H R 対抗リレー
 男子優勝 3年8組
 女子優勝 2年4組



平成 13 年度 修学旅行



平成 14 年度 (2002)

全 日 制

- 4月 8日 新入生歓迎会
1年生部活動見学(8~15日)
前期クラス役員選出
11日 1年生生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
16日 1年生部活動仮登録
18日 生徒会一斉委員会
23日 1年生部活動本登録・統一部会
1年生部活動開始
5月 10日 1年生リーダー研修会
15日 球技大会
22日 生徒会役員認証式
6月 7日 体育祭結団式
10日 文化祭展示講習会
13日 体育祭選手選出
27日 文化祭クラス企画決定 L H R
7月 1日 七夕企画(~5日)
20日 執行委員リーダー研修会(~21日)
8月 26日 加茂高祭準備(~9月3日)
9月 4日 加茂高祭<文化祭>(~5日)
10日 加茂高祭<体育祭>
19日 生徒会役員選挙公示
10月 3日 後期クラス役員選出
18日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
30日 生徒会一斉委員会
2月 28日 3年生を送る会
3月 22日 執行委員リーダー研修(~23日)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
2年5組 「ライオンキング」
○優秀賞
3年1組 「天使にラブソングを」
3年10組 「アルジャーノンに花束を」
○特別賞(技術)
2年6組 「浮遊～ホバークラフトへの挑戦」
○特別賞(創作)
3年9組 「仁～人のために」
○特別賞(テーマ)
1年7組 「war on Terroism」
○最優秀のぼり賞
3年6組



体育祭

- 総合優勝 西部
○競技優勝 西部
○応援優勝 西部
○H R 対抗リレー
男子優勝 3年8組
女子優勝 2年4組



前期生徒会執行委員

- 執行委員長 山田 亮太(3年)
副執行委員長 座間 賢(3年)
執行委員
早川 佳江(3年) 代財愛陽里(3年)
伊藤 久史(3年) 古川 太一(2年)
堀部 元徳(2年) 井林 結衣(2年)
千代延佳奈(2年) 若葉 和秀(2年)
森 雄平(2年) 杉山 裕哉(2年)
長谷川 潤(2年) 阪本美和子(1年)
野村 望(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 若葉 和秀(2年)
副執行委員長 杉山 裕哉(2年)
執行委員
吉川 太一(2年) 堀部 元徳(2年)
梅津 美希(2年) 加納 友代(2年)
井林 結衣(2年) 千代延佳奈(2年)
森 雄平(2年) 長谷川 潤(2年)
阪本美和子(1年) 野村 望(1年)
加藤 俊介(1年) 平井 友規(1年)
渡邊 千洋(1年)

平成 15 年度 (2003)

全日 制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学(9～14日)
11日 生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
15日 1年生部活動仮登録
18日 生徒会一斉委員会
21日 生徒会認証式
22日 1年生部活動本登録・統一部会
1年生部活動開始
5月 10日 1年生リーダー研修会
13日 球技大会
6月 5日 体育祭結団式
12日 体育祭選手選出
7月 7日 七夕企画
9日 教養講座
7月 19日 生徒会リーダー研修(～20日)
8月 25日 加茂高祭準備(～9月2日)
9月 3日 加茂高祭<文化祭>(～4日)
5日 加茂高祭<体育祭>
19日 生徒会選挙公示
10月 2日 後期クラス役員選出
17日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
30日 生徒会一斉委員会
2月 27日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 若葉 和秀(3年)
副執行委員長 杉山 裕哉(3年)
執行委員
古川 太一(3年) 堀部 元徳(3年)
梅津 美希(3年) 加納 友代(3年)
井林 結衣(3年) 千代延佳奈(3年)
長谷川 潤(3年) 阪本美和子(2年)
平井 友規(2年) 野村 望(2年)
加藤 俊介(2年) 渡辺 千洋(2年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 野村 望(2年)
副執行委員長 平井 友規(2年)
執行委員
阪本美和子(2年) 加藤 俊介(2年)
渡辺 千洋(2年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「Life is beautiful
～世界で一番美しい嘘～」
- 優秀賞
3年2組 「ペロ出しチョンマ」
3年9組 「誠～新撰組義勇伝～」
- 特別賞 チームワーク
3年5組 「チアーズ」
- 特別賞 パフォーマンス
2年6組 「サル2・バン・コ6
びっくりどっきり大作戦
～impression performance～」
- 特別賞 アート
1年7組 「Light The ジブリ」
- 最優秀のぼり賞
3年1組 「Life is beautiful
～世界で一番美しい嘘～」



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 南部
- H R 対抗リレー
男子優勝 2年9組
女子優勝 2年1組



平成 15 年度 修学旅行



平成 16 年度 (2004)

全日 制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学(9～14日)
13日 生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
15日 1年生部活動仮登録
20日 生徒会一斉委員会
21日 生徒会認証式
22日 1年生部活動本登録・統一部会
1年生部活動開始
5月 7日 1年生リーダー研修会
18日 球技大会
6月 8日 体育祭結団式
10日 体育祭選手選出
18日 教養講座
7月 7日 七夕企画
19日 生徒会リーダー研修(～20日)
8月 25日 加茂高祭準備(～31)
9月 1日 加茂高祭<文化祭>(～2日)
3日 加茂高祭<体育祭>
17日 生徒会選挙公示
10月 1日 後期クラス役員選出
15日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
28日 生徒会一斉委員会
2月 28日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 野村 望(3年)
副執行委員長 平井 友規(3年)
執行委員
亀園枝里香(2年) 長谷川 恵(2年)
神谷 瞳(2年) 川上 香(2年)
林 泰正(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 亀園枝里香(2年)
副執行委員長 神谷 瞳(2年)
執行委員
長谷川 恵(2年) 梅津 昌也(2年)
川上 香(2年) 樋口 慎吾(2年)
林 泰正(1年) 鈴木 春香(1年)
大野恵利佳(1年)



加茂高祭

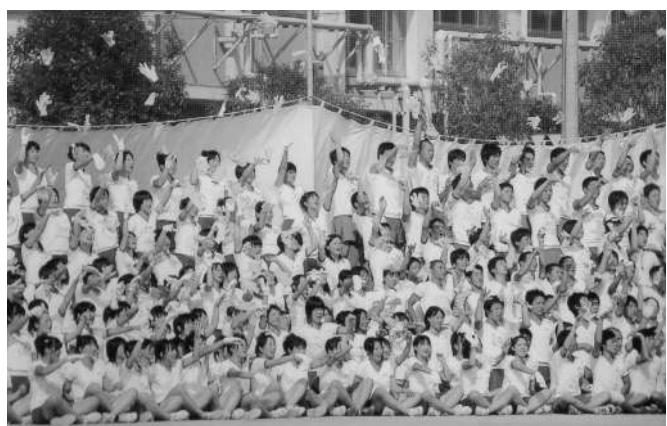
文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「さとうきび畑の唄」
○優秀賞
3年2組 「Annie」
3年9組 「Stand by me」
○特別賞 ハッスル部門
3年8組 「マッスル・ミュージカル」
○特別賞 青春部門
3年7組 「恋に唄えば♪」
○最優秀のぼり賞
3年5組 「My friend Forever」



体育祭

- 総合優勝 東部
○競技優勝 東部
○応援優勝 北部
○H R 対抗リレー
男子優勝 2年6組
女子優勝 1年6組



平成 16 年度 修学旅行



平成 17 年度 (2005)

全日 制

- 4月11日 新入生歓迎会
- 12日 1年生部活動見学(～14日)
生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
- 15日 1年生部活動仮登録
- 19日 生徒会一斉委員会
- 20日 生徒会認証式
- 21日 1年生部活動本登録・統一部会
1年生部活動開始
- 5月 1年生リーダー研修会
- 18日 球技大会
- 6月 7日 体育祭結団式
9日 体育祭選手選出
- 7月16日 生徒会リーダー研修(～17日)
- 8月 加茂高祭準備
- 9月 5日 加茂高祭<文化祭>(～6日)
7日 加茂高祭<体育祭>
- 20日 生徒会選挙公示
- 10月 後期クラス委員選出
20日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
26日 生徒会一斉委員会
- 2月28日 3年生を送る会
- 3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 亀園枝里香(3年)
- 副執行委員長 神谷 瞳(3年)
- 執行委員
長谷川 恵(3年) 川上 香(3年)
梅津 昌也(3年) 樋口 慎吾(3年)
美濃輪晃人(3年) 鈴木 春香(2年)
大野恵利佳(2年) 鈴木 夏生(1年)
杉山明日香(1年) 黒田 真琴(1年)
林 源起(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 大野恵利佳(2年)
- 副執行委員長 鈴木 春香(2年)
- 執行委員
鈴木 夏生(1年) 杉山明日香(1年)
林 源起(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「chorus」
- 優秀賞
3年1組 「天使にラブソングを」
3年5組 「サトラレ」
- 最優秀のぼり賞
3年9組 「トイストーリー」
- 特別賞
3年3組 「7人の侍」
2年2組 「S T A P」
1年5組 「モザイク画」



体育祭

- 総合優勝 南部
- 競技優勝 南部
- 応援優勝 南部
- H R 対抗リレー
男子優勝 2年6組
女子優勝 2年4組



平成 17 年度 修学旅行



平成 18 年度 (2006)

全 日 制

- 4月10日 新入生歓迎会
1年生部活動見学
11日 生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
17日 1年生部活動仮登録
18日 生徒会一斉委員会
19日 生徒会認証式
20日 1年生部活動本登録・統一部会
1年生部活動開始
5月 1年生リーダー研修会
16日 球技大会
6月 6日 体育祭団結式
8日 体育祭選手選出
7月14日 生徒会リーダー研修(～16日)
8月 加茂高祭準備
9月 4日 加茂高祭<文化祭>(～5日)
6日 加茂高祭<体育祭>
19日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス委員選出
16日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
10月30日 生徒会一斉委員会
2月28日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 大野恵利佳(3年)
副執行委員長 鈴木 春香(3年)
執行委員
亀井 英喜(3年) 鈴木 夏生(2年)
杉山明日香(2年) 加藤 瑞喜(1年)
米田 法子(1年) 小倉 更紗(1年)
林 ひかる(1年) 生駒 真帆(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 鈴木 夏生(2年)
副執行委員長 杉山明日香(2年)
執行委員
加藤 瑞喜(1年) 米田 法子(1年)
小倉 更紗(1年) 林 ひかる(1年)
生駒 真帆(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「Life is beautiful」
○優秀賞
3年3組 「THE LION KING」
3年8組 「三銃士」
○特別賞
1年1組 「Shall we dance ?」
2年6組 「S T O M P」
3年4組 「The sound of music」



体育祭

- 総合優勝 東部
○競技優勝 東部
○応援優勝 東部
○H R 対抗リレー
男子優勝 2年7組
女子優勝 2年2組



平成 18 年度 修学旅行



平成 19 年度 (2007)

全日 制

- 4月10日 新入生歓迎会
1年生部活動見学
- 11日 生徒会オリエンテーション
(生徒会活動・部活動紹介)
- 17日 生徒会一斉委員会
- 18日 1年生部活動仮登録・生徒会認証式
- 24日 1年生部活動本登録
1年生部活動開始
- 5月10日 1年生リーダー研修会
- 29日 球技大会
- 6月12日 体育祭団結式
14日 体育祭選手選出
- 7月13日 生徒会リーダー研修(～15日)
- 8月 加茂高祭準備
- 9月 5日 加茂高祭<文化祭>(～6日)
7日 加茂高祭<体育祭>
- 10月 後期クラス委員選出
12日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
- 25日 生徒会一斉委員会
- 2月29日 3年生を送る会
- 3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 鈴木 夏生(3年)
- 副執行委員長 杉山明日香(3年)
- 執行委員
加藤 瑞貴(2年) 米田 法子(2年)
林 ひかる(2年) 小倉 更紗(2年)
生駒 真帆(2年) 中島あかね(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 小倉 更紗(2年)
- 副執行委員長 生駒 真帆(2年)
- 執行委員
加藤 瑞賢(2年) 米田 法子(2年)
林 ひかる(2年) 横山 寛和(2年)
中島あかね(1年)

加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「HIGH☆SCHOOL MUSICAL」
- 優秀賞
3年2組 「WESTSIDE STORY」
3年7組 「Bank Bang! Lesson」
- 特別賞
2年1組 「Shall we dance?」
2年5組 「CAMPIN×3」
3年5組 「Always.五丁目の夕日」



体育祭

- 総合優勝 南部
- 競技優勝 南部
- 応援優勝 南部
- H R 対抗リレー
男子優勝 3年5組
女子優勝 2年5組



平成 20 年度 (2008)

全 日 制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活見学
10日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
15日 生徒会一斉委員会
16日 生徒会役員認証式
1年生部活動仮登録
22日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 1年生リーダー研修会
27日 球技大会
6月 12日 体育祭選手選出
26日 体育祭団結式
7月 19日 生徒会リーダー研修(～21日)
8月 加茂高祭準備
9月 2日 加茂高祭<文化祭>(～3日)
4日 加茂高祭<体育祭>
26日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス委員会選出
10日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
23日 生徒会一斉委員会
11月 10日 生徒会役員認証式
2月 27日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式
21日 生徒会リーダー研修(～22日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 小倉 更紗(3年)
副執行委員長 生駒 真帆(3年)
執行委員
加藤 瑞喜(3年) 米田 法子(3年)
林 ひかる(3年) 西垣 智仁(3年)
山本靖太郎(3年) 中島あかね(2年)
竹腰 開(2年) 稲熊 彩(2年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 中島あかね(2年)
副執行委員長 稲熊 彩(2年)
執行委員
長瀬 聖(2年) 中城 有喜(2年)
大場 隆輔(2年) 竹腰 開(2年)
曾我健太郎(2年) 林 達矢(2年)
1年生…10名



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「フラガール」
○優秀賞
3年1組 「HAIR SPRAY Shall we dance? The last」
3年4組 「美女と野獣」
○特別賞
1年4組 「デジタルアート」
3年5組 「T H E 三名様」
3年6組 「白虎隊」



体育祭

- 総合優勝 北部
○競技優勝 北部
○応援優勝 北部



平成 20 年度 修学旅行



平成 21 年度 (2009)

全日制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部見学会
- 10日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
- 15日 生徒会一斉委員会
- 16日 1年生部活仮登録
- 17日 生徒会認証式
- 21日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
- 5月 8日 1年リーダー研修会
26日 球技大会
- 6月 11日 体育祭選手選出
25日 体育祭結団式
- 7月 17日 生徒会リーダー研修(～19日)
- 8月 加茂高祭準備
- 9月 1日 加茂高祭<文化祭>(～2日)
3日 加茂高祭<体育祭>
- 25日 生徒会選挙公示
- 10月 後期クラス役員選出
9日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
22日 一斉委員会
- 11月 9日 生徒会役員認証式
- 2月 28日 3年生を送る会
- 3月 1日 卒業式
19日 生徒会リーダー研修(～21日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 中島あかね(3年)
- 副執行委員長 稲熊 彩(3年)
- 執行委員
長瀬 聖(3年) 木下 祐希(3年)
黒木 汐穂(3年) 中城 有喜(3年)
大場 隆輔(3年) 竹腰 開(3年)
林 達矢(1年) 曾我健太郎(3年)
井上 裕未(2年) 梅村彩貴子(2年)
日江井翔馬(2年) 山本啓一朗(2年)
井上 和樹(2年) 繁纈 涼馬(2年)
川延 拓也(2年) 小林 靖弘(2年)
板津 伶奈(2年) 石丸 綾太(2年)
高橋 雅也(2年) 酒向 達也(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 板津 伶奈(2年)
- 副執行委員長 小林 靖弘(2年)
- 執行委員
安江 紳悟(2年) 井上 裕未(2年)
梅村彩貴子(2年) 日江井翔馬(2年)
山本啓一朗(2年) 井上 和樹(2年)
繁纈 涼馬(2年) 大塚 晓登(2年)
川延 拓也(2年) 石丸 綾太(2年)
高橋 雅也(2年) 酒向 達也(1年)

加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年5組 「ウォーターボーイズ」
- 優秀賞
3年2組 「HIGH SCHOOL MUSICAL」
3年4組 「Life is Beautiful」
- 特別賞
3年1組 「さとうきび畠」
2年7組 「Animated Seven」
1年7組 「YES WE CAN」
- のぼり最優秀賞 3年3組
- のぼり優秀賞 3年6組



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 北部



平成 21 年度 修学旅行



平成 22 年度 (2010)

全 日 制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部見学会
12日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
15日 生徒会一斉委員会
16日 1年部仮登録
19日 生徒会認証式
20日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 12日 1年生リーダー研修会
25日 球技大会
6月 10日 体育祭選手選出
24日 体育祭結団式
7月 16日 生徒会リーダー研修(～17日)
8月 加茂高祭準備
8月 31日 加茂高祭<文化祭>(～9月 1日)
2日 加茂高祭<体育祭>
21日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス役員選出
8日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
21日 一斉委員会
11月 9日 生徒会役員認証式
2月 28日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式
18日 生徒会リーダー研修(～19日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 板津 伶奈(3年)
副執行委員長 小林 靖弘(3年)
執行委員
安江 紳悟(3年) 梅村彩貴子(3年)
日江井翔馬(3年) 山本啓一朗(3年)
井上 和樹(3年) 繁纈 涼馬(3年)
大塚 晓登(3年) 石丸 綾太(2年)
角谷 美晴(2年) 酒向 達也(2年)
前島 悠作(2年) 吉田 将人(2年)
繩纈 直寛(1年) 中島 秀樹(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 酒向 達也(2年)
副執行委員長 前島 悠作(2年)
執行委員
足立 みく(2年) 角谷 美晴(2年)
玉置 桃子(2年) 二村稚菜美(1年)
吉田 将人(2年) 繁纈 直寛(1年)
中島 秀樹(1年) 藤井 伸司(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年7組 「Winds of God—零の彼方に—」
○優秀賞
3年1組 「カラフル」
3年2組 「うた魂」
○特別賞
1年6組 「トイストーリー 光と影の世界」
2年1組 「Dance Party」
3年5組 「吉川新喜劇」
○のぼり最優秀賞 3年4組
○のぼり優秀賞 3年6組



体育祭

- 総合優勝 北部
○競技優勝 北部
○応援優勝 南部



平成 22 年度 修学旅行



全日制

平成 23 年度 (2011)

- 4月10日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
- 13日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
- 15日 生徒会一斉委員会
- 18日 1年生部活動仮登録
生徒会認証式
- 21日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
- 5月11日 1年生リーダー研修会
- 24日 球技大会
- 7月11日 体育祭選手選出
体育祭結団式
- 15日 生徒会リーダー研修(～16日)
- 8月 加茂高祭準備
- 8月31日 加茂高祭<文化祭>(～9月1日)
- 9月6日 加茂高祭<体育祭>
- 16日 生徒会選挙公示
- 10月 後期クラス役員選出
- 3日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
- 20日 一斉委員会
- 11月4日 生徒会役員認証式
- 2月28日 3年生を送る会
- 3月1日 卒業式
- 16日 生徒会リーダー研修(～19日)

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 酒向 達也(3年7組)
- 副執行委員長 前島 悠作(3年8組)
- 執行委員
- 足立 みく(3年) 角谷 美晴(3年)
- 玉置 桃子(3年) 吉田 将人(3年)
- 中島 秀樹(2年) 二村稚菜美(2年)
- 纏纏 直寛(2年) 藤井 伸司(2年)
- 中島 慧(1年) 前島 瑞穂(1年)
- 可児 佳寛(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 纏纏 直寛(2年)
- 副執行委員長 藤井 伸司(2年)
- 執行委員
- 中島 秀樹(2年) 二村稚菜美(2年)
- 杉本圭次郎(2年) 中島 慧(1年)
- 前島 瑞穂(1年) 可児 佳寛(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年7組 「電車男」
- 優秀賞
3年2組 「32分探偵」
3年5組 「遊べ十代」
- 特別賞
1年8組 「ジブリがいっぱい」
2年2組 「何でもいいとも！」
3年3組 「glee」
- のぼり最優秀賞 3年4組
- のぼり優秀賞 3年5組



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 西部



平成 23 年度 修学旅行



平成 24 年度 (2012)

全 日 制

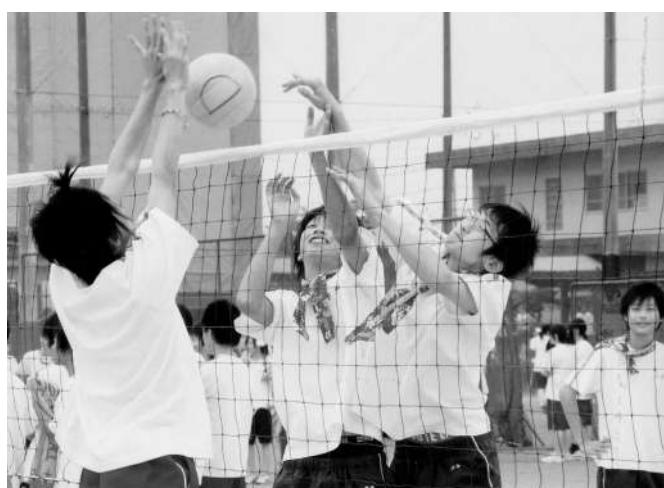
- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
11日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
13日 生徒会一斉委員会
16日 1年部活動仮登録
生徒会認証式
19日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 9日 1年生リーダー研修会
22日 球技大会
7月 9日 体育祭選手選出
体育祭結団式
13日 生徒会リーダー研修(～14日)
8月 加茂高祭準備
8月 29日 加茂高祭<文化祭>(～30日)
31日 加茂高祭<体育祭>
9月 18日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス役員選出
1日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
18日 一斉委員会
11月 4日 生徒会役員認証式
2月 29日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式
15日 生徒会リーダー研修(～16日)

前期生徒会役員

- 執行委員長 繁纏 直寛(3年)
副執行委員長 藤井 伸司(3年)
執行委員
中島 秀樹(3年) 二村稚菜美(3年)
杉本圭次朗(3年) 中島 慧(2年)
前島 瑞穂(2年) 可児 佳寛(2年)

後期生徒会役員

- 執行委員長 中島 慧(2年)
副執行委員長 前島 瑞穂(2年)
執行委員
可児 佳寛(2年) 加藤 新人(2年)
浦田 広貴(1年) 早川 元基(1年)
長谷川佳帆(1年) 飯田 亜美(1年)
盾 雄至(1年) 西川 浩平(1年)
川口 彩菜(1年) 渡邊隆之介(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「ハンサムスーツ」
○優秀賞
3年4組 「歌姫」
2年1組 「24分テレビ 3D」
～特進は学習を放棄する～
○特別賞
3年3組 「Harry Potter ~ドラゴンボール
ともちもちの木~ SEASON 3.14」
2年6組 「Best☆DANCE by BIGINNERS
－初心者による最高のダンス－」
1年4組 「Ever Rikito Love」
1年8組 「ウルルなう～ Sacred World～」
○のぼり最優秀賞 3年3組
○のぼり優秀賞 3年2組



体育祭

- 総合優勝 北部
○競技優勝 北部
○応援優勝 南部



平成 24 年度 修学旅行



平成 25 年度 (2013)

全日制

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
10日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
12日 生徒会一斉委員会
15日 1年生部活動仮登録
生徒会認証式
18日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 8日 1年生リーダー研修会
21日 球技大会
7月 8日 体育祭選手選出
体育祭結団式
12日 生徒会リーダー研修(～13)
8月 加茂高祭準備
9月 4日 加茂高祭<文化祭>(～5)
6日 加茂高祭<体育祭>
9月24日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス役員選出
7日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
17日 一斉委員会
28日 生徒会役員認証式
2月28日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式
15日 生徒会リーダー研修

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 中島 慧(3年)
副執行委員長 前島 瑞穂(3年)
執行委員
加藤 新人(3年) 服部 迪(3年)
渡邊隆之介(2年) 長谷川佳帆(2年)
飯田 亜美(2年) 盾 雄至(2年)
西川 浩平(2年) 早川 元基(2年)
川口 彩菜(2年) 浦田 広貴(2年)
森田 彩水(1年) 満留 咲弥(1年)
河合 智也(1年) 服部 弘樹(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 川口 彩菜(2年)
副執行委員長 長谷川佳帆(2年)
執行委員
木下 真菜(2年) 飯田 亜美(2年)
西川 浩平(2年) 早川 元基(2年)
川口 彩菜(2年) 金子 朋矢(1年)
中井謙二郎(1年) 柳橋 皓(1年)
大橋 義人(1年) 高橋 優太(1年)
河合 智也(1年) 服部 弘樹(1年)
森 優(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「サマータイムマシンブルース」
- 優秀賞
3年2組 「リアル しらゆき」
3年5組 「木曽川 アンダーザブリッジ」
- 特別賞
3年6組 「勇者ヨシヒコと進撃の魔王」
2年1組 「Fight for Liberty—自由のための闘争—」
2年5組 「こじこじカーニバル」
1年1組 「VISUAL TRICK」
- のぼり最優秀賞 3年6組
- のぼり優秀賞 3年7組



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 北部



平成 26 年度 (2014)

全 日 制

加茂高祭

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
10日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
11日 生徒会一斉委員会
14日 1年生部活動仮登録
生徒会認証式
17日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
5月 7日 1年生リーダー研修会
5月 20日 球技大会
7月 7日 体育祭選手選出
体育祭結団式
10日 生徒会リーダー研修
8月 加茂高祭準備
9月 3日 加茂高祭<文化祭> (~ 4日)
8日 加茂高祭<体育祭>
9月 22日 生徒会選挙公示
10月 後期クラス役員選出
6日 生徒会役員選挙立会演説会・投票
17日 一斉委員会
27日 生徒会役員認証式
2月 27日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

執行委員長 川口 彩菜(3年)

執行委員

木下 真菜(3年) 有本 彩乃(3年)
飯田 亜美(3年) 西川 浩平(3年)
早川 元基(3年) 高橋 優太(2年)
中井謙二郎(2年) 金子 朋矢(2年)
大島 義人(2年) 柳橋 皓(2年)
河合 智也(2年) 服部 弘樹(2年)
森 優(2年)

後期生徒会執行委員

執行委員長 金子 朋矢(2年)

副執行委員長 中井謙二郎(2年)

執行委員

高橋 優太(2年) 大島 義人(2年)
柳橋 皓(2年) 河合 智也(2年)
服部 弘樹(2年) 森 優(2年)

文化祭

- 加茂高大賞
3年2組 「チェンジ!!」
○優秀賞
3年5組 「パコと魔法の絵本」
3年7組 「プロポーズ大作戦」
○特別賞
3年9組 「かぐや、月にかかるってよ」
2年1組 「One Day Carnival
~2-1んどこ来ないか?」
2年4組 「はじけろポップコーン
~暑い夏はきんちゃんといっしょ」
1年7組 「モザイクアート」
○のぼり最優秀賞 3年5組
○のぼり優秀賞 3年1組

加茂高大賞



体育祭

- 総合優勝 東部
○競技優勝 北部
○応援優勝 南部



平成 26 年度 修学旅行



全日制

平成 27 年度 (2015)

- 4月 9日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
- 10日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
- 14日 生徒会一斉委員会
- 15日 1年生部活動仮登録
- 17日 部活動本登録・一斉部会
1年生部活動開始
- 20日 生徒会認証式
- 5月 7日 1年生リーダー研修会
- 5月 19日 球技大会
- 7月 6日 体育祭選手選出
体育祭結団式
- 18日 生徒会リーダー研修
- 8月 加茂高祭準備
- 9月 1日 加茂高祭<文化祭> (~2日)
3日 加茂高祭<体育祭>
- 9月 7日 生徒会選挙公示
- 9月 14日 後期クラス役員選出
生徒会役員選挙立会演説会・投票
- 17日 一斉委員会
- 30日 生徒会役員認証式
- 2月 28日 3年生を送る会
- 3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 金子 朋矢(3年)
- 副執行委員長 中井謙二郎(3年)
- 執行委員
高橋 優太(3年) 大島 義人(3年)
柳橋 皓(2年) 河合 智也(3年)
服部 弘樹(3年) 森 優(3年)
熊崎 潮(2年) 小池 有加(2年)
林 美希(2年) 大川 和音(2年)
森下 幸哉(2年) 藤原 陽子(1年)
大場 裕斗(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 大川 和音(2年)
- 副執行委員長 熊崎 潮(2年)
- 執行委員
犬飼 那月(2年) 小池 有加(2年)
林 美希(2年) 大川 和音(2年)
森下 幸哉(2年) 藤原 陽子(1年)
大場 裕斗(1年) 鈴木理緒華(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年5組 「花より林檎」
- 優秀賞
3年3組 「TOY STORY」
3年7組 「ごめんね青春」
- 審査員特別賞
1年9組 「今蘇る 天空の覇者「零戦」」
2年5組 「クマムシ & 2年5組の仮装大賞」
3年3組 「TOY STORY」
保健委員会「歯スクールStudentしげき」
- のぼり最優秀賞 3年5組
- のぼり優秀賞 3年3組



体育祭

- 総合優勝 南部
- 競技優勝 南部
- 応援優勝 南部



平成 27 年度 修学旅行



平成 28 年度 (2016)

全 日 制

- 4月11日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
12日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
18日 生徒会一斉委員会
14日 1年生部活動仮登録
18日 生徒会一斉委員会
20日 部活動本登録
1年生部活動開始
21日 一斉部会
28日 生徒会認証式
5月 9日 1年生リーダー研修会
5月 17日 球技大会
7月 4日 体育祭選手選出
体育祭結団式
8月 加茂高祭準備
8月 30日 加茂高祭〈文化祭〉(～2日)
9月 1日 加茂高祭〈体育祭〉
9月 5日 生徒会選挙公示
9月 12日 後期クラス役員選出
生徒会役員選挙立会演説会・投票
15日 一斉委員会
30日 生徒会役員認証式
2月 28日 3年生を送る会
3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 大川 和音(3年)
副執行委員長 熊崎 潮(3年)
執行委員
犬飼 那月(3年) 小池 有加(3年)
林 美希(3年) 森下 幸哉(3年)
藤原 陽子(2年) 大場 裕斗(2年)
鈴木里緒華(2年) 大平 優菜(2年)
加藤 妃奈(2年) 石丸 舜(1年)
岡田 康平(1年) 鈴村奈々花(1年)
森下 幸香(1年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 藤原 陽子(2年)
副執行委員長 鈴木里緒華(3年)
執行委員
前田 潤(2年) 大場 裕斗(2年)
鈴木理緒華(2年) 大平 優菜(2年)
加藤 妃奈(2年) 石丸 舜(1年)
岡田 康平(1年) 鈴村奈々花(1年)
森下 幸香(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「現時物語」
○優秀賞
3年4組 「クセの強い君たちへ
～顔面偏差値34パラダイス」
3年5組 「白雪姫とX人の王子さま」
○のぼり大賞 3年6組
○優秀のぼり賞 3年5組
○特別賞
1年2組 「Wonder land」
2年3組 「2-3 (Sun)Shine」



体育祭

- 総合優勝 南部
○競技優勝 南部
○応援優勝 北部



平成 28 年度 修学旅行



平成 29 年度 (2017)

全日 制

- 4月11日 新入生歓迎会
1年生部活動見学会
- 12日 生徒会ガイダンス
(生徒会活動・部紹介)
- 18日 生徒会一斉委員会
- 14日 1年生部活動仮登録
- 17日 生徒会一斉委員会
- 20日 部活動本登録
1年生部活動開始
一斉部会
- 5月 1日 生徒会認証式
- 5月15日 1年生リーダー研修会
- 5月17日 球技大会
- 7月20日 体育祭選手選出
体育祭結団式
- 8月 加茂高祭準備
- 9月 5日 加茂高祭〈文化祭〉(～6日)
- 9月11日 加茂高祭〈体育祭〉
- 9月19日 生徒会選挙公示
- 10月 2日 後期クラス役員選出
生徒会役員選挙立会演説会・投票
一斉委員会
- 5日 生徒会役員認証式
- 2月28日 3年生を送る会
- 3月 1日 卒業式

前期生徒会執行委員

- 執行委員長 藤原 陽子(3年)
- 副執行委員長 鈴木里緒華(3年)
- 執行委員
大場 裕斗(3年) 大平 優菜(3年)
加藤 妃奈(3年) 大前 理絵(2年)
石丸 舜(2年) 伊藤 太一(2年)
鈴村奈々花(2年) 森下 幸香(2年)

後期生徒会執行委員

- 執行委員長 森下 幸香(2年)
- 副執行委員長 大前 理絵(3年)
- 執行委員
前川 知里(2年) 伊藤 輝(2年)
石丸 舜(2年) 伊藤 太一(2年)
金子 冬奈(1年) 上田 和佳(1年)



加茂高祭

文化祭

- 加茂高大賞
3年1組 「1DERFUL MUSICAL」
- 優秀賞
3年5組 「WEST SIDE STORY」
3年6組 「ぶち壊し御伽噺」
- 最優秀のぼり賞 3年8組
- 優秀のぼり賞 3年1組
- 特別賞
1年3組 「扉」
2年3組 「カモコレ2017」



体育祭

- 総合優勝 北部
- 競技優勝 北部
- 応援優勝 北部



平成 29 年度 修学旅行



平成 11 年度
(1999)

定 時 制

平成 12 年度
(2000)

◆活動目標 「一致団結」

4月 9日 対面式・新入生歓迎会
 17日 前期生徒総会
 23日 離任式
 5月 15日 春季校内球技大会
 6月 6日 県高校定通総合体育大会
 軟式野球・バドミントン
 7 日 県定通総体 軟式野球優勝報告会
 20日 県高校定通総体 卓球
 7月 2日 壮行会・軟式野球部愛三岐大会出場
 4 日 軟式野球愛三岐大会
 一回戦・東海工業高に敗退
 12日 夏季校内球技大会
 18日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
 発表者 高木 芳人
 「明日に向かって」
 代表者 藤ノ木 一・水口 典之
 羽上田隆裕・古川真二
 19日 校内生活体験作文発表優秀者表彰
 県生活体験作文発表会表彰伝達
 9月 4日 後期生徒会選挙
 10月 2日 後期生徒総会
 21日 秋季校内球技大会
 11月 7日 県高校定通制秋季体育大会
 軟式野球
 14日 県高校定通制秋季体育大会
 卓球・バドミントン
 18日 照明祭準備(～24日)
 25日 照明祭第一日
 展示・ゲーム大会・料理教室
 26日 照明祭第二日
 藤代ゆき氏講演・バンド演奏
 13日 冬季校内球技大会
 12月 22日 県高校定通制秋季体育大会
 軟式野球 準優勝 伝達表彰
 卓球男子 団体3位 伝達表彰
 1月 16日 文集「石ころ」原稿清書
 2月 18日 ポーリング大会
 19日 新年度前期生徒会役員選挙
 28日 文集「石ころ」発刊
 29日 四年生表彰式

前期生徒会役員

会長 水口 典之
 副会長 藤ノ木 一・小池 真
 羽上田隆裕
 体育委員 福田健太郎・古川 真二
 文化委員 梅田 安宏・近藤 和頼
 生活委員 今井 良・松波 貞幸
 書記 後藤沙耶花・若崎かおり

後期生徒会役員

会長 羽上田隆裕
 副会長 近藤 和頼・松波 貞幸
 体育委員 水口 典之・今井 良
 古川 真二
 文化委員 藤ノ木 一・福田健太郎

◆活動目標 「W i n g o f f i r e !」

4月 11日 対面式
 13日 新入生歓迎会
 15日 前期生徒総会
 21日 離任式
 5月 20日 春季校内球技大会
 6月 4日 県高校定通総合体育大会
 バドミントン
 18日 県高校定通総合体育大会
 軟式野球・卓球
 軟式野球 優勝
 7月 1日 県高校定通総合体育大会(愛三岐大会出場)
 2日 軟式野球愛三岐大会
 一回戦・大橋学園高に敗退
 11日 夏季校内球技大会
 16日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
 発表者 羽上田隆裕
 「僕がかわる、学校がかわる」
 代表者 松波 貞幸・国沢 里美
 福田健太郎
 19日 校内生活体験作文発表優秀者表彰
 県生活体験作文発表会表彰伝達
 9月 1日 バドミントン部壮行会
 (男子ダブルス東海定通大会出場)
 2日 後期生徒会選挙
 10日 バドミントン東海定通大会
 男子ダブルス 2位
 30日 後期生徒総会
 10月 27日 照明祭準備(～9月 7日)
 29日 県高校定通制秋季体育大会
 軟式野球 優勝
 11月 8日 照明祭第一日
 展示・喫茶・タコ焼き
 フリーマーケット
 9日 照明祭第二日
 バンド演奏(キープアウト)
 12日 県高校定通制秋季体育大会
 卓球
 バドミントン 男子団体3位
 12月 13日 生徒会誌「明星かも」原稿下書き
 14日 冬季校内球技大会
 22日 県高校定通制秋季体育大会
 軟式野球 優勝
 バドミントン 男子団体3位
 1月 20日 生徒会誌「明星かも」原稿清書
 2月 17日 新年度前期生徒会役員選挙
 映画鑑賞
 19日 ポーリング大会
 28日 卒業生を送る会
 生徒会誌「明星かも」(改名)発行

前期生徒会役員

会長 羽上田隆裕
 副会長 近藤 和頼・松波 貞幸
 体育委員 水口 典之・古川 真二
 今井 良
 文化委員 藤ノ木 一・福田健太郎

後期生徒会役員

会長 松波 貞幸
 副会長 井神 武宏
 体育委員 木村 信也・山本 真嗣
 文化委員 長村 恵美・国沢 里美

◆今年度生徒会活動目標 『BelieveYourSmile』

4月10日 対面式
20日 離任式
21日 新入生歓迎会
前期生徒総会
6月10日 県高校定通総合体育大会
軟式野球 2位
17日 県高校定通総合体育大会 卓球
7月10日 ポウリング大会
15日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 松波 貞幸 「僕の挑戦」
代表者 平野 和博・山本 真嗣
井神 武宏
7月19日 校内生活体験作文発表優秀者表彰
県生活体験作文発表会表彰伝達
9月1日 軟式野球部壮行会(東海大会出場)
9日 軟式野球東海大会
一回戦・静岡中央高校に敗退
29日 後期生徒会選挙
10月6日 後期生徒会総会
11月5日 照明祭準備(～12日)
11日 県高校定通制秋季体育大会・卓球
13日 照明祭第一日
展示・研究・焼きそば
ホットドック・映画鑑賞会
14日 照明祭第二日
講演 田口 千秋 氏
「ブルーインパルスと共に」
19日 球技大会
12月12日 生徒会誌「明星かも」原稿下書き
1月19日 生徒会誌「明星かも」原稿清書
2月16日 新年度前期生徒会役員選挙
映画鑑賞
22日 ポウリング大会
27日 生徒会誌「明星かも」発行
28日 卒業生を送る会
3月1日 卒業式

前期生徒会役員

会長 今井 良
副会長 平野 和博・山田 大輔
体育委員 長村 恵美・国沢 里美
井神 武宏
文化委員 木村 信也・山本 真嗣

後期生徒会役員

会長 平野 和博
副会長 井神 武宏・新井 智真
文化委員 村山 真一
体育委員 佐橋 信幸

4月10日 対面式
26日 前期生徒総会
5月31日 県高校定通総合体育大会 軟式野球
6月7日 ポウリング大会
15日 県高校定通総合体育大会 卓球
28日 映画鑑賞会「走れフラッシュ」
29日 県高校定通総合体育大会 陸上
7月1日 七夕飾り
7日 愛三岐大会 軟式野球
21日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 長村 恵美
「今になって振り返ることのできる自分」
代表者 村山 真一・新井 智新
8月6日 全国高校定通総合体育大会 卓球
9日 全国高校定通総合体育大会 陸上
9月13日 後期生徒会役員選挙
20日 お月見
27日 後期生徒会総会
10月30日 照明祭準備(～11月6日)
11月7日 照明祭第一日
展示・おでん・カレーライス
ポップコーン・映画鑑賞会
11月8日 照明祭第二日
ソフトバレー大会
9日 県高校定通制秋季体育大会
軟式野球
15日 星座観察
1月7日 七草がゆ
10日 生徒会誌「明星かも」原稿下書き
17日 生徒会誌「明星かも」清書
24日 映画鑑賞会「ロングウェーホーム」
2月14日 ポウリング大会
21日 新年度前期生徒会役員選挙
27日 生徒会誌「明星かも」発行
28日 卒業生を送る会
3月1日 卒業式

前期生徒会役員

会長 佐橋 信幸
副会長 村山 真一
体育委員 新井 智真
文化委員 桑原 大介

後期生徒会役員

会長 村山 真一
副会長 新井 智新・若林 裕也
体育委員 佐橋 信幸
文化委員 長瀬美由紀・服部 文香

平成 15 年度
(2003)

定 時 制

平成 16 年度
(2004)

4月10日 対面式
5月9日 前期生徒総会
6月14日 県高校定通総合体育人会 軟式野球
15日 県高校定通総合体育大会 卓球
19日 球技大会<ボウリング>
29日 県高校定通総合体育大会 陸上
7月20日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 三木香菜子
「学校、バイトそして私の夢」
8月18日 全国高校定通総合体育大会 陸上
9月12日 後期生徒会役員選挙
9月26日 後期生徒総会
11月6日 照明祭第一日 和太鼓鑑賞・bingo
11月7日 照明祭第二日
ソフトバレー・卓球大会
16日 県高校定通秋季体育大会 卓球
1月9日 生徒会誌「明星かも」原稿下書き
16日 生徒会誌「明星かも」清書
2月13日 球技大会<ボウリング>
20日 新年度前期生徒会役員選挙
27日 卒業生を送る会
3月1日 卒業式・生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

会長 若林 裕也
副会長 新井 智新・村山 真一
体育委員 佐橋 信幸
文化委員 貢 水城・服部 文香
会計委員 長瀬美由紀

後期生徒会役員

会長 新井 智新
副会長 村山 真一
体育委員 長瀬美由紀
文化委員 貢 水城・服部 文香

4月12日 対面式
5月7日 前期生徒総会
6月13日 県高校定通総合体育大会 卓球
18日 球技大会<ボウリング>
7月18日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 安藤 亮輔
「過去の自分とこれからの自分」
8月3日 全国高校定通総合体育大会 卓球
9月17日 後期生徒会役員選挙
10月8日 後期生徒総会
11月4日 照明祭第一日
バンド演奏「キープアウト」
bingo
12日 照明祭第二日
ソフトバレー・卓球大会
14日 県高校定通秋季体育大会 卓球
1月28日 球技大会<ボウリング>
2月18日 新年度前期生徒会役員選挙
28日 卒業生を送る会
3月1日 卒業式

前期生徒会役員

会長 村山 真一
副会長 新井 智新
体育委員 佐橋 信幸
文化委員 高橋あゆみ
会計 服部 麻也

後期生徒会役員

会長 服部 麻也
副会長 安藤 亮輔・各務 弦太

平成 17 年度
(2005)

定時制

平成 18 年度
(2006)

4月12日 対面式
5月 6 日 前期生徒総会
6月17日 球技大会<ボウリング>
7月18日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 西アケミ
「十六歳の日本語教師」
9月16日 後期生徒会役員選挙
10月 7 日 後期生徒総会
11月 4 日 照明祭第一日
太鼓演奏・フリーマーケット
カレーライス販売・映画会
11日 照明祭第二日
ソフトバレー・卓球大会
1月27日 球技大会<ボウリング>
2月17日 新年度前期生徒会役員選挙
3月 1 日 卒業式

4月11日 対面式
5月 1 日 前期生徒総会
6月16日 球技大会<ボウリング>
7月17日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 服部曜
「辿ってきた道、これから辿る道」
9月16日 後期生徒会役員選挙
10月 7 日 後期生徒総会
11月 6 日 照明祭第一日
太鼓演奏・フリーマーケット
カレーライス販売・映画会等
10日 照明祭第二日
ソフトバレー・卓球大会
1月26日 球技大会<ボウリング>
2月16日 新年度前期生徒会役員選挙
3月 1 日 卒業式

前期生徒会役員

会長 服部 麻也
副会長 安藤 亮輔・各務 弦太

後期生徒会役員

会長 服部 麻也
副会長 安藤 亮輔・各務 弦太
書記 渡邊 洋子
会計 伊藤沙耶子
文化委員 居石 晃一
体育委員 有本 裕一
体育委員 松永 和真

前期生徒会役員

会長 安藤 亮輔
副会長 各務 弦太
書記 酒向 絵里
会計 長谷川紘美
体育委員 居石 晃一・高野香緒梨
文化委員 伊藤沙耶子・奥田 晃代

後期生徒会役員

会長 安藤 亮輔
副会長 各務 弦太
書記 酒向 絵里
会計 長谷川紘美
体育委員 居石 晃一・高野香緒梨
文化委員 伊藤沙耶子・奥田 晃代

平成 19 年度
(2007)

定時制

平成 20 年度
(2008)

4月11日 対面式
20日 部登録
27日 前期生徒会
6月15日 球技大会<「ボウリング」>
7月16日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 高木 綾子
9月14日 後期生徒会役員選挙
10月 5 日 後期生徒総会
11月 5 日 照明祭第一日
9日 照明祭第二日
1月25日 球技大会<「ボウリング」>
2月22日 新年度前期生徒会役員選挙
29日 生徒会誌「明星かも」発行
卒業生を送る会
3月 1 日 卒業式

4月10日 対面式
18日 部登録
25日 前期生徒会
6月13日 球技大会<「ボウリング」>
7月21日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 寺澤 千恵
10月 後期生徒会役員選挙
後期生徒総会
11月 7 日 照明祭第一日
13日 照明祭第二日
1月30日 球技大会<「ボウリング」>
2月20日 新年度前期生徒会役員選挙
27日 生徒会誌「明星かも」発行・送る会
3月 1 日 卒業式

前期生徒会役員

会長 安藤 亮輔
副会長 各務 弦太
書記 浦田 美咲・奥田 晃代
会計 長谷川紘美
体育委員 居石 晃一
文化委員 高野香緒梨

前期生徒会役員

会長 浦田 美咲
副会長 長谷川紘美・奥田 晃代
書記 高野香緒梨・三嶋 謙太
会計 神戸 智之・山田 正和
文化委員 村田 千絃・原 知世
熊谷スエレン
体育委員 中村ジュリオ・若尾 吉則
藤村 浩章・服部 数樹

後期生徒会役員

会長 浦田 美咲
副会長 長谷川紘美
書記 奥田 晃代
会計 高野香緒梨

後期生徒会役員

会長 山田 正和
副会長 若尾 吉則・原田 大司
書記 藤村 浩章
会計 鵜飼 利幸・亀谷 稔
文化委員 伊藤 司
体育委員 神戸 訓秀

4月10日 対面式
17日 部登録
24日 前期生徒会役員認証式
前期生徒総会
6月19日 夏季球技大会<ボウリング>
7月20日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 清野 直美
9月11日 後期生徒会役員選挙
10月 2 日 後期生徒会役員認証式
後期生徒総会
11月 2 日 照明祭第一日<文化の部>
6日 照明祭第二日<体育の部>
1月22日 冬季球技大会<ボウリング>
2月19日 新年度前期生徒会役員選挙
28日 卒業生を送る会
3月 1 日 生徒会誌「明星かも」発行

4月12日 対面式
16日 部登録
23日 前期生徒会役員認証式
前期生徒総会
6月25日 夏季球技大会<ボウリング>
7月19日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者首藤 伊久美
9月10日 後期生徒会役員選挙
10月 1 日 後期生徒会役員認証式
後期生徒総会
11月 2 日 照明祭第一日<文化の部>
5日 照明祭第二日<体育の部>
1月28日 冬季球技大会<ボウリング>
2月18日 新年度前期生徒会役員選挙
28日 卒業生を送る会
3月 1 日 卒業式
生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

会長 山田 正和
副会長 伊藤 司
書記 亀谷 稔
会計 各務 匠太
文化委員 神戸 訓秀
体育委員 原田 大司

後期生徒会役員

会長 亀谷 稔
副会長 永田 恵美・各務 匠太
書記 宅間 千晶
会計 服部 数樹・神戸 訓秀
文化委員 伊藤 司
体育委員 原田 大司

前期生徒会役員

会長 永田 恵美
副会長 亀谷 稔・市丸チアゴカツヒロ
書記 小島 知美・伊藤 司
会計 各務 匠太・神戸 訓秀
文化委員 居石 誠・土屋 涼香
体育委員 鷹田 鮎佳・服部 数樹
宅間 千晶

後期生徒会役員

会長 亀谷 稔
副会長 各務 匠太・柏木 大地
書記 鷹田 鮎佳・居石 誠
会計 斎藤平春幸・竹田 真穂
文化委員 篠田 真耶
体育委員 神戸 訓秀

平成 23 年度
(2011)

定時制

平成 24 年度
(2012)

- 4月12日 対面式
15日 部登録
22日 前期生徒会役員認証式
前期生徒総会
6月24日 夏季球技大会〈ボウリング〉
7月18日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 小川 愛美
9月12日 後期生徒会役員選挙
10月3日 後期生徒会役員認証式
後期生徒総会
11月2日 照明祭第一日〈文化の部〉
4日 照明祭第二日〈体育の部〉
1月27日 冬季球技大会〈ボウリング〉
2月17日 新年度前期生徒会役員選挙
29日 卒業生を送る会
3月1日 卒業式
生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

- 会長 柏木 大地
副会長 亀谷 稔
メルシオ アナパウラ
書記 神戸 訓秀・斎藤平春幸
会計 各務 匠太・居石 誠
文化委員 篠田 真耶
体育委員 竹田 真穂

後期生徒会役員

- 会長 柏木 大地
副会長 メルシオ アナパウラ
書記 斎藤平春幸・松平 栄
会計 居石 誠
文化委員 岩田 結菜
体育委員 熊澤 優一

- 4月11日 対面式
27日 前期生徒会役員認証式
前期生徒総会
6月22日 夏季球技大会〈ボウリング〉
7月16日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 渡邊 夢望(奨励賞)
9月21日 後期生徒会役員選挙
10月1日 後期生徒会役員認証式
後期生徒総会
11月1日 照明祭〈文化の部〉
2日 照明祭〈体育の部〉
1月25日 冬季球技大会〈ボウリング〉
2月22日 新年度前期生徒会役員選挙
28日 卒業生を送る会
3月1日 生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

- 会長 メルシオ アナパウラ
副会長 柏木 大地・市丸ゆうじ
書記 斎藤平春幸・松平 栄
会計 居石 誠
文化委員 岩田 結菜
体育委員 熊澤 優一

後期生徒会役員

- 会長 斎藤平春幸
副会長 市丸ゆうじ
書記 小林あけみ・山田 祐実
会計 松平 栄
文化委員 岩田 結菜
体育委員 佐野 愛

4月10日 対面式
26日 前期生徒会役員認証式
前期生徒総会
6月14日 夏季球技大会<ボウリング>
7月 8 日 後期生徒会役員選挙
15日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 日下部 謙(奨励賞)
7月19日 後期生徒会役員認証式
10月31日 照明祭<文化の部>
11月 1 日 照明祭<体育の部>
12月 9 日 新年度前期生徒会役員選挙
20日 新年度前期生徒会役員認証式
1月24日 冬季球技大会<ボウリング>
2月28日 卒業生を送る会
3月 1 日 生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

会長 市丸ゆうじ
副会長 森田アリカ
書記 シーラ アンジリン
メネシオ シャン
会計 山田 祐実
文化委員 佐野 愛
体育委員 エスペランザ ダーレン

後期生徒会役員

会長 森田 アリカ
副会長 佐野愛
書記 シーラ アンジリン
メネシオ シャン
会計 山田 祐実
文化委員 天願真友美
体育委員 エスペランザ ダーレン

4月10日 対面式
25日 前期生徒総会
6月20日 球技大会<ボウリング>
7月 4 日 後期生徒会役員選挙
21日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 斎藤 平春幸(優秀賞)
10月31日 照明祭<文化の部>
11月 4 日 照明祭<体育の部>
12月 8 日 新年度前期生徒会役員選挙
1月23日 冬季球技大会<ボウリング>
2月27日 卒業生を送る会
3月 1 日 生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

会長 佐野愛
副会長 山田 祐実
書記 シーラ アンジリン
メネシオ シャン
会計 藤本ジュニオール・天願真友美
文化委員 井上 千穂
体育委員 渡辺カロリネ

後期生徒会役員

会長 斎藤平春幸
副会長 佐野 愛
書記 シーラ アンジリン
メネシオ シャン
会計 山田 祐実・藤本 ジュニオール
文化委員 天願真友美・和田 愛子
体育委員 井上 千穂・豊田スエミ

平成 27 年度
(2015)

定 時 制

平成 28 年度
(2016)

4月10日 対面式
27日 前期生徒総会
6月19日 球技大会〈ボウリング〉
26日 後期生徒会役員選挙
7月20日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 川添 紗莉菜
10月30日 照明祭〈文化の部〉
11月 2 日 照明祭〈体育の部〉
30日 新年度前期生徒会役員選挙
1月22日 冬季球技大会〈ボウリング〉
2月29日 卒業生を送る会
3月 1 日 生徒会誌「明星かも」発行

4月12日 対面式
26日 前期生徒総会
6月17日 球技大会〈ボウリング〉
24日 後期生徒会役員選挙
7月18日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 大前 燐真
11月 1 日 照明祭〈文化の部〉
2 日 照明祭〈体育の部〉
12月 9 日 新年度前期生徒会役員選挙
1月20日 冬季球技大会〈ボウリング〉
2月28日 卒業生を送る会
3月 1 日 生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

会 長 シーラ アンジリン
副 会 長 山田 祐実
書 記 天願真友美・藤本ジュニオール
会 計 高橋このみ・田尾さくら
文化委員 メネシオ シャン・井上 千穂
体育委員 和田 愛子・豊田スエミ

前期生徒会役員

会 長 藤本ジュニオール
副 会 長 井上 千穂
書 記 エノク ポレシュース
迫田舞唯菜
会 計 天願真友美・清水 佑希
文化委員 豊田スエミ
体育委員 大城 鉄男

後期生徒会役員

会 長 シーラ アンジリン
副 会 長 山田 祐実
書 記 天願真友美・藤本ジュニオール
会 計 高橋このみ・田尾さくら
文化委員 豊田スエミ・大城 鉄男
体育委員 メネシオ シャン・井上 千穂

後期生徒会役員

会 長 藤本ジュニオール
副 会 長 伊藤 千晶
書 記 梅山ヒカル
エノク ポレシュース
会 計 天願真友美・豊田スエミ
文化委員 井上 千穂・大城 鉄男
体育委員 大前 燐真・瀬口ジュハゼル

平成 29 年度
(2017)

定時制

- 4月12日 対面式
- 24日 前期生徒総会
- 6月16日 球技大会〈ボウリング〉
- 23日 後期生徒会役員選挙
- 7月15日 県「生活体験発表・代表者懇談会」
発表者 プノ ジェム
- 11月1日 照明祭〈文化の部〉
- 2日 照明祭〈体育の部〉
- 12月8日 新年度前期生徒会役員選挙
- 1月19日 冬季球技大会〈ボウリング〉
- 2月28日 卒業生を送る会
- 3月1日 生徒会誌「明星かも」発行

前期生徒会役員

- 会長 伊藤 千晶
- 副会長 大城 鉄男
- 書記 エノク ポレシュース
迫田舞唯菜
- 会計 ニコラス アリシマ
- 文化委員 シンコ ユリコ カンポ
- 体育委員 大前 燐真

後期生徒会役員

- 会長 中野 ジョイ
- 副会長 嶋田 五郎・千葉 采生
- 書記 伊藤 千晶
- 会計 高橋 このみ
- 文化委員 エノク ポレシュース
エノク エバンジェリン
- 体育委員 大城 鉄男
- ニコラス アリシマ







70周年記念事業 活躍する卒業生

加茂高校創立70周年記念事業

I マイクロバスの購入

加茂高校創立70周年記念事業の一環として、加茂高校同窓会がマイクロバスを購入しました。

平成25年6月12日(木)、渡辺隆晴同窓会長よりマイクロバスのお披露目が行われました。それまでは運動系部活動の遠征ではレンタルバスを利用し、部員の費用負担もありました。このため同窓会では、マイクロバスを購入し、部活動などで使ってもらうことにしました。



II 加茂高校同窓会館の改修

加茂高校同窓会館の屋上防水工事と内部の改裝工事を行いました。文化系部活動の活動場所や運動系部活動が使用する大型冷蔵庫の設置場所として、多くの生徒に利用していただきたいと思います。また、同窓生の皆さんにも積極的に利用していただきたいと思います。

III 創立70周年記念野球試合

加茂高校と県立岐阜商業高校の両校野球部による加茂高校創立70周年記念試合を、平成30年9月30日(日)に開催することを計画しました。(雨天の場合は中止)

IV 創立70周年記念講演

加茂高校創立70周年記念式典終了後、平成30年春のNHK連続テレビ小説「半分、青い。」の脚本家である北川悦吏子さんを招き、記念講演の開催を計画しました。

加茂高校創立70周年

記念講演



第31期 普通科 卒業
北川 悅吏子

- 脚本家。映画監督。
- 岐阜県美濃加茂市出身。
- 1961年 生まれ。
- 1980年 加茂高校普通科卒業。
- 早稲田大学第一文学部卒業。

【主な作品】

- 連続ドラマ作品
 - 『素顔のままで』
『その時、ハートは盗まれた』、『あすなろ白書』
『君といた夏』、『愛していると言ってくれ』
『ロングバケーション』、『最後の恋』、『オーバータイム』
『ビューティフルライフ』、『ラブストーリー』
『空から降る一億の星』、『オレンジデイズ』
『たったひとつの恋』、『運命に、似た恋』
NHK連続テレビ小説『半分、青い。』
 - 単発ドラマ作品
 - 『世にも奇妙な物語』
『ズンドコベロンチョ』、『大蒜』、『つまらない男』など
 - なお、これらはナンセンス三部作、と呼ばれている。
 - 映画監督作品
 - 『ハルウェイ』、『新しい靴を買わなくちゃ』
 - 舞台脚本
 - パルコプロデュース『彼女の言うことには。』
- 活動は多岐に渡り、作詞やエッセイでも人気を集めます。
- 近著に写真詩集『恋をしていた。』など。

【主な受賞歴】

- 2000年 『ビューティフルライフ』(第18回向田邦子賞、第8回橋田賞)
- 2016年 『月に祈るピエロ』、『月に行く舟』、『三つの月』(第27回CBC小嶋賞)
- 2018年 第17回早稲田大学坪内逍遙大賞



自由育んだ70年

第33期 普通科 卒業

池 戸 潤

(撮影：国府田 利光)

- 作家。
- 1963年生まれ。
- 1982年加茂高校普通科卒業。
- 慶應義塾大学卒業。

【主な作品】

- 半沢直樹シリーズ
『オレたちバブル入行組』、『オレたち花のバブル組』
『ロスジェネの逆襲』、『銀翼のイカロス』
- 花咲舞シリーズ
『不祥事』、『花咲舞が黙ってない』
- 下町ロケットシリーズ
『下町ロケット』、『下町ロケット ガウディ計画』、『下町ロケット ゴースト』
- その他の小説
『空飛ぶタイヤ』、『民王』、『ルーズヴェルト・ゲーム』、『七つの会議』
『陸王』、『アキラとあきら』など。

【主な受賞歴】

- 1998年 『果つる底なき』(第44回江戸川乱歩賞)
- 2010年 『鉄の骨』(第31回吉川英治文学新人賞)
- 2011年 『下町ロケット』(第145回直木三十五賞)

版画家 船坂芳助さん[第8回生] ふなさか よしうけ

加茂高校創立70周年を記念して、本校生徒のために版画作品を制作し、寄贈いただきました。

『Lemon, Black and White』(16.0cm×15.0cm)
シルクスクリーン作品、14種類、1260点



【本校校長室所蔵作品】
『My Space and My Dimension 962-13』



【2017年 同窓会東京支部にて撮影】

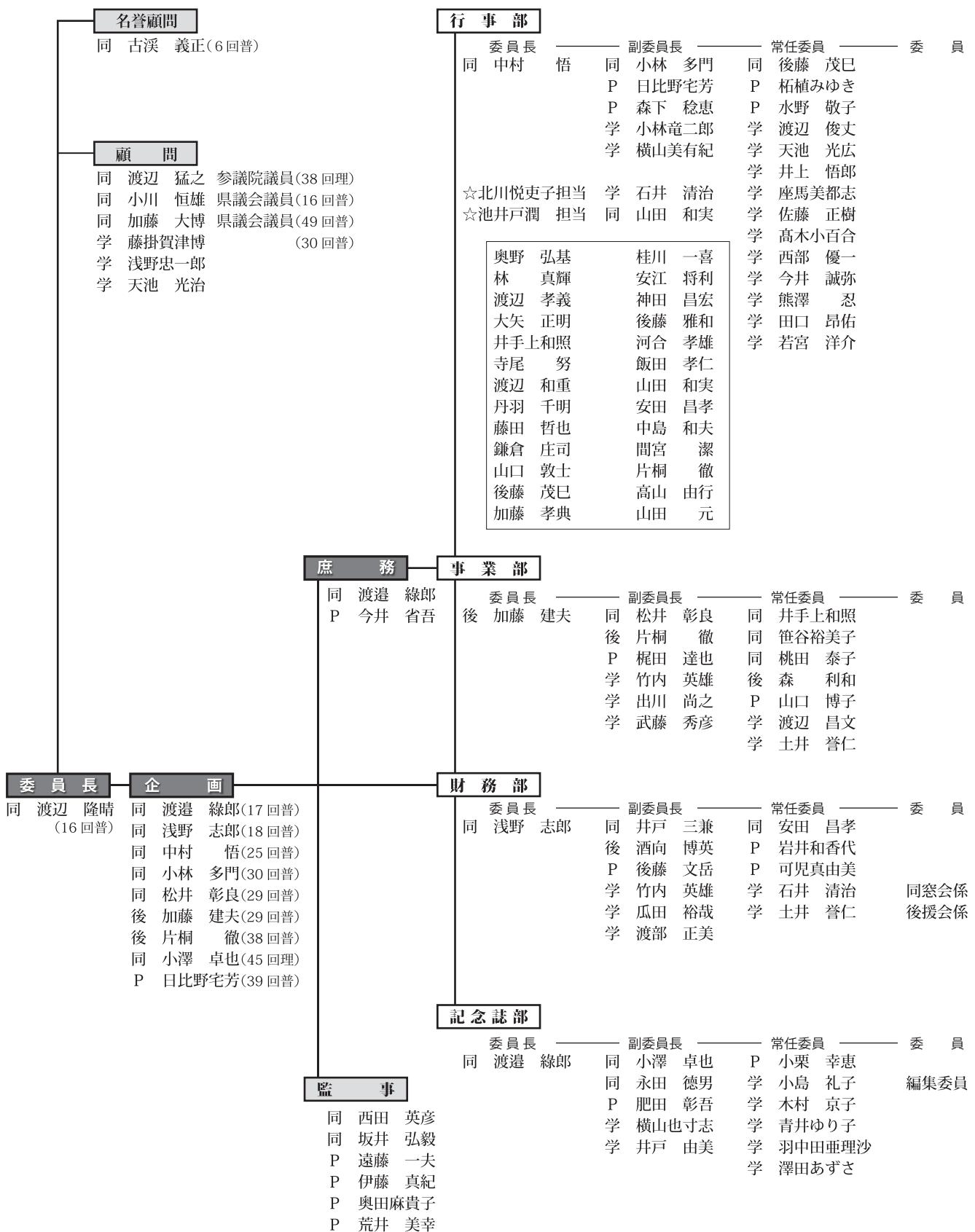
【略歴】

- 1939年 岐阜県に生まれる
- 1957年 加茂高校普通科卒業
- 1962年 多摩美術大学絵画科卒業
- 1965年 現代日本美術展(東京国立近代美術館)
- 1970年 ブラッド・フォード国際版画ビエンナーレ(イギリス)
第7回東京国際ビエンナーレ・京都国立近代美術館賞
- 1972年 クラコウ国際版画ビエンナーレ(ポーランド)
- 1973年 国際青年美術家展・読売新聞社賞
- 1976年 文化庁芸術家在外研修員(イギリス・アメリカにて制作、滞在)
- 1983年 ソウル国際版画ビエンナーレ(韓国)他、出品
- 1992年 多摩美術大学版画科 非常勤講師(～1995年)

【作品収蔵】

東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、岐阜県美術館
パリ国立図書館(フランス)、大英博物館(イギリス)、ブルックリン美術館(アメリカ)、ブラッド・フォード美術館(イギリス)、フリーア東洋美術館(Mサクラ・ギャラリー、アメリカ)、ニューサウスウェールズ美術館(オーストラリア)、他

創立 70 周年記念事業実行委員会組織図



●創立70周年記念オブジェ●

美術教諭 降 簿 一 成

本校記念樹であった桜樹の廃材を利用してオブジェを作成

●創立70周年記念誌題字・校訓●

書道部2年 山 口 唯 菜

●創立70周年記念誌表紙絵画●

美術部3年 前 川 知 里

●創立70周年記念誌表紙デザイン●

美術部3年 塚 本 春 菜

美術部3年 若 山 萌

創立70周年記念誌

平成30年10月1日 印刷
平成30年10月14日 発行

編集兼 岐阜県立加茂高等学校
発行者 同窓会
会長 渡辺 隆晴

発 行 岐阜県立加茂高等学校
岐阜県美濃加茂市本郷町2丁目
電話〈0574〉25-2133 FAX〈0574〉28-2659
URL <http://school.gifu-net.ed.jp/kamo-hs/>

印 刷 有限会社 永田印刷
岐阜県美濃加茂市森山町1丁目1-34
電話〈0574〉25-2729 FAX〈0574〉26-8039



明銳進取
誠實努力
親愛奉仕